

令和7年度

教育・研究 活動報告書

令和6年度 取組成果のご報告

福岡工業大学

福岡工業大学短期大学部

福岡工業大学附属城東高等学校



このレポートのデジタル版を
お使いのスマートフォンで
ご確認ください。

For all the students

～すべての学生生徒のために～

情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を 発揮し、広く社会に貢献する

本学園の運営につきまして、平素より格別のご理解とご支援をいただき深く感謝いたします。

さて、本学園は、表題の経営目標を達成するため、①戦略的広報・募集活動強化、②教育の質向上、③研究の高度化・特色化、④キャリア教育・就職支援強化、⑤グローバル化、地域連携・展開、並びに⑥財政・ガバナンス安定・強化の6領域に重点を置いて「学園改革」に取り組んできました。今日、これら6領域の全てにおいて相応の成果が生じ、外部から高く評価されています。

特に、当年度は、「日経CAREER MAGAZINE 価値ある大学 就職力ランキング2025-2026」の「全国国公私大(約800校)ランキング」において、「就職支援体制が充実している大学」では全国1位、「人材育成力」では九州私大1位(全国43位)となりました。また、「大学通信 大学探しランキングブック2025」において、「面倒見が良い大学」で全国5位(九州1位)となりました。これらの外部評価の高まりは、「教育・研究力の高度化」を手だてとして、「人材育成・輩出力の向上」のかたちで結実させているものと考えています。

この教育・研究活動報告書は、学生・生徒・保護者の皆様、卒業生、そして学校運営にご支援をいただく企業・地域の皆様に、本学の教育・研究及び経営・財務の諸取組とその成果について具体的に説明し、いっそう本学園をご活用いただくことを目的としています。

この報告書を通じた関係の皆様と本学園の双方向のやりとりは、私どもが諸活動を磨き高めるには欠くことのできない貴重な機会であります。これからも、いっそうの改革・改善を推し進め、全国有数の評価を得る教育・研究機関として、その使命を果たしたいと存じますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

令和7年9月1日

福岡工業大学
福岡工業大学短期大学部

学長 村山 理一



建学の綱領

- 一、学徒の品性を陶冶し真の国民としての教養を啓培する
- 一、宇宙の真理を探究しこれを実生活に応用して社会に貢献する
- 一、人類至高の精神、自由 平和 信愛を基調として世界に雄飛する人材を育成する

経営理念

For all the students ~すべての学生生徒のために~

行動規範

「即実行する(Just Do It!)」

経営目標

情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する。

INDEX

I.はじめに

- 1.ごあいさつ(学長メッセージ) 1
- 2.マスタープラン(MP)の取組状況・成果の概要
 - (1)MPの主な取組と、その成果としての入学志願者の拡大 3
 - (2)MPの成果としての、私立大学等改革総合支援事業の選定等 4

II.学園の主要な取組成果

(マスタープランの取組成果とその外部評価)

- 1.入学志願者・入学者の状況(戦略I) 5
- 2.教育力の発揮(戦略II) 7
- 3.研究の高度化(戦略III) 9
- 4.就職力の強化(戦略IV) 11
- 5.グローバル化と地域貢献の推進(戦略V)
 - (1)グローバル化の取組 13
 - (2)地域貢献の取組 15
- 6.大学院の取組 17
- 7.短期大学部の取組 19

- 8.附属城東高校の取組 21
- 9.財政基盤の安定
組織ガバナンスの強化(戦略VI) 23
- 10.学校運営に対する外部評価 25
- 11.諸活動の具体的な取組状況
(報告書・広報誌) 27

III.ファシリティの概要

- 1.キャンパスの概要 29
- 2.ラーニングサポート施設・設備 30
- 3.研究施設・設備 31
- 4.キャンパスライフサポート施設・設備 32

IV.バックデータ集

- 1.学生表彰(学会表彰、卒業生表彰、課外活動表彰等) 33
- 2.その他、経営・財務、教育・研究等諸活動のデータ 35
- 3.FIT学生サポート寄付金寄付者一覧 65
- 4.学会表彰・学生表彰の皆さん 67

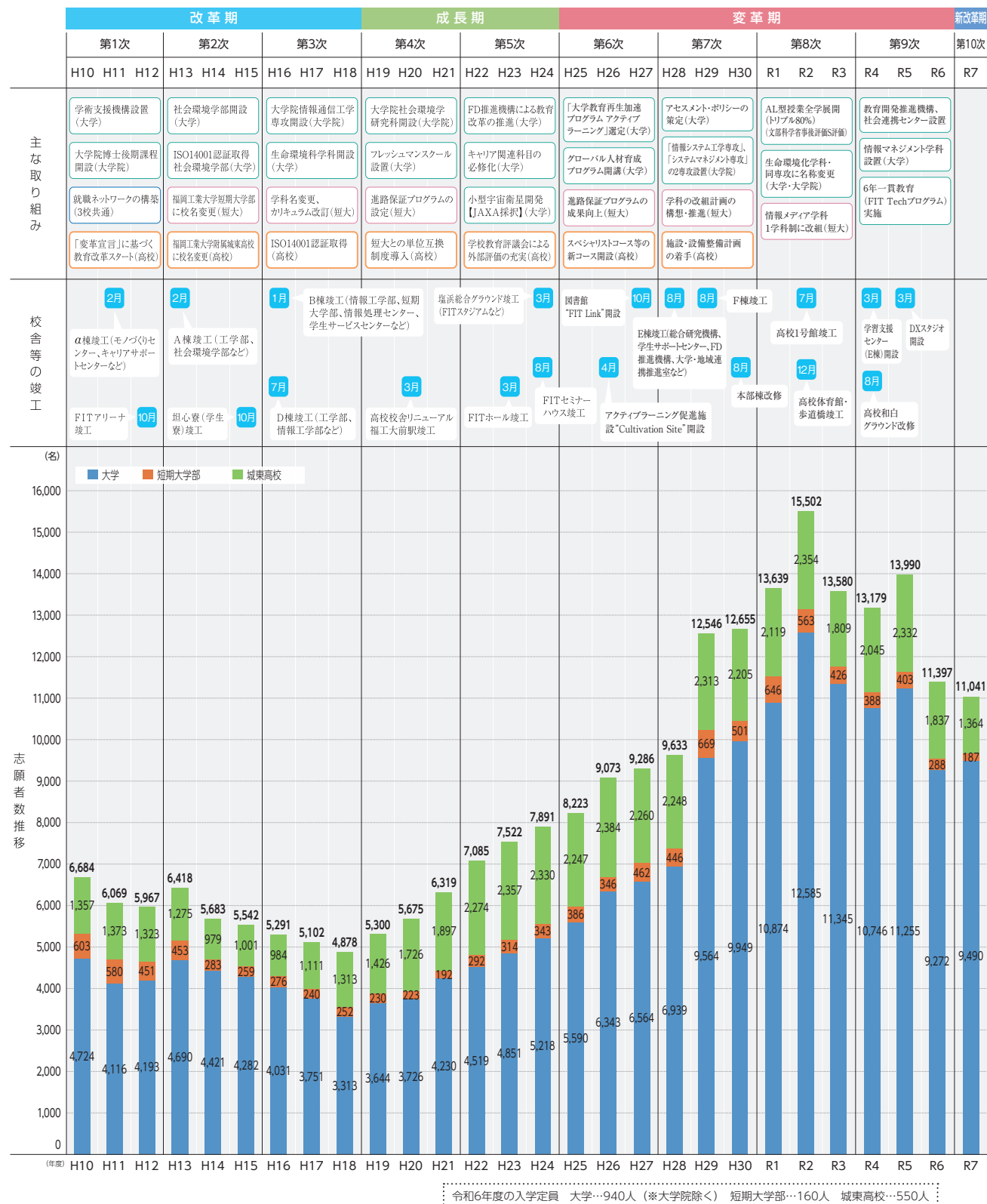


マスタープラン(MP)の取組状況・成果の概要

(1)MPの主な取組と、その成果としての入学志願者の拡大

3設置校(大学・短大・高校)の入学志願者は14年連続増加、以降高位で安定

■マスタープランの概要



(2) MPの成果としての、私立大学等改革総合支援事業の選定等

大学改革進展の指標として、私立大学等改革総合支援事業選定結果は、「全国第3位」と全国トップクラス

■私立大学等改革総合支援事業の趣旨

文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、学校改革に積極的に取り組み、相応の成果を創出している大学等を評価・選定・支援する、国の事業です。選定される学校数は、全国の大学等約910校のうち、タイプ1(教育の質向上等)で105校、タイプ2(研究の高度化等)で45校、タイプ3(地域社会貢献・連携)で20～40グループ、タイプ4(研究の実用化等)で50校のごく少数です。それぞれの領域において、活発な活動を行い、成果を創出している大学等が選定されます。

■福岡工業大学の取り組みの考え方

本学では、教育の質向上(タイプ1)を重点目標に掲げ、その達成の手立てとして、研究の高度化(タイプ2)、地域社会貢献・連携(タイプ3)、研究の実用化(タイプ4)を総合的・一体的に推進し、全てのタイプの選定を目指しています。

■全国私立大学等の選定状況

・12年間(H25年支援事業創設～R6年度)の選定状況〈上位10校〉

第3位／全国約910校中、「全国屈指の好結果」

順位	学校名	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	総計	年平均
1	芝浦工業大学		3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	47	3.9
2	金沢工業大学		3	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	4	44	3.7
3	福岡工業大学		1	4	3	4	4	4	3	4	3	4	4	3	41	3.4
4	国際医療福祉大学		3	4	4	4	4	3	2	3	3	2	3	3	38	3.2
4	東京電機大学		3	2	1	3	2	3	4	4	4	4	4	4	38	3.2
6	東京都市大学		0	0	1	4	4	5	3	4	4	4	4	4	37	3.1
7	藤田医科大学		0	0	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	36	3.0
8	関西学院大学		1	3	3	3	4	3	3	3	2	2	4	4	35	2.9
8	長崎国際大学		1	0	4	4	5	4	3	4	3	2	3	2	35	2.9
10	東北公益文科大学		1	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	34	2.8
10	立命館大学		2	3	2	2	3	3	3	3	3	3	4	3	34	2.8
10	大阪医科薬科大学		2	1	1	2	3	3	4	2	3	4	5	4	34	2.8
10	関西大学		2	3	2	3	2	4	4	3	3	3	3	2	34	2.8

■文部科学省等の認定教育プログラム、学校改革・教育改革関連補助金の採択状況(直近10年間)

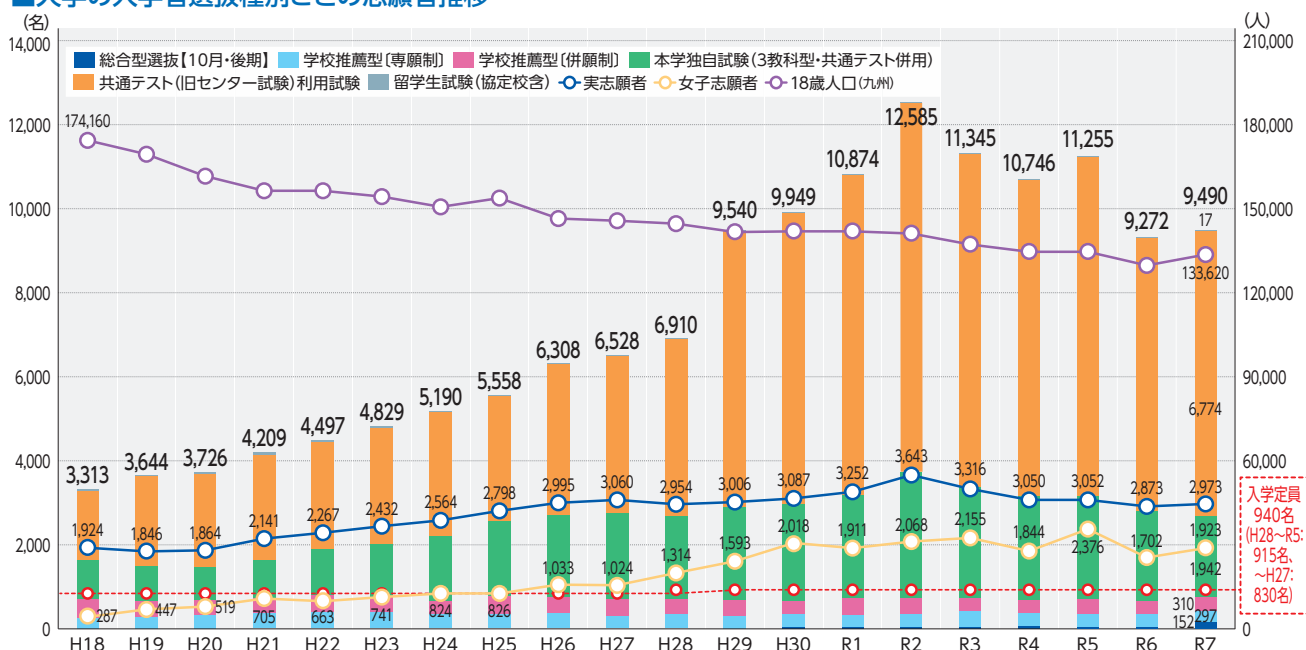
	事業名称	期間
1	大学教育再生加速プログラム<アクティブラーニング型授業の推進プログラム>	H26～R1
2	大学・高専成長分野転換支援基金助成金<学部再編等による特定成長分野(デジタル・グリーン等)への転換等(支援1)>(情報工学部情報マネジメント学科)	R5～R9
3	数理・データサイエンス・AI教育プログラム<リテラシーレベル>(学部)	R5～R10
4	数理・データサイエンス・AI教育プログラム<応用基礎レベル>(学部)	R6～R11
5	数理・データサイエンス・AI教育プログラム<リテラシーレベル・応用基礎レベル>(短期大学部)	R5～R10
6	少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援<メニュー1:キラリと光る教育力>(短期大学部)	R6～R11
7	高等学校DX加速化推進事業<DX/ハイスクール>(附属城東高校)	R6～R7
8	大学・高専成長分野転換支援基金助成金<学部再編等による特定成長分野(デジタル・グリーン等)への転換等(支援1)>(工学部先進工学科及び情報メディア学部情報メディア学科)	R7～R12

1. 入学志願者・入学者の状況(戦略Ⅰ)

入学志願倍率は10倍の高倍率を継続

7年度入試は、入学定員940名に対し、総志願者数9,490名・志願倍率10倍となりました。過年度から継続して高位安定的です。

大学の入学者選抜種別ごとの志願者推移

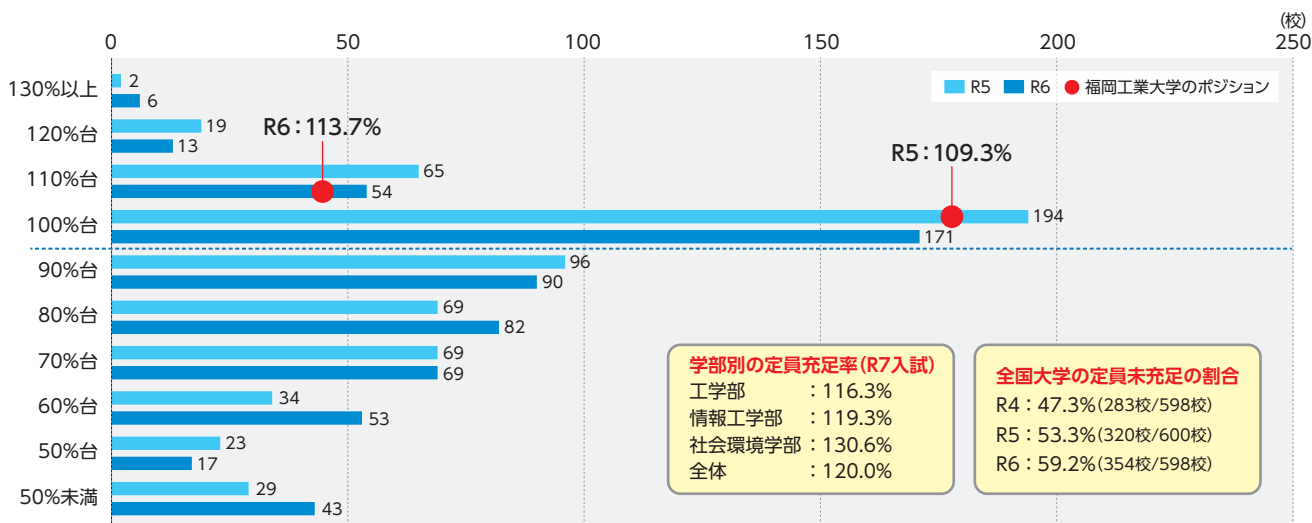


▶ 入学志願者は、学齢人口減少により全国の私立大学が減少させる中で、平成19年～令和2年の間、「全国唯一の14年連続増加」を達成しました。

入学者数は高位安定(入学定員充足率は113%の高水準)

全国の私立大学の約6割が入学定員を確保できない状況の中、3学部9学科全てが、所定の入学者を安定的に確保しています。

入学定員充足率の分布(全国での福岡工業大学のポジション)



日本私立学校振興・共済事業団「令和6(2024)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」から抽出

▶ 令和5年～6年の全国状況・変動は、定員充足校が減少し、同未充足校が増加する傾向にあります。

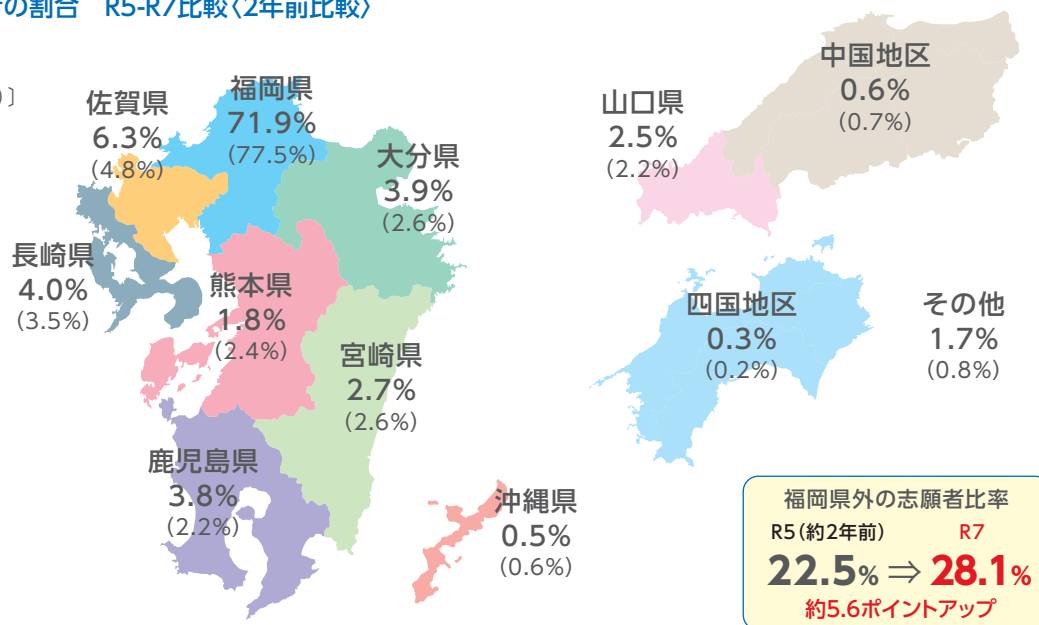
九州他県からの入学志願者も高位安定(広域化)を継続

九州他県、山口県や中国・四国地方からの志願者・入学者は一樣に安定(広域化)しています。九州での存在感は、いっそう確実になったと判断しています。

■出身県別志願者の割合 R5-R7比較(2年前比較)

上段: R7

[下段: R5(2年前)]

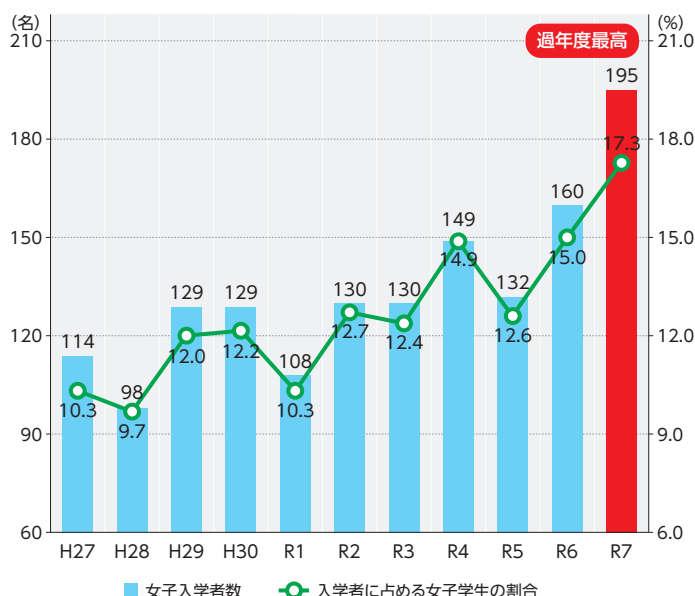


▶ 福岡県以外の出身県別志願者比率は、上昇傾向(R5年比5.6ポイントアップ)にあります。

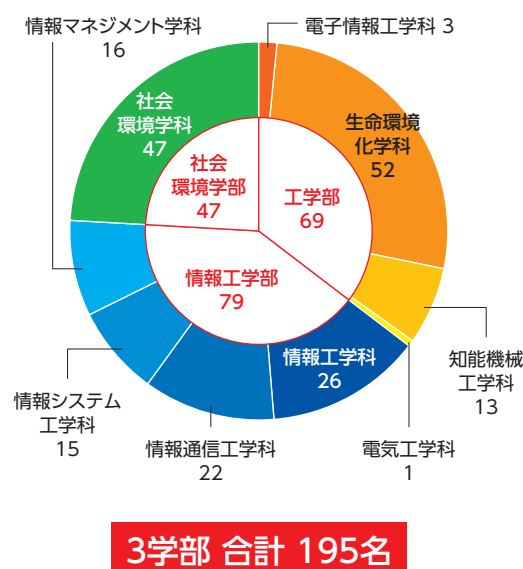
「理工系女子」の入学者数が大幅増加

「理工系女子」の志願者数・入学者数が増加しました。過年度10%前後で推移した女子比率(女子入学者/入学者)は、17%となりました。

■女子学生入学者・入学者比率推移



■学科別女子学生入学者数(名)



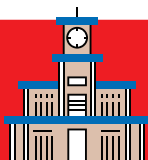
▶ 7年度に入学した女子学生数は、過去最高となりました。

2. 教育力の発揮(戦略Ⅱ)

教育改革の進展に伴い多くの教育指標が ランクアップ

学生自身の成長実感を促す多様な学修機会や、学修者本位の教育に資する様々な教育改善の取組が、学生や高校教員はじめ、企業人事ご担当者や研究機関研究者からの高評価として定着しています。

■THE日本大学ランキング高評価の状況



総合

九州私大4位

(国公私大 813校)

(1位:立命館アジア太平洋大学

2位:西南学院大学

3位:産業医科大学)



教育リソース

充実した教育が行われる
可能性の有無

2021

2023

2025

133 → 139 → **134**位



教育充実度

教育への期待の実現性
の有無

2021

2023

2025

81 → 83 → **63**位



教育成果

卒業生の活躍が期待の
有無

2021

2023

2025

144 → 150 → **128**位



国際性

国際的な教育環境の
有無

2021

2023

2025

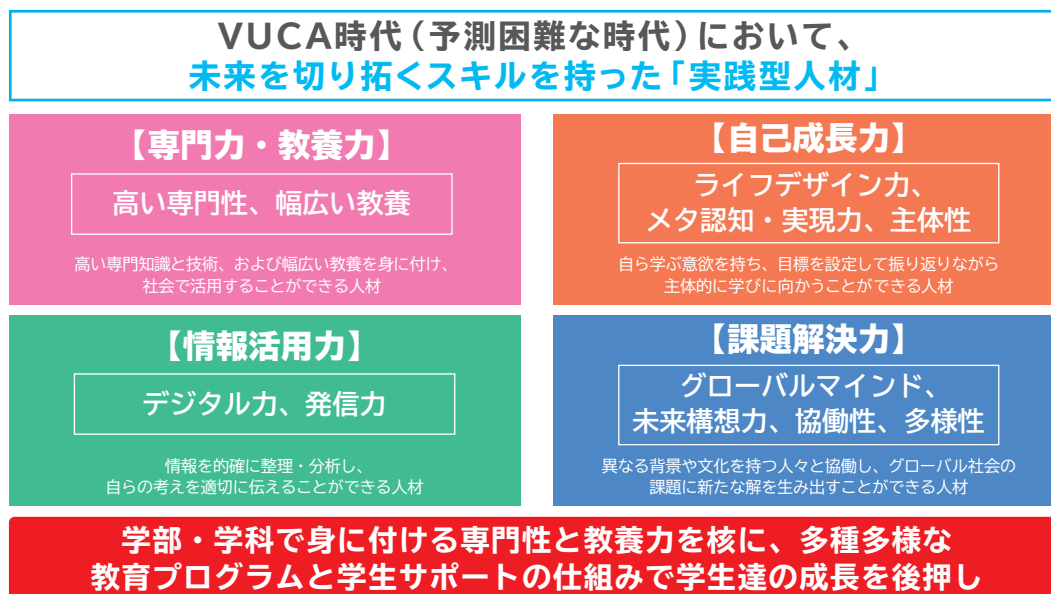
155～
200 → 151～
200 → **151～
200**位

▶ <THE日本大学ランキング>英国の高等教育専門誌「Times Higher Education (THE)」が発表する日本の大学ランキング。教育力、研究力、社会貢献力等の指標に基づき評価され、日本の大学の総合的な実力を測る指標のひとつとして注目。調査は、大学からの情報提供に加え、高校教員、企業人事担当者、研究者へのアンケート調査、学力テストデータ、論文データベースなどが活用され、調査の公正を保つために、監査法人PwC(プライスウォーターハウスクーパース)による監査が行われます。

予測困難な時代(VUCA)に向けた「実践型人材」を育成

第10次マスタープランでは、育成する人材像を「デジタル力を備えた実践型人材」と定め、文理横断の課題解決や社会実装を目的として、教育改革を進展させています。

■本学が育成する学生像



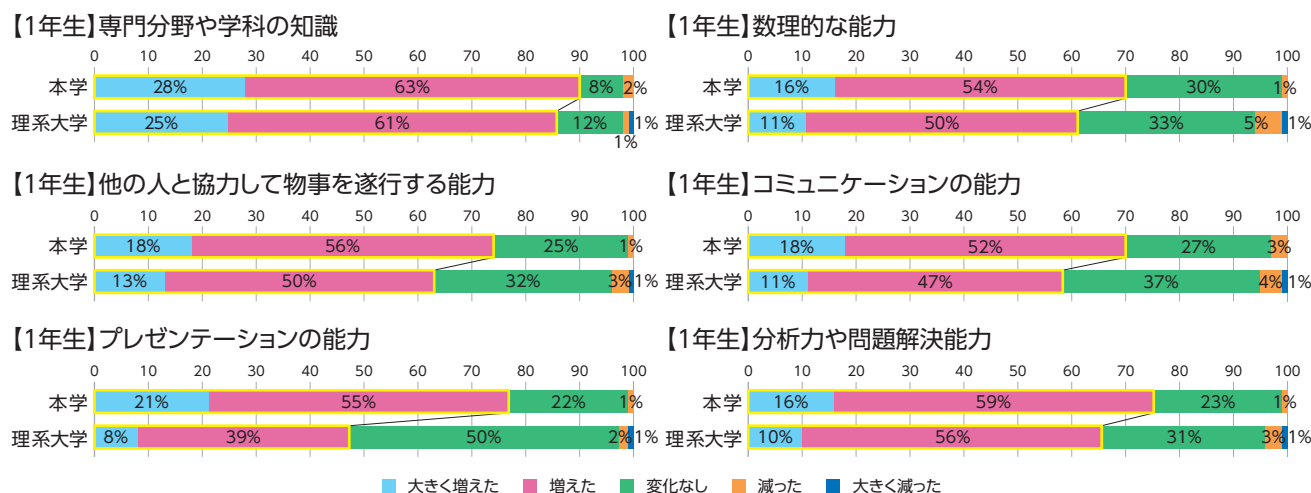
▶ VUCAとは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとった「予測困難な時代」を表します。こうした時代には、自ら課題を発見・解決し、主体的に学ぶ姿勢が求められています。

学生は自らの成長(学力・能力等の向上)を実感

学生の主体的な学びを支える様々な実践型教育活動を展開した結果として、学生自身が獲得したとする能力や知識の定着度合いが大きく、他の理系大学*を凌駕する成長実感を確認することができました。

■IRコンソーシアムアンケート 2023年度

Q：入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか



*「理系大学」…大学IRコンソーシアムに属する国公立63大学のうちの理系学部を有する大学

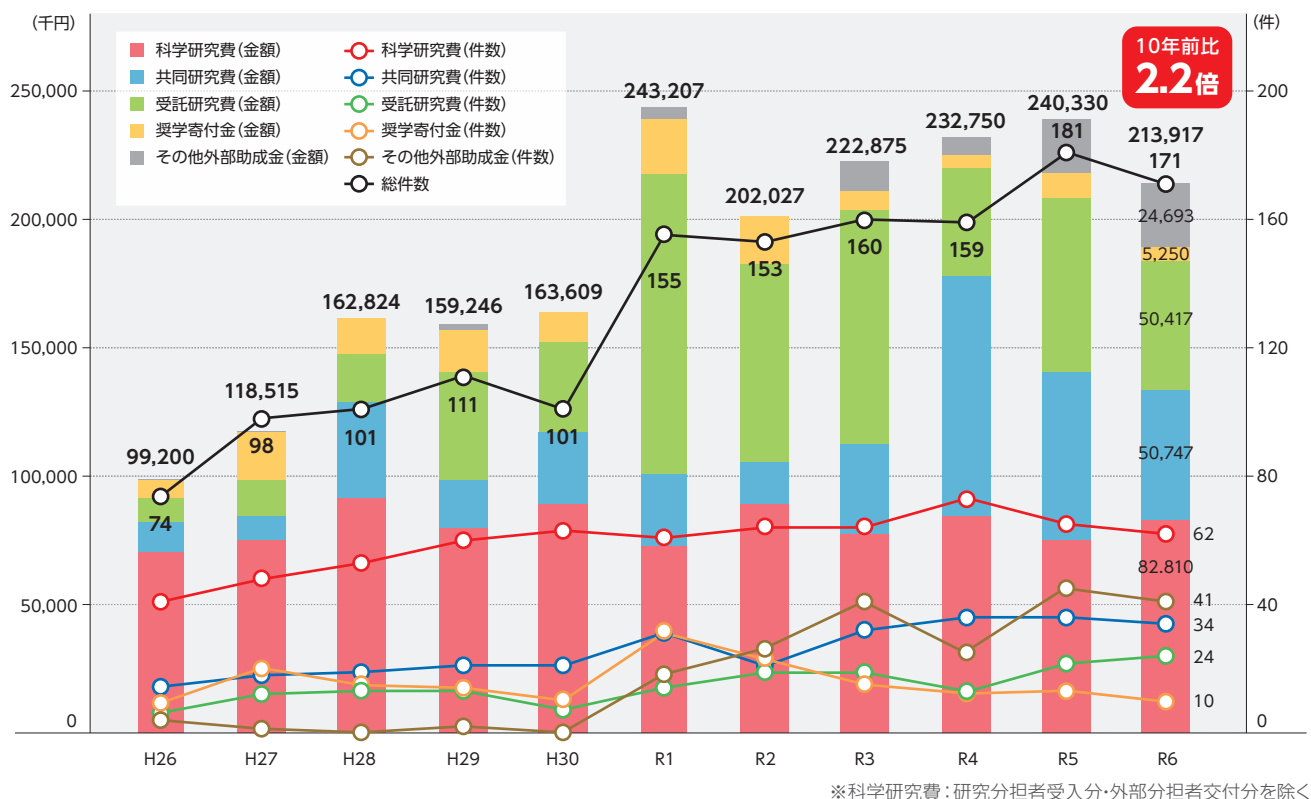
▶ 設問のうち、設問Q7S「グローバルな問題の理解」の成長実感の弱さは課題認識しており、「世界の時事」についてグループで討論を重ねること等、改善に向けた対応を図っています。

3. 研究の高度化(戦略Ⅲ)

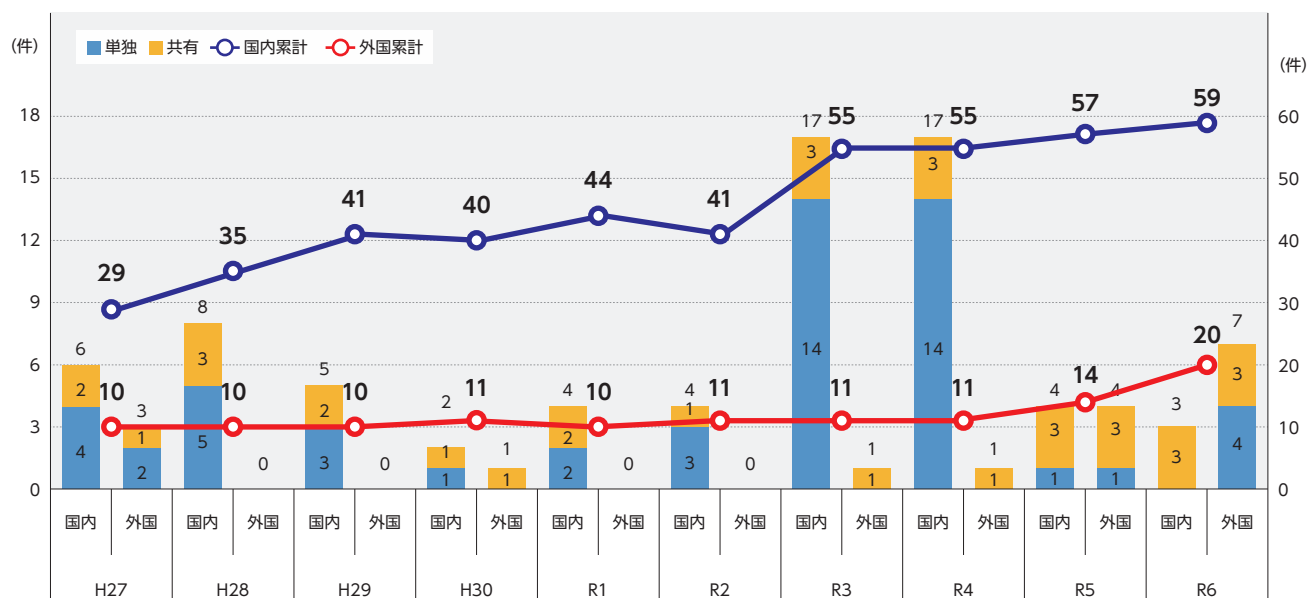
国・産業界からの研究支援(研究費交付等)は拡大傾向

研究支援(組織・制度・予算・インフラ等)の充実で、外部研究費獲得実績は直近10年で倍増(2.14億円と高水準)しています。国・地域・産業界との実用化研究が大きく進展しています。

■外部研究費の獲得実績推移(10年間・科学研究費※、共同研究、受託研究、奨学寄付金、その他助成金)



■権利を保有する特許取得状況推移(企業との共有を含む〈国内・外国〉)



地域社会・産業界との連携を強化。社会実装・実用化を促進

「情報・環境・モノづくり」研究を融合し、地域社会・産業界との強固な連携で、課題解決・社会実装・実用化で成果を創出しています。

情報

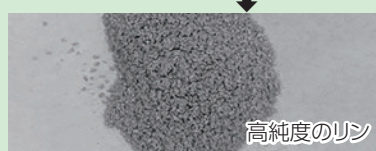
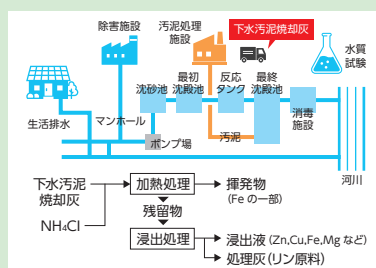
《情報技術の生産性向上への貢献》



情報支援内視鏡外科手術システム
(情報システム工学科・徳安教授)

環境

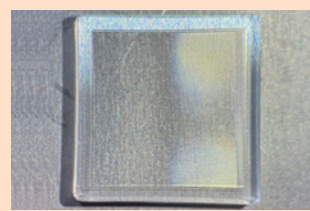
《環境・工学・情報技術の融合》



下水汚泥焼却灰の再資源(リン)化
(生命環境化学科・久保准教授)

モノづくり

《超精密加工技術開発》



世界初!

超硬合金製マイクロレンズアレイ (MLA) 金型開発
(知能機械工学科・仙波教授 / 天本准教授)

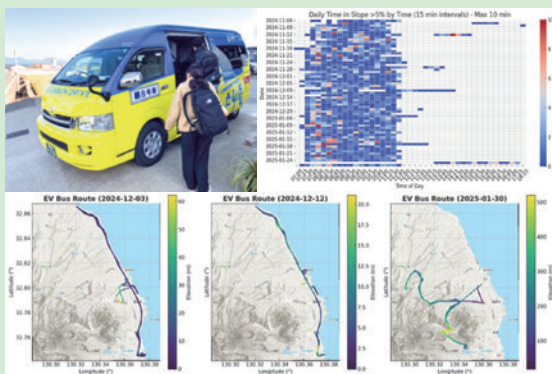
- ▶ マイクロレンズアレイ (MLA) は、極めて小さく (例: 直径0.1mmのレンズ1万個配列)、ディスプレイ、カメラ、医療、半導体露光技術等で広く活用。このガラス製MLAを世界で初めて金型で製造成功しました。

スタートアップ(新規・急成長事業)と大型プロジェクト研究を推進

産学連携室や産学連携コーディネーターの「伴走・オーダーメイド型支援」で、スタートアップや大型プロジェクト研究、並びに知的財産・技術の実用化、事業化を推進しています。

■ 本学が有する知的財産の実用化事例

「島田市 × 福岡工業大学」コミュニティバスEV化実証実験
コンパクトEV (ガソリン車を改造したEV) 車両のバッテリー使用量・走行・地理情報を収集し、性能試験を通じてガソリン車との燃費とCO₂排出量の有効性を分析・実証しています。



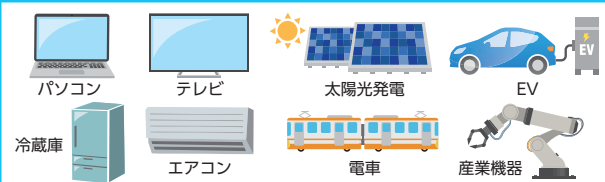
(走行ルートと標高推移)

令和6年度 国交省 共創・MaaS実証プロジェクト
「たしる号EV化実証実験事業」
(情報マネジメント学科・宋教授 / 社会環境学科・上杉准教授)

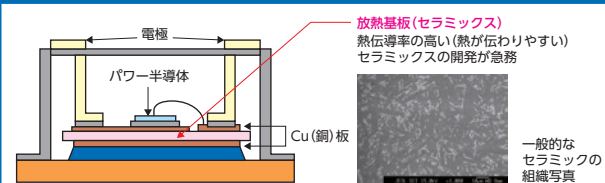
高熱伝導パワー半導体基板

適切な冷却システムや放熱材料を使用することで、半導体の温度を管理して安定した性能を保つことが可能となる。

パワー半導体の用途



パワー半導体の課題のひとつは放熱



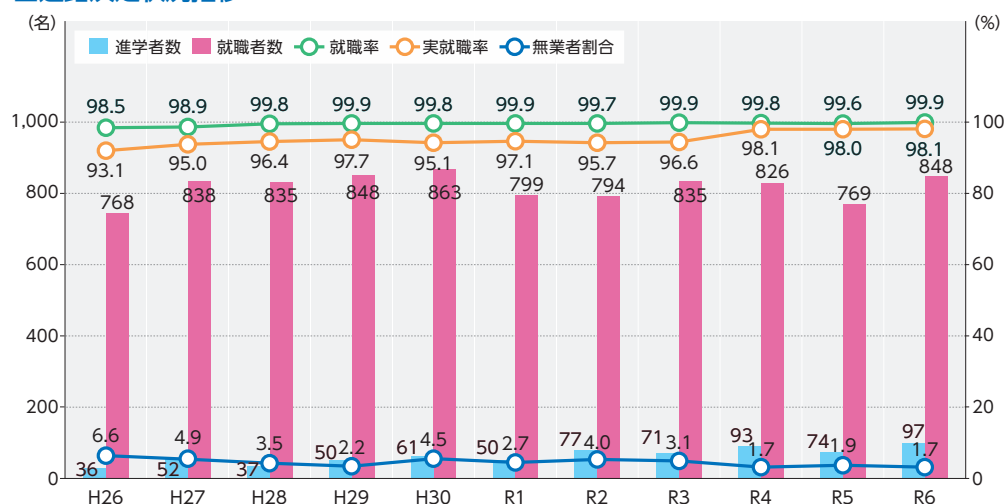
企業との「高熱伝導パワー半導体基板」の研究開発
(生命環境化学科・北山教授)

4. 就職力の強化(戦略Ⅳ)

実就職率は高位安定(10年連続95%超を継続)、就職満足度は高水準

「就職は教育の一環である」との考えに基づき、教職員一体となって、就業力育成・就職支援プログラムを実施しています。9割以上の学生が就職活動の過程や結果に満足しています。

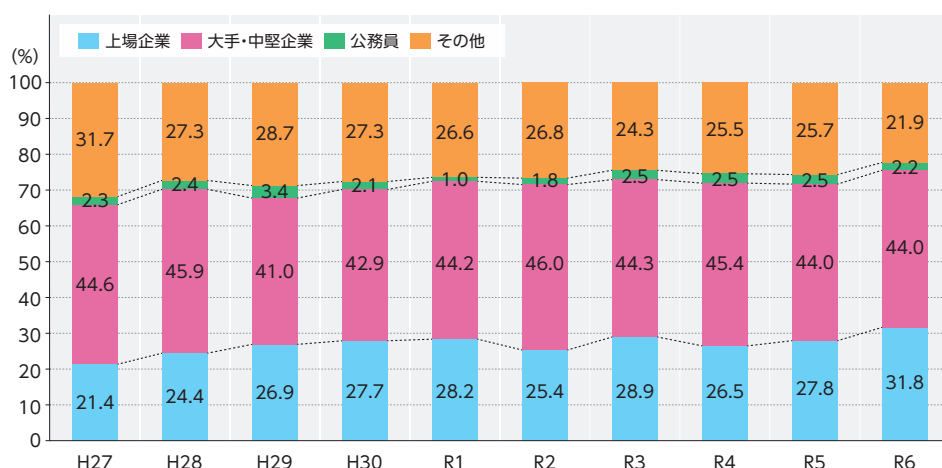
進路決定状況推移



学生満足度
99.6%

就職率*1
99.9%
実就職率*2
98.1%

企業規模別就職状況

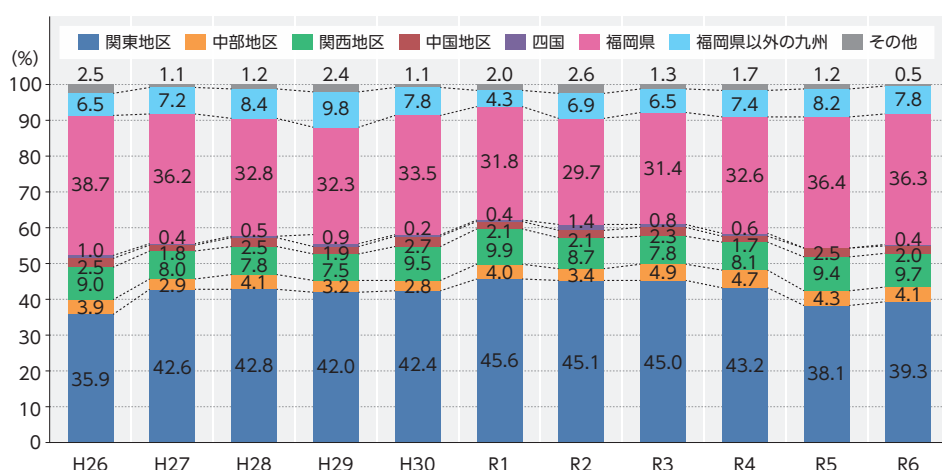


*1 就職率=内定者数÷就職希望者数×100
*2 実就職率=内定者数÷(卒業者-大学院進学者数)×100

※大学における進学者は大学院進学者に限る

上場企業・
大手中堅企業
就職シェア率*3
75.8%

地区別就職状況



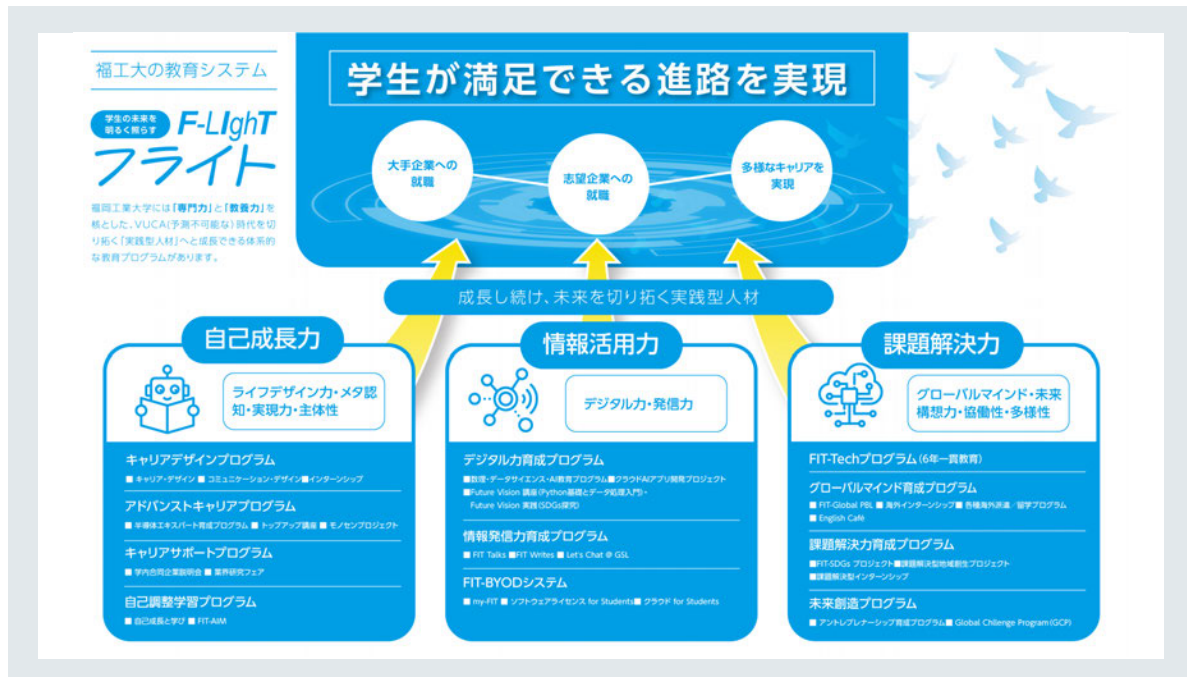
*3 大手・中堅企業は
資本金3億円以上もしくは
従業員数300名以上

福岡県内に
本社を置く企業
への就職率
36.3%

キャリア教育・就活支援体制を拡大・充実

1年次から体系的なキャリア教育・就職支援、学生ひとり一人への手厚い支援を実施しています。全国トップクラスのサポート体制を実現し、外部評価も高水準を維持しています。

■学生が満足できる進路を実現(キャリア教育システム「フライト」)



企業ネットワークを拡大し、就職関連イベントを積極化

採用活動の早期化・多様化に対応するため、多くの企業と連携、学内就職イベントを積極化しています。企業と学生のニーズ適合を図り、職業理解・就職意欲を高めることで、早期内定獲得につなげています。

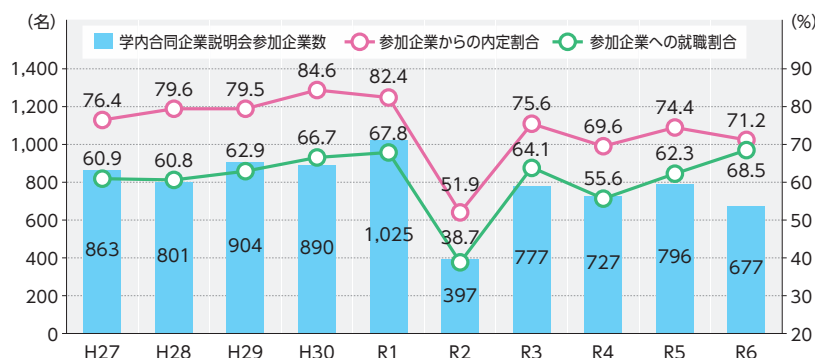
■学内就職イベント開催実績

イベント	開催日時・開催日数	参加企業数	延べ参加学生数
インターンシップフェア	R5/6/10~11 (計2日)	120社	1,498人
業界研究フェア	R5/12/2~3 (計2日)	120社	1,171人
学内合同企業セミナー (対面)	R6/2/13~16、19~22 (計8日)	477社	2,823人
4月学内合同企業説明会	R6/4/18~19、22~23 (計4日)	99社	325人
6月学内合同企業説明会	R6/6/11~14 (計4日)	64社	227人
9月学内合同企業説明会	R6/9/3~5 (計3日)	37社	62人
合 計	23日間	917社	6,106人

7年3月卒から就職活動におけるインターンシップの重要性が高まり、インターンシップ等への参加率は過去最高

早期に、就職活動に悩んだり迷ったりしている学生を把握し、支援

■学内合同企業説明会参加企業数、参加企業への内定・就職割合



■外部評価も高水準を維持

就職支援が充実している大学ランキング

全国 No.1

「就職支援が充実している大学ランキング」で **全国1位**

日経キャリアマガジン特別編集
「価値ある大学就職力ランキング2025-2026」

5-1. グローバル化の取組 (戦略Ⅴ)

海外大学との学術交流協定を飛躍的に加速。47校まで拡大

国際的視野と実践力を兼ね備えた人材教育の育成拠点として、海外協定校を拡大しています。実践型の国際教育プログラムを、さらに拡充したグローバル教育支援体制のもとで積極化し、着実に成果を創出しています。

■国際交流ネットワーク(海外46大学・1教育委員会:令和7年7月31日現在)

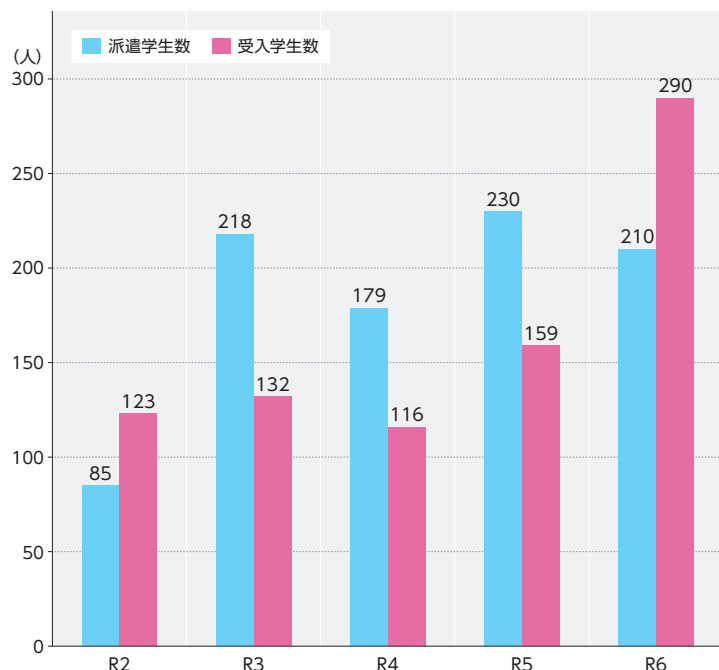
1 〈アルバニア〉 ティラナ工科大学	2 〈イタリア〉 ナポリ・フェデリコ2世大学	3 〈中国〉 南京理工大學	4 〈中国〉 青島科技大學	5 〈中国〉 大連理工大學	6 〈中国〉 北華大學	7 〈中国〉 上海理工大學
8 〈中国〉 蘇州大學	9 〈中国〉 魯東大學	10 〈韓国〉 啓明大校	11 〈韓国〉 荊州大校	12 〈韓国〉 慶星大校	13 〈韓国〉 東國大校WISE	14 〈韓国〉 釜慶大校
15 〈韓国〉 東亞大校	16 〈韓国〉 昌原大校	17 〈韓国〉 順天郷大校	18 〈カナダ〉 センテニアルカレッジ	19 〈カナダ〉 プリティッシュコロンビア大校	20 〈インド〉 デリー準州教育委員会	21 〈タイ〉 キングモンクット 工科大学ラカバン校
22 〈タイ〉 キングモンクット 工科大学トリポリ校	23 〈タイ〉 泰日工業大校	24 〈タイ〉 チュラロンコン大校	25 〈タイ〉 CMKL大校	26 〈マレーシア〉 マラ工科大学		
27 〈シンガポール〉 テマセク・ポリテクニク	28 〈台湾〉 高雄科技大校	29 〈台湾〉 元智大校	30 〈台湾〉 国立東華大校	31 〈台湾〉 国立宜蘭大校	32 〈台湾〉 明新科技大校	33 〈台湾〉 雲林科技大校
34 〈台湾〉 明志科技大校	35 〈ベトナム〉 ダナン大校工科大学	36 〈ベトナム〉 ハノイ工科大学	37 〈ベトナム〉 ホーチミン市工科大学	38 〈ベトナム〉 国立郵政通信技術学院	39 〈インドネシア〉 マラン大校	40 〈インドネシア〉 ポリテクニク
41 〈オーストラリア〉 フェデレーション大校	42 〈アメリカ〉 セントメアリーズ カレッジカリフォルニア	43 〈アメリカ〉 カリフォルニア州立大校 イーストベイ校(CSUEB)	44 〈アメリカ〉 フットヒルカレッジ	45 〈アメリカ〉 サンノゼ州立大校	46 〈アメリカ〉 ハワイ大校マノア校	47 〈アメリカ〉 サンフランシスコ州立大校

World map showing the locations of the 47 international partner universities and 1 education committee, with callouts for groups 1-2, 3-9, 10-17, 18-19, 20-25, 26-34, 35-38, 39-40, 41, 42-47.

グローバル教育プログラムを本格化。国際交流がさらに活発・活性化

学術交流協定の拡大を受け、派遣・受入学生数を拡大しています。このプログラムでは、国際交流体験にとどまらず、国際的な諸課題解決に向け、外国人学生との協働学修を加速しています。

■国際交流の過年度実績推移



ロボット製作の様子



台湾からの受入学生との研修の様子

3設置校一体でグローバル教育サポート体制を拡充

学園を横断するグローバル一貫教育支援体制のもとで、段階的かつ体系的な国際適応力を育成しています。

■グローバル化教育の支援体制

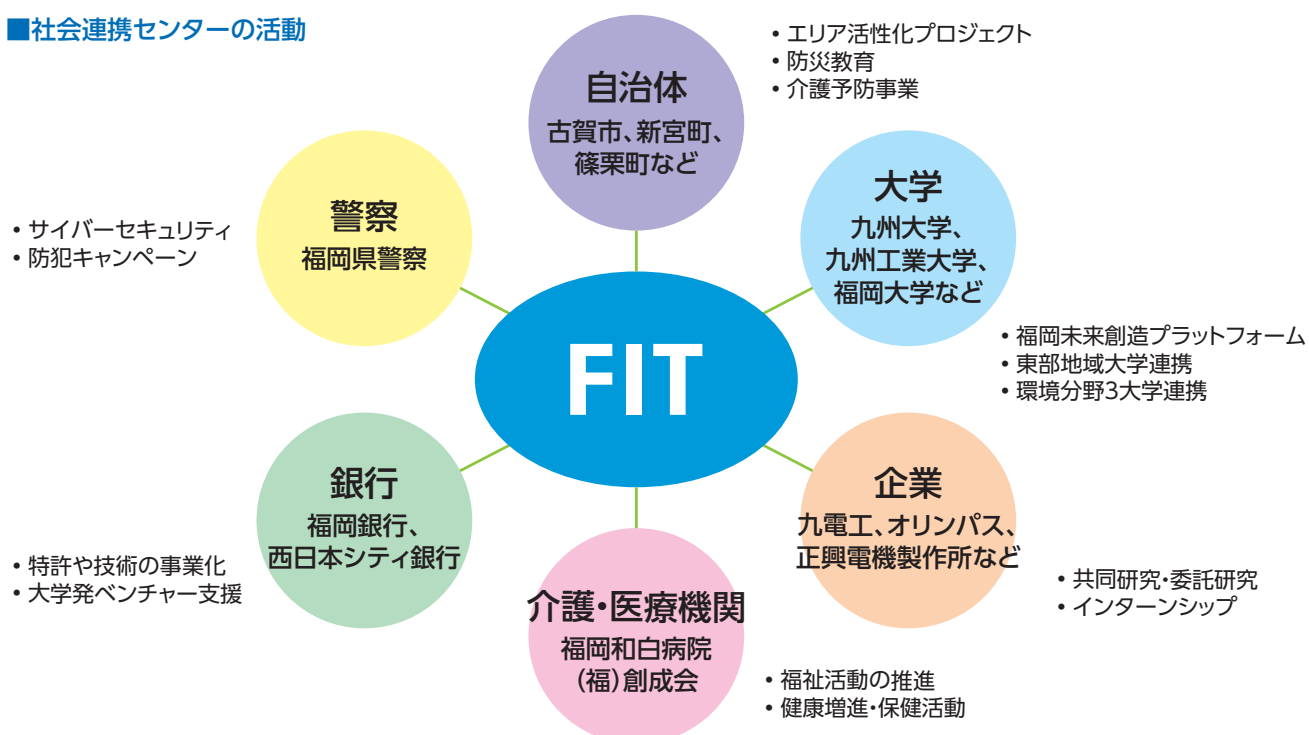


5-2. 地域貢献の取組(戦略V)

地域社会との共創による地域活性化が いっそう加速

地域ネットワークを拡大(延べ29件)して地域貢献活動を推進しています。地域の教育支援・地域課題解決型学習など、地域創生活動がいっそう活発化しています。

■社会連携センターの活動



▶ 社会連携センターは、本学の特色を活かした「地域貢献と実社会をフィールドとする学びの機会」を創出することを目的としています。大学の窓口となって、各学部、各部署と協働し、多種多様な連携事業を展開しています。

■6年度の主な地域貢献活動(社会連携センター・モノづくりセンター)

・楯の松原保全活動 ・東区花火大会清掃活動 ・たしろ号EV化実証実験事業など 11件	地域環境の保全	教育・文化の振興	・サイエンスフェスタの開催 ・福岡市学生サポーター活動 ・資格取得講座の開講など 161件
・商店街PBL ・福岡MICEスクール ・福岡未来創造プラットフォームなど 29件	経済振興	地域の安心・安全	・認知症声掛け訓練 ・放生会防犯パトロール ・防災フェスタ運営など 49件

▶ 6年度は社会連携センター・モノづくりセンターで250件の地域貢献活動を実施し学生3,959人、学外児童・生徒3,676人が参加しました(延べ数)。

地域連携による青少年教育支援を推進

「実践的スキルの育成」や「モノのづくりへの関心・意欲の育成」を目的として、高校生模擬講義・小中学生モノづくり体験教室・科学技術イベント開催等、地域の青少年教育支援を推進しています。

■新宮高校理数科 × 生命環境化学科

生命環境化学科がエレクトロニクス研究所・食品農医薬研究センターにて電子顕微鏡実習を行いました。



■新宮東小学校 × 電気工学科

電気工学科による「人の気持ちを読み取る方法」と題した生体反応に関する模擬授業が行われ、小学生が感情と生体反応の関係について学びました。



■「わじろ地域大学」× モノづくりセンター × i-STEAM × 下戸研究室

i-STEAM教育開発プロジェクトがモノづくりセンターにて、ロボット操作体験会を実施し、地域の子どもたちやその保護者が参加しました。



■サイエンスフェスタの開催

モノづくりセンターと連携し、地域の子も達へのモノづくり体験講座や、先端科学技術を学べるイベントを展開しています。



▶ モノづくりセンター: 学生が実際にモノづくりを体験し学習する施設。最新の製造技術や設備を利用し、プロジェクトや研究活動を行っています。

環境保全活動を通じた地域課題解決型学習を積極化

近隣自治体と連携し、「地域社会のSDGs達成」にむけた環境保全活動を積極化しています。課題解決型学習、ボランティア活動等を通じて、地域環境保全に貢献しています。

■新宮町 × 福岡工業大学

地域の水生生物の生息を明らかにすることを目的に、新宮町の海・河川の水生生物調査を実施し、実地調査・報告を行いました。



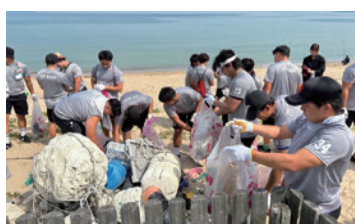
■島原市 × 情報マネジメント学科・社会環境学科

コンパクトEV車両の走行実験を実施し、燃費の比較や脱炭素を見据えた排出額削減効果の分析、適正な運行形態の検証をしています。



■新宮町 × 強化クラブ

楯の松原保全を目的とした清掃ボランティア活動を実施し、ラグビー部、柔道部、硬式野球部の98名の学生が参加しました。



■古賀市 × 社会環境学科

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目的とした「ウォークアブル社会実験」の調査に、学生延べ26名が参加し、歩行調査やアンケート調査を行いました。



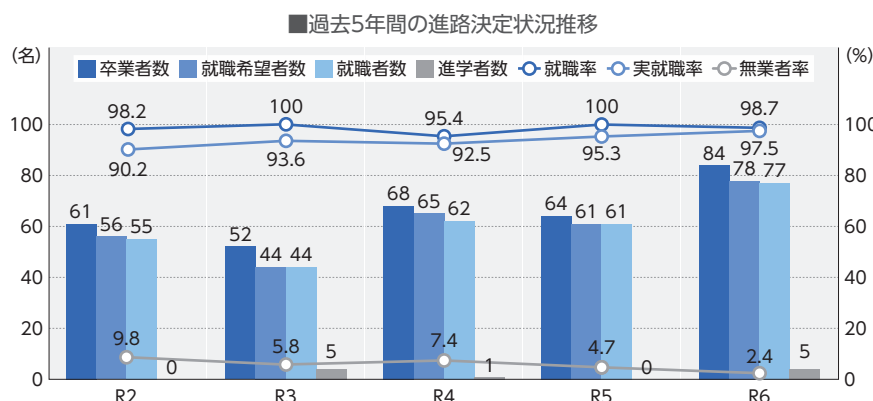
▶ 6年度は地域課題解決型学習(地域PBL)として、15件の取組を実施し、延べ490人の学生が参加しました。

6. 大学院の取組

上場、大手・中堅企業就職率は過年度最高93.5%を達成

卓越した研究者のもとでの研修指導、国内外企業・研究所等のバックアップ、キャリア教育の徹底等により、進路決定状況、学会での表彰実績が堅調に推移しています。

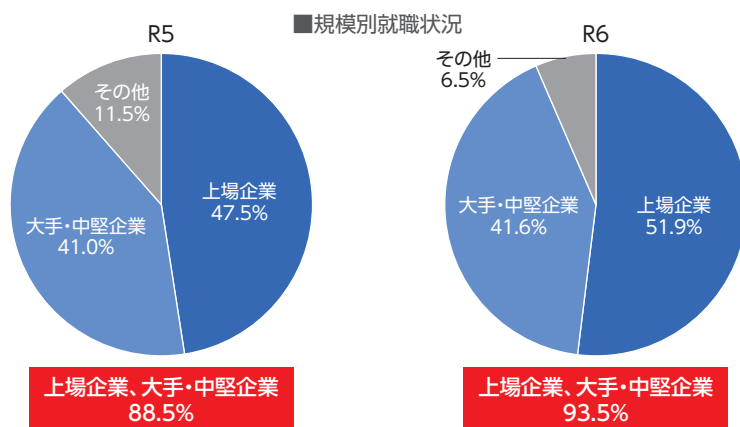
■大学院生の就職状況



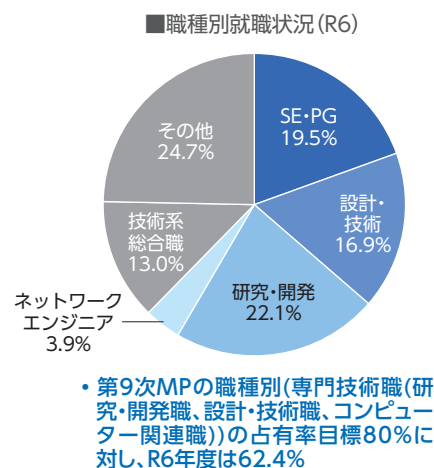
就職率 98.7%

実就職率 97.5%

修了者数 84名
就職希望者数 78名
就職者数 77名
進学者数 5名



上場企業、大手・中堅企業への就職率が高位で推移
(R6:93.5%、R5:88.5%、R4:90.3%、R3:88.6%)



■大学院トップアップ講座

6年度実績
受講者23名の進路決定状況

就職率 100%

上場、大手・中堅企業への就職者数
22名 95.7%

■企業講話・企業訪問の様子



(株)西日本新聞社様による企業講話の様子



(株)堀場エステック様の阿蘇工場見学の様子

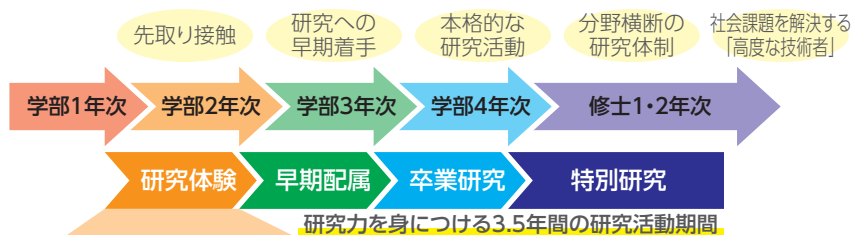
高度な技術者を目指し「FIT-Techプログラム」を開始

早期から「研究」に触れ、高度な技術者を目指すことを目的に「FIT-Techプログラム(6年一貫教育プログラム)」を今年度から開始し、第1期生として、109名が参加しました。

■FIT-Techプログラムとは

FIT-Tech (Top Engineer Challenge) プログラム

目的: 技術者として高度な専門的研究能力と同時に、分野横断・学際領域の推進を見据えることができる幅広い知識・俯瞰的視野を養う



- ① 学科推奨科目の受講
- ② 研究室調査 (教員・院生インタビュー、ゼミ聴講)
- ③ 修論・卒研発表会の聴講
- ④ 学会聴講参加、各種プログラム参加など(推奨)

学部4年次(M0)～

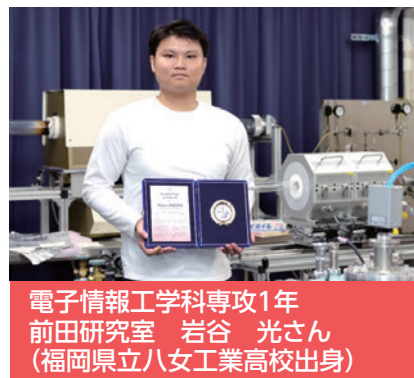
- ・大学院科目の先行履修
- ・実践インターンシップ参加
- ・TOEIC受験・対策講座

修士1年次(M1)～

- ・「探求科目」コースワーク

専攻を超えた主・副担当の指導体制

■学会表彰された大学院生



The 10th International Symposium on Surface Science (ISSS-10) において『Student Prize』受賞



▶ バックデータ集(P33)に学会表彰された学生一覧を掲載しています。

大学院進学をサポートする経済的支援策を拡充

研究意欲旺盛な学生が、経済的な理由で大学院進学を断念することがないように、本学独自の様々な経済支援方でサポートしています。

■独自修学支援制度(8年度から「新・学業特待生制度」を開始予定)

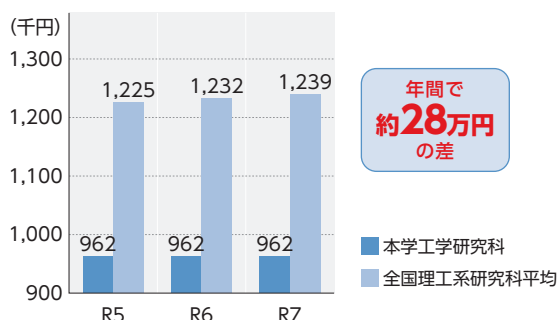
対象	採用人数	支援内容
学業特別奨学生制度	各学年9名	授業料の半額を補助
奨励金支給制度	各専攻1学年当たり2名	毎月80,000円を支給
学会出席旅費等補助制度	全員	学会参加に必要な費用のほぼ全額を補助

8年度から開始予定の「新・学業特待制度」について、こちらでご確認ください

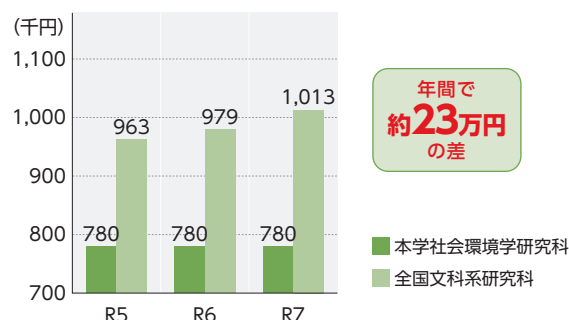


年間授業料が半額免除となる「学業特別奨学生制度」や毎月8万円の奨励金を支給する「奨励金支給制度」を設けています。

■大学院(工学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



■大学院(社会環境学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



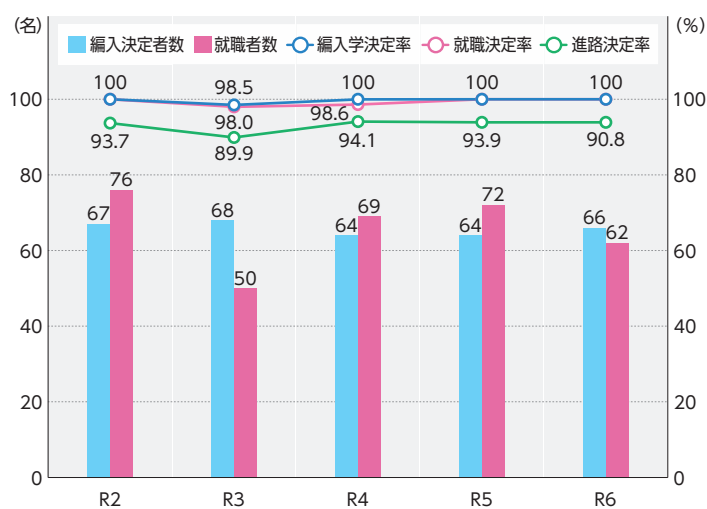
▶ 理工系研究科で全国平均を大きく下回る低学費施策で修学を支援しています。

7. 短期大学部の取組

教育改革進展と進路支援充実で高い進路決定率を維持

教育改革の推進と進路支援の充実により、学生一人ひとりの個性と能力を最大限に引き出し、質の高いキャリア形成を実現しています。進路決定率は約91%と高水準を継続しています。

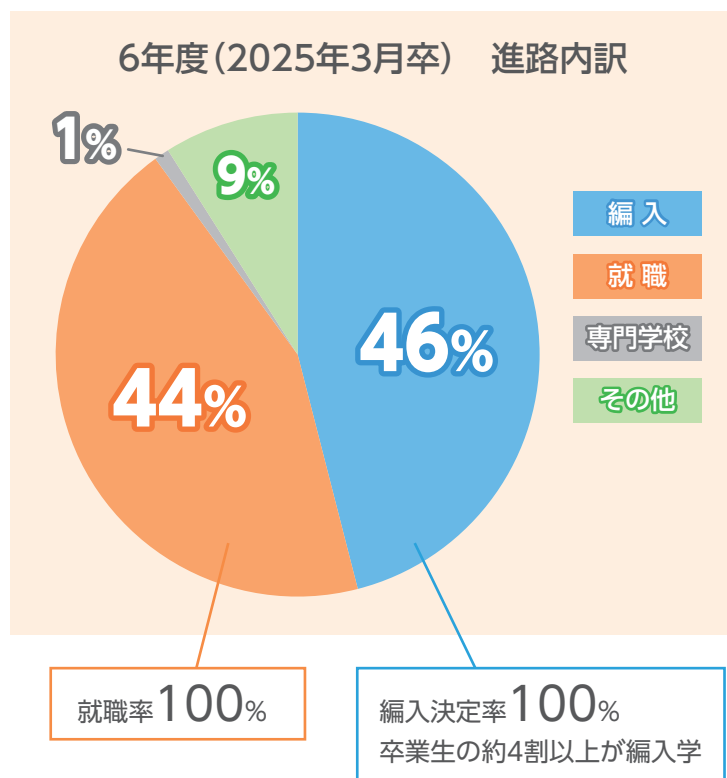
■進路決定状況推移



編入学決定率 **100%**
 就職決定率 **100%**
 進路決定率 **90.8%**

	R2	R3	R4	R5	R6
卒業生数	162	139	153	148	142
編入決定者数	67	68	64	64	66
就職者数	76	50	69	72	62
進路決定者数	149	125	144	139	129
編入学決定率	100%	98.5%	100%	100%	100%
就職決定率	100%	98.0%	98.6%	100%	100%
進路決定率	93.7%	89.9%	94.1%	93.9%	90.8%

■4年制大学への編入実績



【編入実績】6年度(2025年3月卒)

国公立大学 11名

九州工業大学 情報工学部 1名
 佐賀大学 理工学部 1名
 宮崎大学 工学部 1名
 山口大学 工学部 1名
 琉球大学 工学部 1名
 岐阜大学 工学部 1名 等

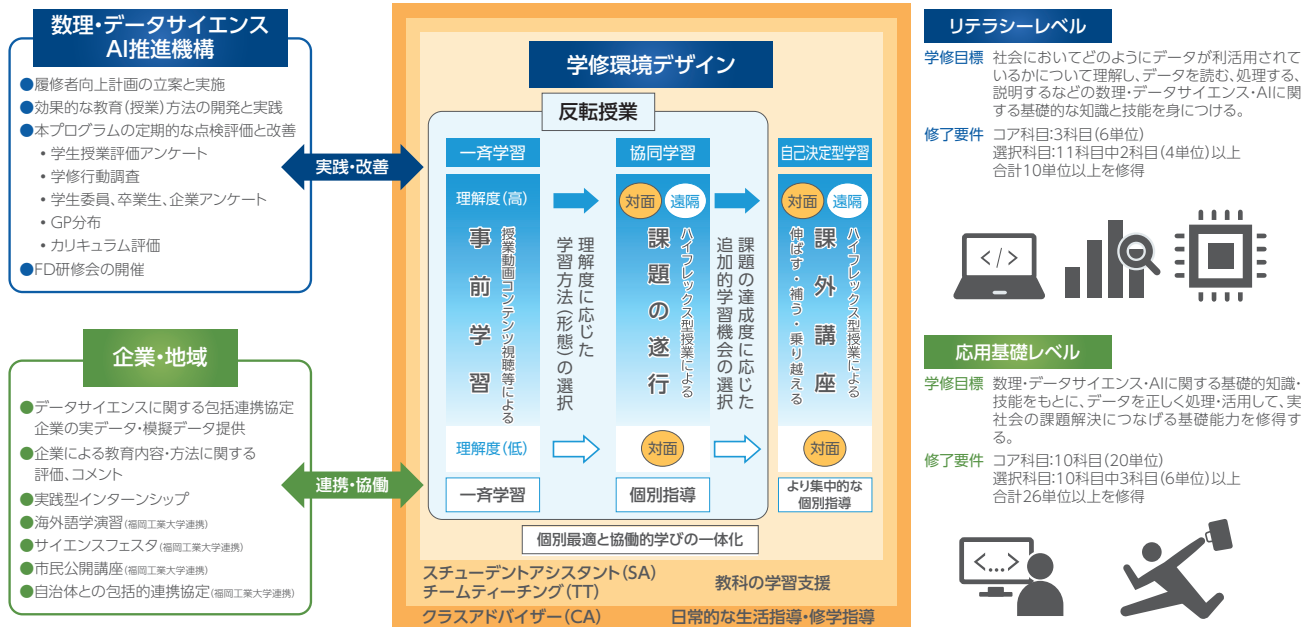
私立大学 65名

福岡工業大学 工学部 1名
 福岡工業大学 情報工学部 12名
 福岡工業大学 社会環境学部 9名
 東京通信大学 情報マネジメント学部 1名
 大阪産業大学 デザイン工学部 1名
 近畿大学 産業理工学部 2名
 久留米大学 経済学部 1名
 久留米工業大学 工学部 8名
 西日本工業大学 デザイン学部 1名
 サイバー大学 IT総合学部 2名
 九州産業大学 理工学部 11名
 九州産業大学 芸術学部 1名 等

教育DXと実践的PBLで「個別最適化教育」を展開

教育DXを積極的に導入し、学生の理解度や習熟度に応じた学修環境を提供しています。実践的PBLなどを通じて、基礎力の着実な定着と主体的学修能力の育成を図っています。

■文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム応用基礎レベル」

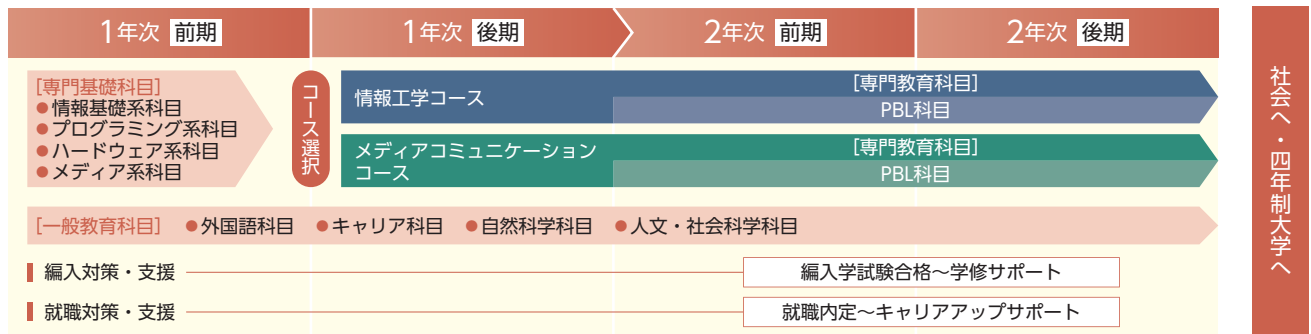


▶ 5年度に、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム応用基礎レベル」に**全国の短大で唯一**認定されました。

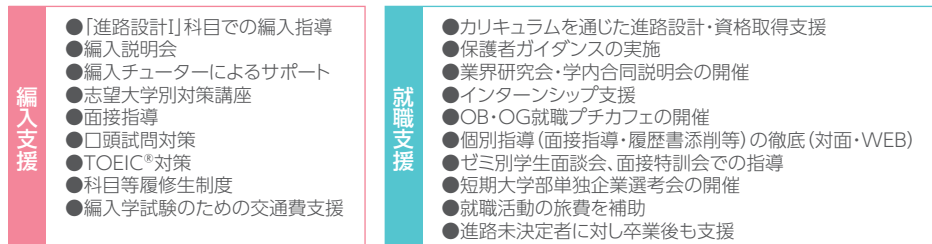
一人ひとりに寄り添って編入・就職を強力に支援

学生の目標や適性に応じた個別指導を徹底し、編入・就職など多様な進路実現に向けた体系的なプログラムで、学生一人ひとりのキャリア形成を強力にサポートしています。

■短期大学部での2年間の学習体系



■編入・就職支援ラインナップ



▶ 進路実績(進学先・就職先等)の実績は、P49「バックデータ集」を参照してください。

■卒業生・編入生による「編入座談会」の様子

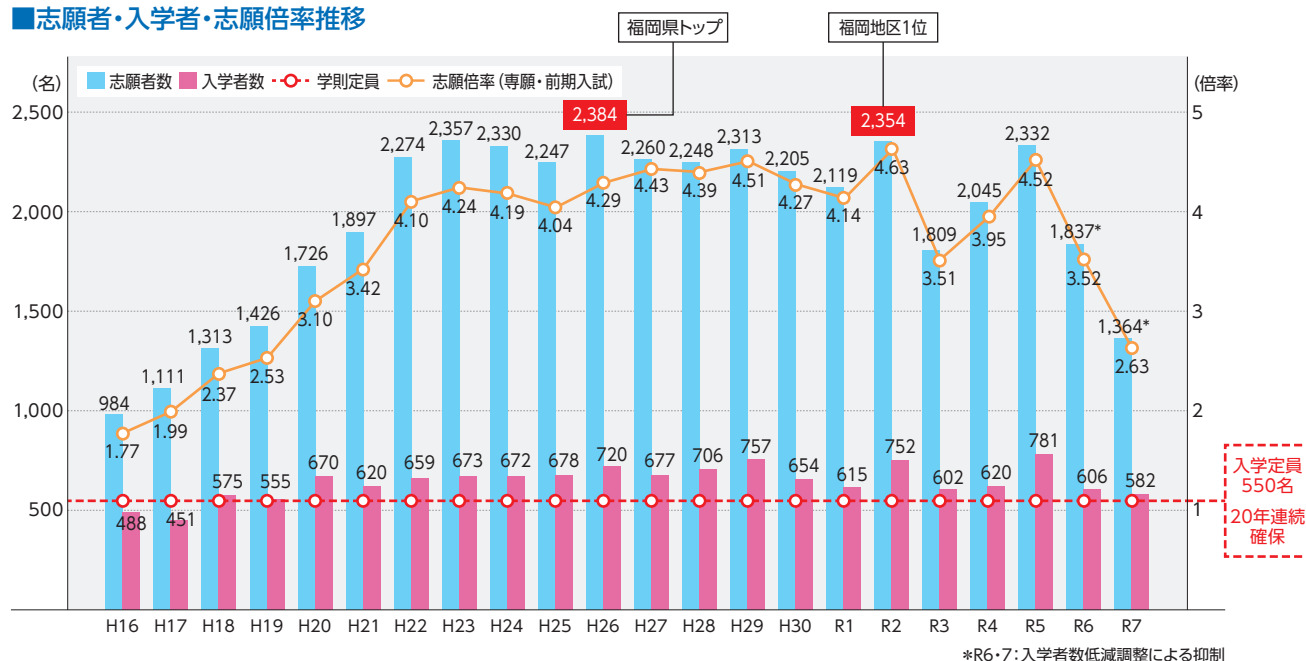


8. 附属城東高校の取組

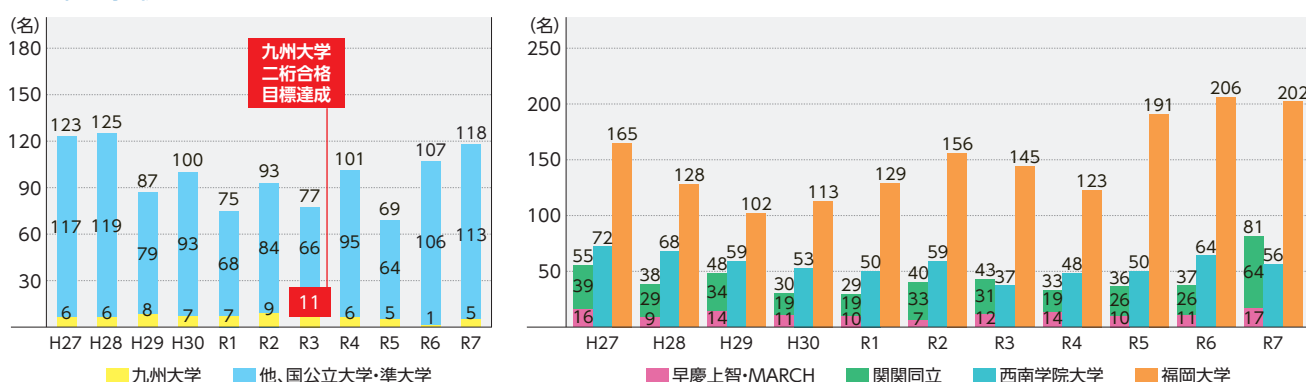
入学志願者・入学者、進学・就職状況は高位安定

入学志願者は平成12年(改革元年)以降増加、高水準を維持しています。国公立大・難関私大等の進学実績や就職実績も良好な水準を維持しています。

■志願者・入学者・志願倍率推移



■合格者推移



■就職状況推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
就職対象者	72	84	68	77	89	103	70	67	77	59	53
就職希望者	72	84	68	77	89	103	70	67	77	59	53
就職希望率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
就職者	72	84	68	77	89	103	70	67	77	59	53
就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

就職対象者: 卒業者数-進学者数

国家資格等合格実績 各種検定含む 延べ1,746名

第一種電気工事士国家試験 合格者31名、合格率86.1% **全国1位**

第三種電気主任技術者試験 1名合格

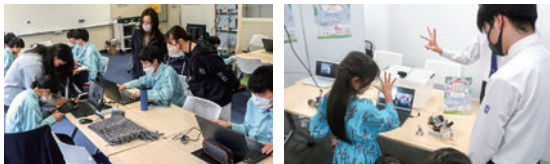
生徒の様々な進路に対応する特徴的教育を多様化

生徒一人ひとりの将来の夢を実現するため、進学支援(高大接続)、資格取得支援、キャリアサポート、ICT授業支援等を拡充しています。

■生徒の進路サポートの取組

進学支援	就職支援	キャリア支援	授業支援
- 学習日誌「礎」による学習の習慣化 - 勉強合宿 - 有名国立・私立大学見学(東京・京都) - 模擬講義 - 校内説明会 - 個別指導 など	- 資格取得支援 - インターンシップ - 企業見学 - 進路補習 - 模擬試験 など	- 総合的な探求の時間 - AP研究会 - 進路研究会 - 新規オリジナルイベント - 大学入学共通テスト「情報」への対応 など	- スタディサプリ(デジタル教材)の活用 - 授業動画配信・オンライン添削などICTの活用 など

■高大接続



本学独自の高大連携の取組、「i-STEM」教育を実施
左)課題研究「AIベースのハンドジェスチャー操作型ロボットの制作」
右)「東区こども青少年文化祭ユースフェスタ・ひがし2024」で地域の子どもたちに体験してもらう様子

■グローバル教育



3種類の留学プログラム、その他13種類の校外プログラム、8種類の校内プログラムを実施
左)ニュージーランド中期留学
右)構内企画「イタリアからの留学生のジョルジャとイタリア料理をつくろう」

▶6年度より、デジタル人材育成に取組む高校として、DX加速化推進事業(文部科学省補助事業)に採択され、ICT教育支援はさらに拡充しています。

実社会での主体的かつ能動的な課外活動を積極化

生徒が協働し、目標達成や課題解決に向け主体的・実践的に取り組む、生徒会活動や地域貢献活動、部活動がいっそう活発化しています。

■活発な生徒会活動・部活動の様子



ダンス部 九州ダンス連盟からの推薦で、福岡県古賀市の古賀自動車学校様のCMIに出演(博多駅前大画面にて、2025年3月より1年間放送)



女子バレーボール部
第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会福岡県大会 優勝
第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会 ベスト16



文部科学大臣賞受賞 左)書道部 第46回 読売学生書展 行草体縦3行書 2年戸川佳歩さん 右)科学部 第48回 全国高等学校総合文化祭 科学部 雲班「雲の形状観測による天気予測」



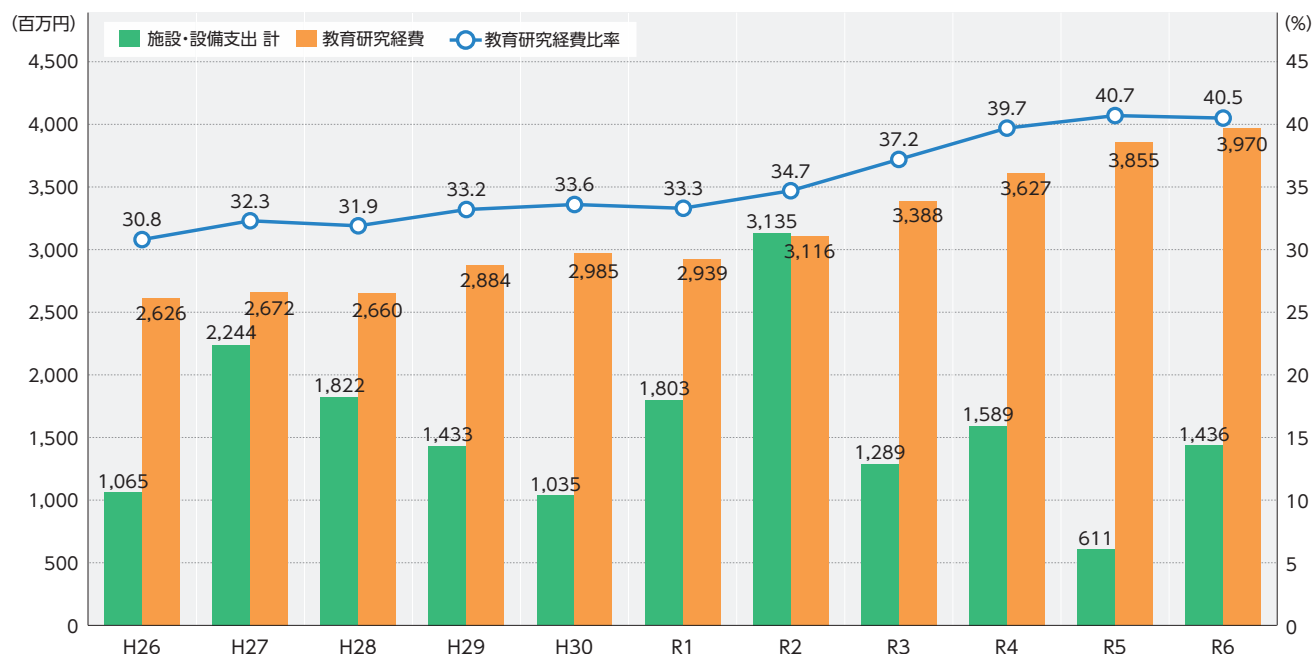
令和7年3月8日(土)
県青少年赤十字高校連絡協議会学年末集会と「能登半島地震」被災地への募金活動への参加

9. 財政基盤の安定(戦略Ⅵ)

教育・研究活動に積極的な資金投下を継続

基本方針「健全財政を堅持しつつ、教育・研究活動へ積極的に資金投下」に沿って、学費を教育・研究活動へ最大還元しています。

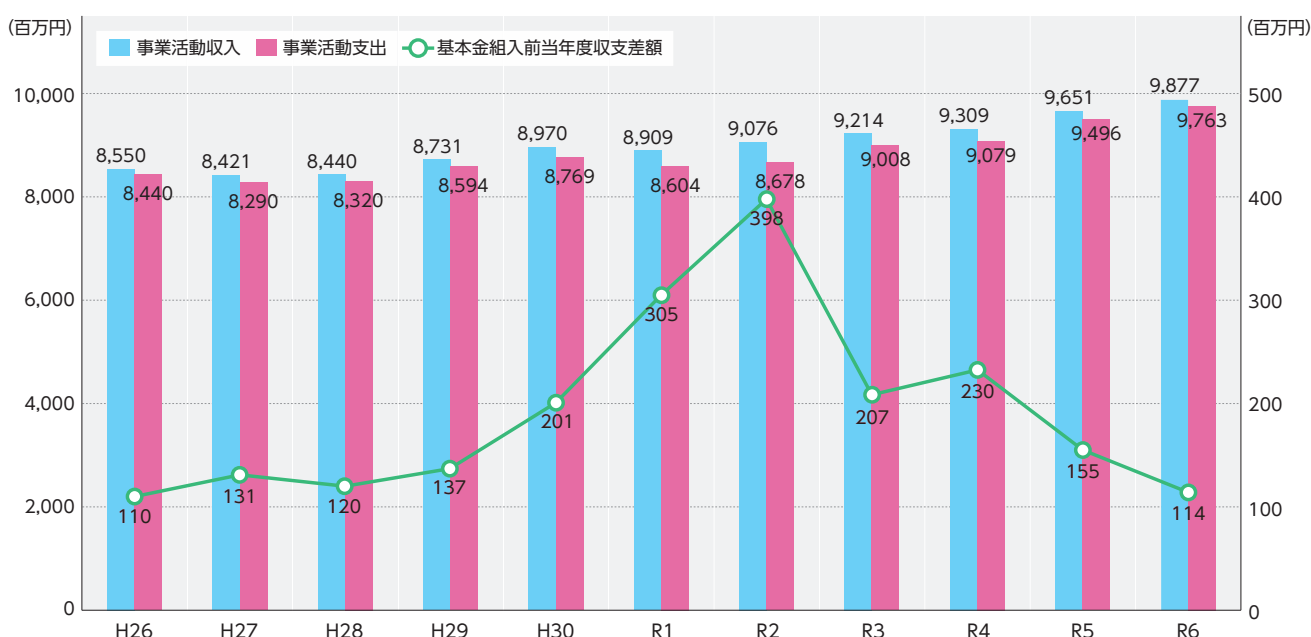
■施設・設備支出、教育研究経費(比率)推移



20年連続で計画どおり黒字計上(経営安定)

PDCAによる経営管理により、財政計画の実現性(経営効率化・安定化)が向上し、20年連続で計画どおりの黒字を計上しました。

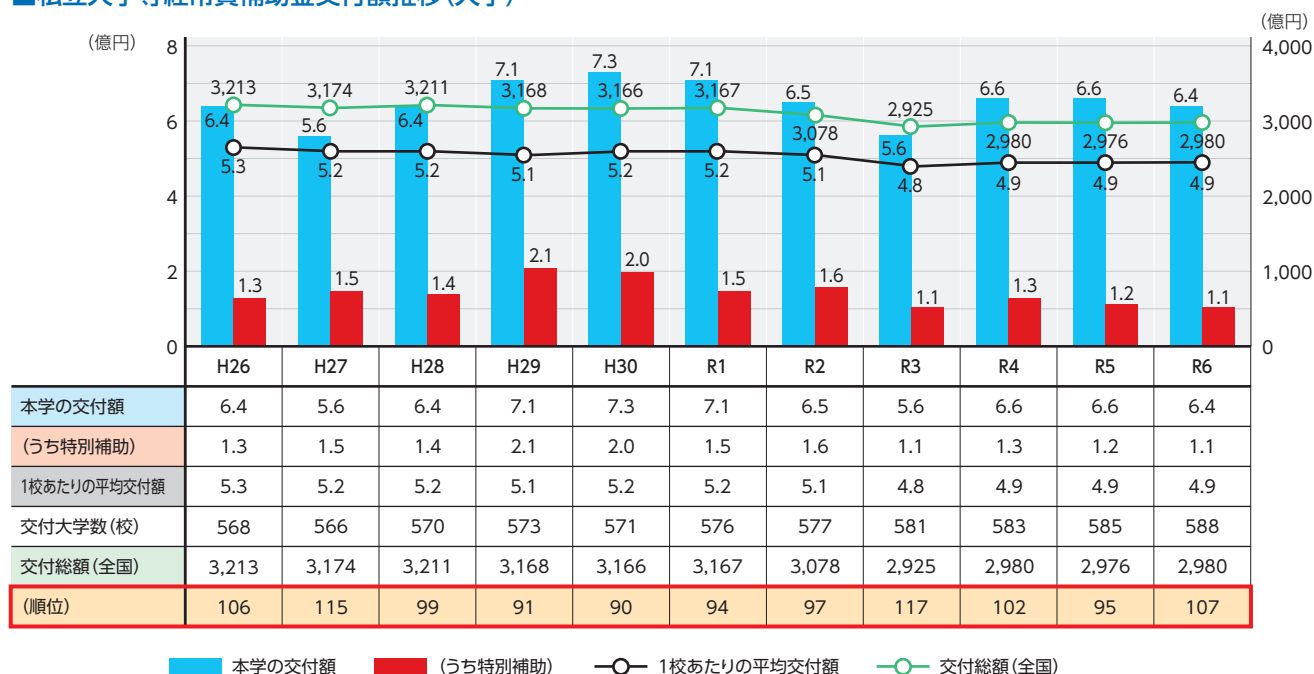
■基本金組入前収支差額推移



補助金は高水準維持(国等の助成事業との適合度合向上)

私学行政の求め(社会ニーズ)に沿って、教育・研究活動や学校運営の改善を積極的に推進し、経常費補助金は高水準を維持しています。

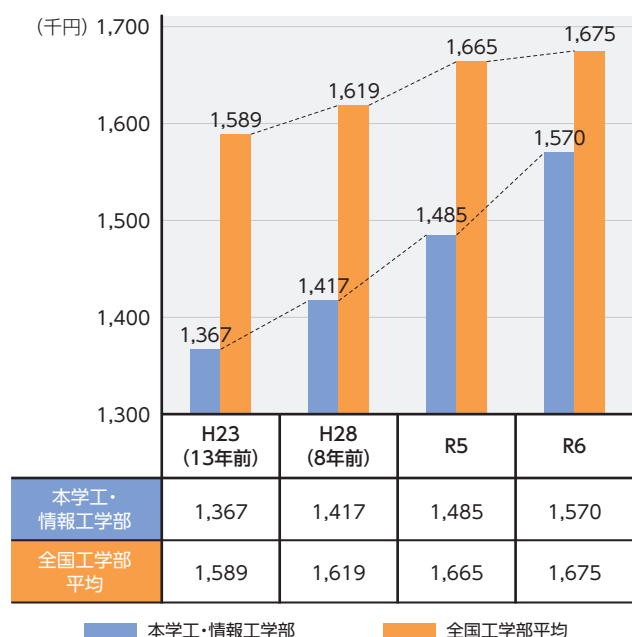
■私立大学等経常費補助金交付額推移(大学)



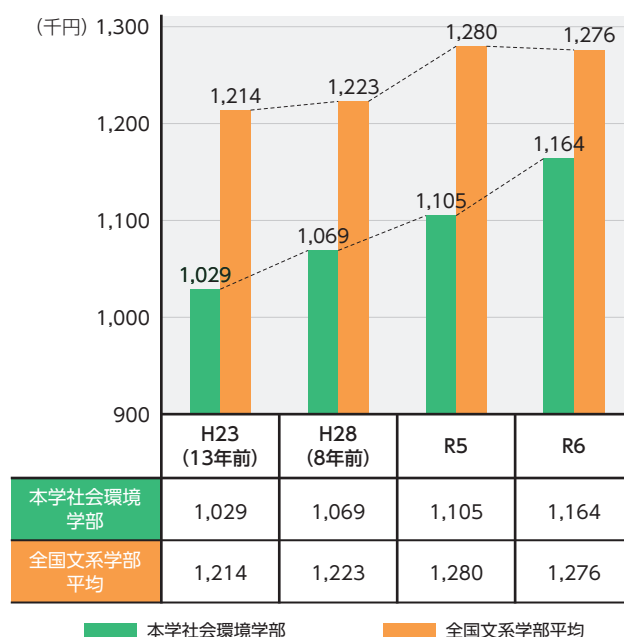
相対的低学費を維持(経営努力を継続)

相対的低学費を堅持しています。経済的困窮への柔軟な対応(独自奨学制度・分割納入対応)で、経済的理由での退学等は極めて低い水準です。

■大学・学部学費の相対比較(工学部・情報工学部)



■大学・学部学費の相対比較(社会環境学部)



10. 学校運営に対する外部評価

経営・財政の外部評価は高位・安定的。改革力に高評価

積極的・効率的な施設・設備投資や、事業計画と予算の連動性の高さ、予算管理精度の高さ等が格付会社2社から高く評価されています。

■格付会社2社からの評価(R&I:(株)格付投資情報センター、JCR:(株)日本格付研究所)

経営・財務の安定性で高い評価	
R&I格付 A+ 方向性:安定的 令和2年から6年連続[A+]	JCR格付 AA- 方向性:安定的 令和3年から5年連続「AA-」

◎格付評価のポイント(令和5年度決算をもとにした評価)

	格付評価のポイント	格付会社の課題認識
学校運営全般	- 市場環境が厳しさを増す中、総志願者数・実志願者数とも高位で安定 - 退学率が低位で推移。脱落兆候者を早期に発見する仕組みが機能 - 良好な人材輩出実績を維持。企業・学生双方のニーズを捉えた適切な啓蒙・支援活動を実施	工業大学として大規模な実験・研究環境の整備(中規模大学化への期待)
経営・ガバナンス	- 改革・合意形成スピードの速さに定評。副学長制度発足により推進力がさらに向上 - 業務計画と予算の結びつきが強力(財政上の裏付け確保の重要性を強く認識) - 有効な学内評価体制と第三者評価を前向きに捉え、改善に向かう姿勢が顕著	MP等長期ビジョンの具体化とその成果
財政全般	- 安定した財務基盤と実効性の高いPDCAサイクルをベースに産業リスクの影響を吸収 - 学校法人の特性を咀嚼し厳格な予算統制を持続する点は相当程度高く評価 - 長期に安定的な収支差額を確保しており、財務運営実績は格付評価を支える大きな要素	運用資産の余裕度(積立率)の向上

教育・就職支援や面倒見の良さがランキング等で高評価

就職支援体制の充実に加え、学生への面倒見の良さや人材育成力の高さ、キャンパスの清潔さ等が高く評価されています。これは、入学後の学生調査結果からも裏付けられています。

■日経キャリアマガジン特別編集「価値ある就職ランキング2025-2026」(日経HR)

就職支援体制が充実している 大学ランキング 全国1位	人材育成力ランキング 【総合】 九州私大1位 (全国43位)
---	--

■「大学探しランキングブック2025」(大学通信)

面倒見が良い大学 全国5位 (九州1位)	就職に力を入れている大学 全国7位 (九州私大1位)
-----------------------------------	---

■サンデー毎日(毎日新聞出版)(R6.9.15)

面倒見が良い大学 全国5位 (九州1位)	就職に力を入れている大学 全国7位 (九州私大1位)	小規模だが 評価できる大学 全国16位 (九州3位)
-----------------------------------	---	--

■大学独自アンケート(学生対象)

福工大に進学した理由	
1	就職実績が魅力的だったから
2	自分が成長できそうな気がしたから
3	施設・設備が充実していたから
※「学びたい学問があったから」を除く ※本学独自アンケートより算出	
入学して気づいた福工大のよさ	
1	キャンパスがキレイ
2	教職員のサポートが手厚い
3	大学の雰囲気明るい・楽しい
※本学独自アンケートより算出	

大学経営や内部統制は行政や私学団体等から高評価

本学PDCAによる経営管理の仕組みや財政運営、内部統制システムの先進性が、文部科学省はじめ、日本私立学校振興・共済事業団等の私学団体から高く評価され、先進事例として幾度も全国に紹介されています。

■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例 (文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団等、国の機関からの紹介事例)

「大学経営強化の事例集」 文部科学省委託研究において、本学の経営計画およびその実行計画の管理運営システムについて、数少ない好事例として紹介されました。 (平成19年3月)	「大学外組織評価研究会」 (独)大学改革支援・学位授与機構の研究で、本学の経営管理システム、特に様々な取り組みの評価活動について、他大学に重要な示唆を与えるとして評価されました。 (平成21年3月)	「大学評価・学位研究」 本学のPDCAの一環として行う事業評価・改善の手法が、非営利組織の経営論の権威であるピーター・F・ドラッカーの経営理論との対比によって評価されました。 (平成22年3月)	「大学・短大の経営事例集～経営基盤強化のために」 私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国に紹介されました。 (平成29年3月)
「私大振興検討会議「議論のまとめ」」 28年10月に、文部科学省「私立大学等の振興に関する検討会議」の席に学園の常務理事が招致され、経営改革事例を報告した議論のまとめが公表されました。 (平成29年5月)	「大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」 中期経営計画を軸とした経営管理システムと情報共有による教職協働での改革の実践が好事例として紹介されました。 (平成31年2月)	「月報私学」 私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国に紹介されました。 (令和5年2月)	「内部統制システムの実行上の諸課題」 本学のPDCAを軸とした経営管理システムが「より発展的目的を重視するシステム」の構築を目指す有為な事例であるとして、本学理事長がパネリスト登壇の機会をいただきました。 (令和6年9月)

学部・学科、事務局等の大学運営が学校経営団体等から高評価

「教育研究への積極的資金投下と健全財政の両立」が全国の教育関係者・大学行政研究者等の研究誌等で評価されています。

■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例(公益法人や大学行政研究機関等からの紹介事例)

「私大経営システムの分析」 (平成19年11月)	「学校法人」 (平成20年2月)	「私学経営」 (平成20年3月)	「私立高等学校のこれからを考える」 (平成20年3月)	「学校法人」 (平成20年7月)	「カレッジマネジメント」 (平成21年5月)
「カレッジマネジメント」 (平成23年1月)	「大学経営の評価システム」 (平成24年3月)	「中長期経営システムの確立・強化に向けて」 (平成25年2月)	「大学マネジメント改革」 (平成26年3月)	「私学経営」 (平成26年5月)	「学校法人」 (平成28年1月)
「私学経営」 (平成29年5月)	「日本私立大学協会の私学高等教育研究公開研究会」 (平成29年10月)	「学校法人」 (令和元年7月)	「私学経営」 (令和2年4月)	「大学時報」 (令和3年1月)	「私学経営」 (令和4年7月)

11. 諸活動の具体的な取組状況〈報告書・広報誌〉

大学案内2026

大学、短期大学部の学び、学部学科構成、諸活動の状況等を紹介しています。



2024年度 キャンパスメール

学園の取組や教職員・学生の諸活動の成果やトピックを紹介しています。
〈随時発行〉



教育開発推進機構 NEWS LETTER

教育開発推進機構で取り組む、教育の質保証、教育能力の開発、教育プログラムの開発等の諸活動をわかりやすく紹介しています。



教育開発推進機構 FD Annual Report

本学の日常の教育実践、授業方法の改善全般に関わる論文及び実践報告等を公開しています。



総合研究機構 研究紹介集 第8版

本学で取り組んでいる研究内容及び最新の研究成果や最先端技術をわかりやすく、見やすく発信しています。



総合研究機構 特許発明

研究活動で得られた成果ならびに技術情報を広く社会に公開しています。



FIT CREATE The Future〈研究BOOK〉

「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、社会課題の解決を目指す本学の様々な研究を紹介しています。



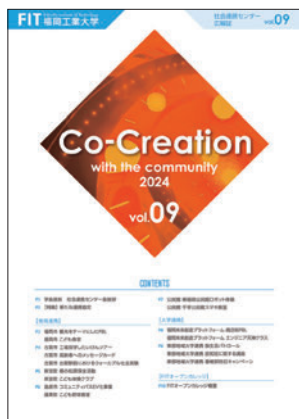
Research Highlights

Fukuoka Institute of Technology
Comprehensive Research Organization



社会連携センター Co-Creation Vol.09

社会連携室が中心となって
行う地域貢献活動・大学連
携活動を紹介しています。



附属図書館 図書館報

図書館の利用案内及び活動
状況やトピックを紹介してい
ます。



情報基盤センター Annual Report

情報基盤センター及び旧情
報処理センターのAnnual
Report(年間活動報告書)
を公開しています。



大学院ニュース

大学院での日常の学生生活や研究活動、大学院教員が研究
者となったエピソード等を紹介しています。



附属城東高校 2026 FUKUOKA JYOTO HIGH SCHOOL

附属城東高校の学び、正課・
課外活動の状況等を紹介し
ています。



学校法人福岡工業大学 長期ビジョン (VISION BOOK)

本学園の10年後のあるべ
き未来像を紹介していま
す。



令和6年度 事業報告書

学校法人の概要、事業・投資
活動、財務に関する情報及び
その他・財産目録・監事監査
報告書を公開しています。



令和7年度 事業計画書

情報公開の一環として、年
度の事業計画を公開してい
ます。



1. キャンパスの概要

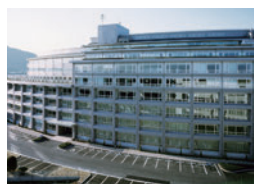
キャンパス全域の「教育・研究機能高度化」が大幅に進展

「学修者本位の教育拠点」の実現に向けて、AI型授業の拡充、教育DXの推進とICT教育の高度化、研究活動の充実、学生サービス機能の向上など、教育・研究環境の整備が着実に進展しました。

■学園全景



■主な校舎・施設等



A棟



B棟



C棟



D棟



E棟



F棟



α棟



FITホール



FITアリーナ



学園アプローチ



おとめが池



けやき並木



附属城東高校全景



附属城東高校1号館外観



附属城東高校体育館



FITセミナーハウス



FIT BBQ



坦心寮



コスモス寮

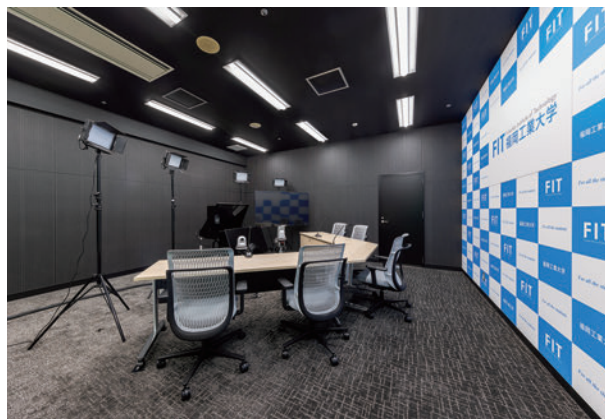


塩浜総合グラウンド

2. ラーニングサポート施設・設備



Cul Site (アクティブラーニング講義室)



FIT-DXスタジオ



PC室 (最新鋭のICT機器)



FIT Link (図書館) 調査・研究ブース (超静穏環境)



Global Student Lounge 国際連携室



社会連携センター



F棟インキュベーションスタジオ2 (EV実験)



モノづくりセンター

3. 研究施設・設備



電界放出走査電子顕微鏡 (FE-SEM)



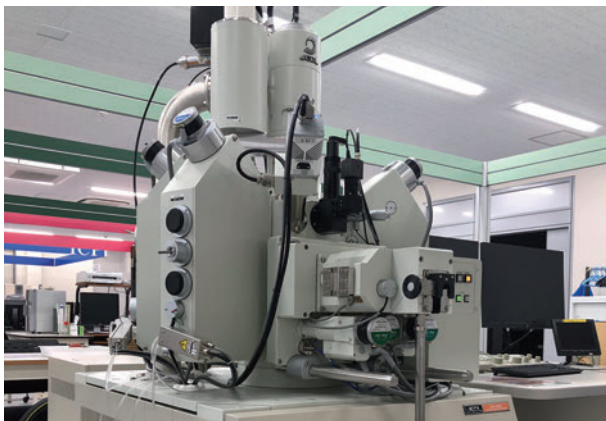
三次元光学プロファイラー



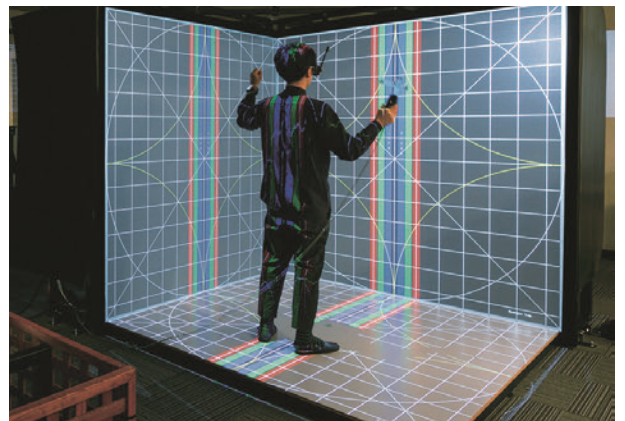
フーリエ変換赤外分光装置 (FT-IR)



顕微ラマン分光分析装置



電子線マイクロアナライザ (EPMA)



小型対面体立体視システム (CAVE)



電波暗室



ベクトルネットワークアナライザー

4. キャンパスライフサポート施設・設備



FITアリーナ



FITホール



FITスタジアム



附属城東高校人工芝グラウンド・体育館



FITアリーナWESTコート



相撲場



FIT BBQ (かまど8基、テーブル8台)



FITセミナーハウス(スカイデッキ)

〈学会表彰〉令和6年度卒業証書・学位記授与者

■大学院

Ampririt Phudit (工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻)

- ・BWCCA-2023 Best Paper Award
- ・EIDWT-2024 Best Paper Award

龍 東明 (工学研究科 博士後期課程 物質生産システム工学専攻)

- ・第20回日本炭化学会研究発表会2022年9月 優秀発表奨励賞

岩野 広幸 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、唐津西高校)

- ・JILCW-2024 Premio Iride
- ・ICIESS-2024 Best Student Poster Presentation Award

篠原 成 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、宮崎北高校)

- ・資源・素材学会 九州支部2023年度若手研究者および技術者の研究発表会 Presentation Award Kyushu, MMIJ
- ・ICIESS-2024 Best Student Poster Presentation Award

庄司 綾乃 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、益田高校)

- ・資源・素材学会 九州支部2023年度若手研究者および技術者の研究発表会 Presentation Award Kyushu, MMIJ
- ・第60回化学関連支部合同九州大会化学工学分野 優秀ポスター賞
- ・一般社団法人資源・素材学会九州支部2024年度総会・春季例会・若手研究者および技術者の研究発表会 Presentation Award Kyushu, MMIJ
- ・第61回化学関連支部合同九州大会 化学工学分野 優秀ポスター賞
- ・化学工学会第55回秋季大会 優秀学生賞

鶴嶋 真紅 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、人吉高校)

- ・2023年度物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学会界面科学部会九州地区講演会 優秀ポスター賞
- ・ICIESS-2024 Best Student Poster Presentation Award

野中 直也 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、須恵高校)

- ・JILCW-2024 Premio Iride
- ・日本化学会「低次元系光機能材料研究会」第13回サマーセミナー 優秀講演賞

藤田 仁 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、高稜高校)

- ・令和6年度日本生化学会九州支部例会 優秀ポスター賞銀賞

松尾 剛志 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、九州国際大学付属高校)

- ・ICIESS-2024 Best Student Poster Presentation Award

松岡 拓海 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、東福岡高校)

- ・化学工学会第54回秋季大会 優秀学生賞
- ・資源・素材学会 九州支部2024年度総会・春季例会・若手研究者および技術者の研究発表会 Presentation Award Kyushu, MMIJ

宮本 愛 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、八幡高校)

- ・EANA-2024 Conference, Travel Grant Award

安富 大祐 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、戸畑高校)

- ・2023年度 物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学会界面科学部会九州地区講演会 優秀ポスター賞

狩峯 颯太 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、香椎高校)

- ・ICAVNCE 2025 Best Presentation Award

高野 倫之 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、臼杵高校)

- ・計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

野中 悠仁 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、有田工業高校)

- ・第75回塑性加工連合講演会 優秀論文講演奨励賞

馬原 亜季 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、真和高校)

- ・2024年度日本エネルギー学会 奨励賞

水野 佑泰 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、明善高校)

- ・2023年度日本精密工学会秋季大会 企業冠賞(フォトエニカ賞)
- ・2024年度日本機械学会 三浦賞
- ・ICIESS-2024 Best Student Oral Presentation Award

山口 順也 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、鹿屋中央高校)

- ・日本機械学会九州支部第77期講演会 若手優秀講演フェロ一賞

鬼塚 晴大 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、九州国際大学付属高校)

- ・電気学会 優秀論文発表賞B賞

川島 和磨 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、久留米高校)

- ・第76回電気・情報関係学会九州支部連合大会 優秀ポスター賞

小林 柊斗 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、福岡工業大学附属城東高校)

- ・第76回電気・情報関係学会九州支部連合大会 優秀論文発表賞B賞

下浜 伊織 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、伝習館高校)

- ・ICEMS-2023 Best Paper Award

馬場 翔太郎 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、国分高校)

- ・第77回電気・情報関係学会九州支部連合大会 優秀ポスター賞

松田 亮太 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、福岡舞鶴高校)

- ・2023年電気設備学会学生研究発表会 準優秀賞

石灘 洸樹 (工学研究科 修士課程 情報工学専攻、日南高校)

- ・2023情報処理学会九州支部 第76回電気・情報関係学会九州支部連合大会 奨励賞
- ・2024情報処理学会 第23回情報科学技術フォーラムFIT奨励賞

尾方 勇介 (工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、玖珠美山高校)

- ・電子情報通信学会九州支部 学生会講演奨励賞

東 隼也 (工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、三池工業高校)

- ・BWCCA-2023, Best Paper Award
- ・EIDWT-2024, Best Paper Award

池田 昂 (工学研究科 修士課程 情報システム工学専攻、鞍手高校)

- ・International Surgical Week 2024, Grassi Prize Award

下江 博文 (工学研究科 修士課程 システムマネジメント専攻、新宮高校)

- ・IEICE九州支部 学術奨励賞

古賀 琴乃 (社会環境学研究科 修士課程 社会環境学専攻、筑紫丘高校)

- ・2023技術と社会・倫理(SITE)研究専門委員会 学術奨励賞
- ・2024技術と社会・倫理(SITE)研究専門委員会 学術奨励賞

■大学

大橋 秀幸(工学部 電子情報工学科、柏陵高校)

・電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

宮原 侑生(工学部 生命環境化学科、鵬翔高校)

・日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞優秀学生賞

白山 結那(工学部 生命環境化学科、筑紫丘高校)

・日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞優秀学生賞

花田 航輝(工学部 生命環境化学科、筑紫高校)

・資源・素材学会 Outstanding Student Award, Kyushu MMIJ

奥蘭 遥香(工学部 知能機械工学科、小倉西高校)

・日本機械学会 畠山賞

石井 裕貴(工学部 知能機械工学科、筑前高校)

・計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

中原 栄杜(工学部 電気工学科、柳川高校)

・電気学会 九州支部長賞

丸木 慧士(情報工学部 情報工学科、小倉工業高校)

・電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

福田 順正(情報工学部 情報通信工学科、北九州高校)

・電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

田中 初樹(情報工学部 情報システム工学科、宮崎第一高校)

・電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

黒田 理湖(情報工学部 システムマネジメント学科、三池高校)

・日本経営工学会 優秀学生賞

山北 彩未(情報工学部 システムマネジメント学科、東海大学付属福岡高校)

・電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

リ コウネン(情報工学部 システムマネジメント学科)

・ICIESS Best Student Oral Presentation Award

古賀 矢響(情報工学部 システムマネジメント学科、糸島高校)

・日本経営システム学会第73回全国研究発表大会 学生研究発表優秀賞

中島 美生(情報工学部 システムマネジメント学科、鹿児島実業高校)

・SOFT九州支部夏季ワークショップ2024 in 熊本 学生優秀ポスター発表賞

〈卒業時学業成績優秀者〉

■大学

岡本 優斗(工学部 電子情報工学科、唐津東高校)

白山 結那(工学部 生命環境化学科、筑紫丘高校)

奥蘭 遥香(工学部 知能機械工学科、小倉西高校)

田中 さくら(工学部 電気工学科、高川学園高校)

丸木 慧士(情報工学部 情報工学科、小倉工業高校)

池田 直樹(情報工学部 情報通信工学科、小倉西高校)

猫田 涼介(情報工学部 情報システム工学科、福翔高校)

力丸 真衣(情報工学部 システムマネジメント学科、福岡大学附属大濠高校)

宮崎 豪太(社会環境学部 社会環境学科、藤陰高校)

■短期大学部

今田 彩翔(情報メディア学科、折尾高校)

加藤 真実(情報メディア学科、博多青松高校)

〈学生表彰〉

■個人表彰(上期)

音羽 優舞(社会環境学部 社会環境学科 福岡工業大学附属城東高校)(女子柔道部)

第37回 九州学生女子柔道体重別選手権大会 78kg級 3位

■個人表彰(下期)

岩谷 光(修士課程 電子情報工学専攻、八女工業高校)

国際会議第10回 International Symposium on Surface Science (ISSS-10) Student Prize

■団体表彰(通期)

ラグビー部

第62回木元杯 九州セブンズ 準優勝

令和6年度九州学生ラグビーリーグ 優勝

軟式野球部

令和6年度九州学生軟式野球連盟春季大会 優勝

吹奏楽団

第47回全日本アンサンブルコンテスト大学の部 金賞

第40回福岡県吹奏楽コンクール 大学の部 金賞

第69回九州吹奏楽コンクール大学の部 金賞

第72回全日本吹奏楽コンクール大学の部 銀賞

第18回福岡アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞

i-STEM 教材開発グループ

中村 綾(情報工学部 情報システム工学科、古賀竟成館高校)

淵上 麻美(情報工学部 情報システム工学科、八女高校)

前原 彩乃(情報工学部 情報システム工学科、大牟田高校)

日本産業技術教育学会発明・工夫作品コンテスト

教材開発部門 特別賞

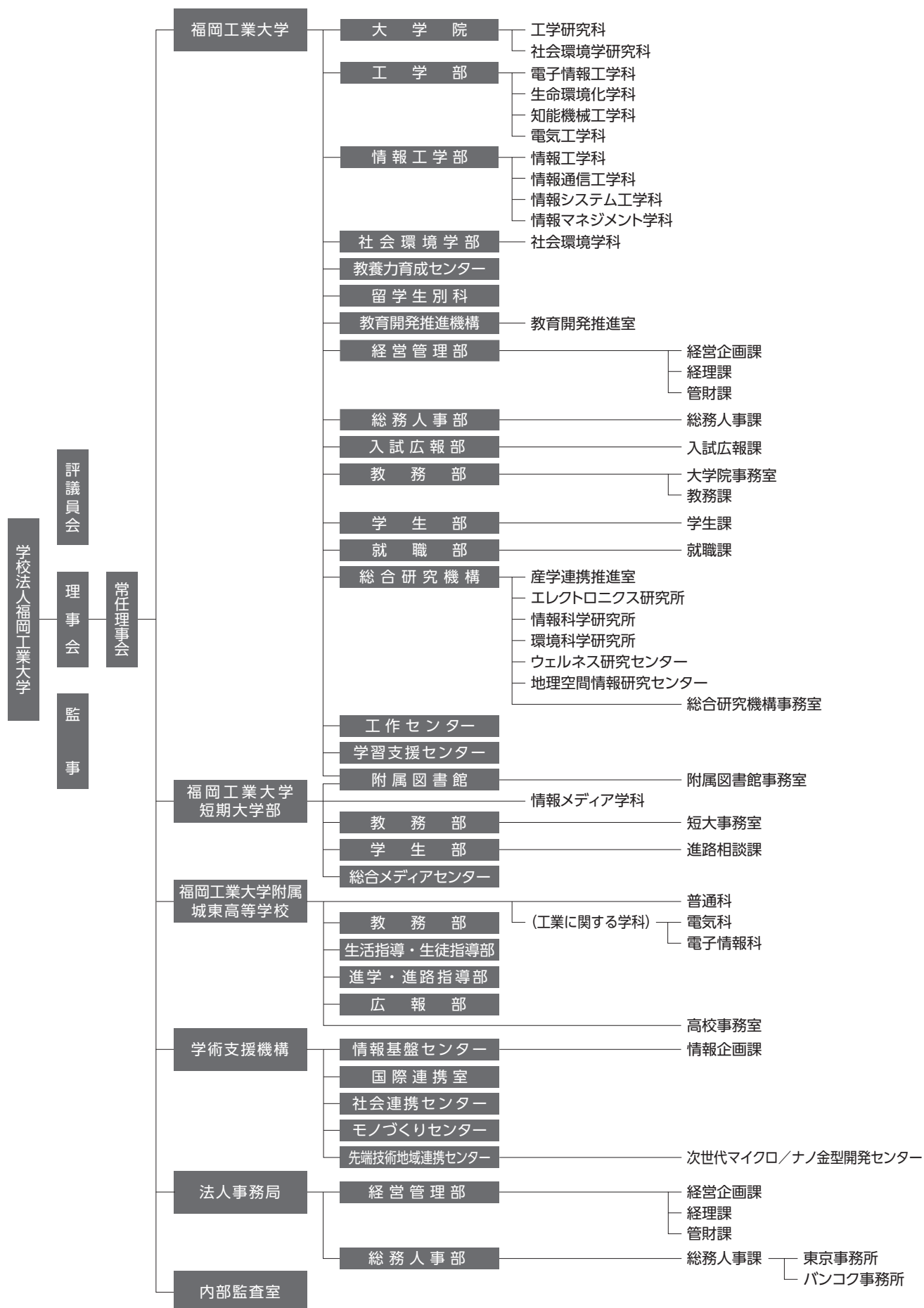
FITモノづくりセンター(合同チーム)

九州ロボットコンテスト2024 モノづくりフェア杯 優勝

モノづくりセンター 二足歩行ロボットプロジェクト

第42回ヒューマノイドカップ ロボットバトル大会 優勝

組織図 令和7年4月1日現在



■役員一覧

①理事[定数9～13、実数10(1号2名、2号1名、3号7名)]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
理事(理事長)	3号	大谷 忠彦	○	理事長
理事(常務理事)	3号	川口 敏弘	○	常務理事
理 事	1号	村山 理一	○	福岡工業大学・同短期大学部学長
理 事	1号	佐伯 道彦	○	附属城東高等学校長
理 事	3号	三澤 礼一郎	○	法人事務局長
理 事	3号	長谷川 純一	○	理事
理 事	2号	小幡 修	—	(株)福岡銀行 行友
理 事	3号	川原 正孝	—	(株)ふくや 代表取締役会長
理 事	3号	森 紀久雄	—	元 (株)ユーコー 相談役兼監査役
理 事	3号	谷地 明弘	—	学千葉敬愛学園 常務理事

②監事[定数2～3、実数2]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
監 事	—	松本 友行	—	元 福岡市総合図書館 館長
監 事	—	森川 康朗	—	(株)福岡銀行 顧問

③評議員[定数19～27、実数21(1号4名、2号3名、3号3名、4号11名)]

役職等名	区分※	氏名	現職・前職名
評議員	1号	村山 理一	福岡工業大学・同短期大学部学長
評議員	1号	佐伯 道彦	附属城東高等学校長
評議員	1号	倪 宝栄	福岡工業大学 副学長 教授
評議員	1号	前田 洋	福岡工業大学 副学長 教授
評議員	2号	田中 秀司	福岡工業大学 名誉教授
評議員	2号	本行 義洋	福岡工業大学学生部兼就職部事務部長
評議員	2号	岡本 公明	(有)ネオグリーン 代表取締役
評議員	3号	伊藤 昭彦	(株)福岡放送
評議員	3号	伊東 鐘賛	創生会グループ 代表
評議員	3号	福永 智久	社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会二日市病院
評議員(理事長)	4号	大谷 忠彦	理事長
評議員(常務理事)	4号	川口 敏弘	常務理事
評議員	4号	三澤 礼一郎	法人事務局長
評議員	4号	小幡 修	(株)福岡銀行 行友
評議員	4号	川原 正孝	(株)ふくや 代表取締役会長
評議員	4号	森 紀久雄	元 (株)ユーコー 相談役兼監査役
評議員	4号	谷地 明弘	(学)千葉敬愛学園 常務理事
評議員	4号	阿山 光利	学校法人河野学園 監事
評議員	4号	池田 悦雄	福岡工業大学 東京事務所長
評議員	4号	池田 勝	(株)西日本シティ銀行 取締役専務執行役員
評議員	4号	山下 剛	元 福岡工業大学 常務理事

※1号理事：学長・校長、同2号：評議員、同3号：学識経験者
1号評議員：学長・校長、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

■大学 役職者一覧(学長・副学長・部科長等)

役職名	氏名
学長	村山 理一
副学長	倪 宝栄
副学長	前田 洋
工学研究科長	宋 宇
社会環境学研究科長	鄭 雨宗
工学部長	松尾 敬二
情報工学部長	藤岡 寛之
社会環境学部長	尹 諒重
教養力育成センター長	徳永 光展
電子情報工学科長	松井 義弘
生命環境化学科長	赤木 紀之
知能機械工学科長	田邊 里枝
電気工学科長	田島 大輔
情報工学科長	柏 浩司
情報通信工学科長	松尾 慶太
情報システム工学科長	木室 義彦
情報マネジメント学科長	井口 修一
社会環境学科長	松藤 賢二郎
教務部長	山澤 一誠
学生部長	渡邊 智明
就職部長	渡邊 智明
入試広報部長	近木 祐一郎
附属図書館長	土屋 麻衣子
教育開発推進機構長	前田 洋 (兼任)
総合研究機構長	倪 宝栄 (兼任)
エレクトロニクス研究所長	井上 昌睦
情報科学研究所長	石原 真紀夫
環境科学研究所長	乾 隆帝
産学連携推進室長	倪 宝栄
学術支援機構長	倪 宝栄
情報基盤センター長	松木 裕二
社会連携センター長	松木 裕二
モノづくりセンター長	桑原 順子

■短期大学部 役職者一覧(学長・部長)

役職名	氏名
学長	村山 理一
教務部長	弘中 大介
学科長・学生部長	吉原 克枝

■附属城東高校 役職者一覧(校長・副校長・教頭)

役職名	氏名
校長	佐伯 道彦
副校長	迫田 勝之
教頭	松尾 智晴
教頭	村上 文司
教頭	野本 博文

設置学部・学科／教養力育成センター／専攻概要

設置校	学部・研究科名	学科名	設置コース／学習領域〔教養力育成センター〕	教育研究上の目的／カリキュラム編成の基本方針〔教養力育成センター〕
大学	工学部	電子情報工学科		現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
		生命環境化学学科	生命環境化学コース 食品コース	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物学的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。
		知能機械工学科		情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
		電気工学科		日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
	情報工学部	情報工学科		コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システム LSI などの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
		情報通信工学科		今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
		情報システム工学科		今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。
		情報マネジメント学科		ITスキルやデータサイエンスに関する知識と技術及び経営工学に関する知識の修得とともに、情報の活用による組織の価値を高めるためのマネジメント手法を修得させる教育を行い、情報処理と情報分析に関する理論や手法を組織活動の場面に適用することができる行動力をもって、組織の知力の向上や組織の価値の創造に貢献できる人材の養成を目的とする。
	社会環境学	社会環境学科	経営コース 地域コース	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
	教養力育成センター (全学部共通)		①基礎科目(文化・社会・自然・情報)、②キャリア科目、③外国語科目、④ウェルネス科目、⑤教職科目	学びの基盤となる幅広い知識・理解、社会で共有される価値観や多面的な視点である基盤知識を養うとともに、他者と協働しながら主体的に問題解決に立ち向かうことができる基盤能力を育成するための教育を展開する。
大学院	工学研究科	物質生産システム工学専攻 (博士後期課程)		物質生産システム工学専攻は、電子物性工学、機能材料応用工学、エネルギーシステム工学及び設計生産システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		知能情報システム工学専攻 (博士後期課程)		知能情報システム工学専攻は、知能情報工学、情報伝送工学、知的メディア工学及び情報制御システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		電子情報工学専攻		現代社会は、コンピュータを先頭とした電子情報技術が著しく発達し、広く普及している社会である。本専攻では、広い視野に立って、電子情報工学の理論及び応用を教授、研究し、高度な専門的知識を背景に、独創的な研究開発能力を身につけた技術者を養成することを目的とする。
		生命環境化学専攻		本学の建学の綱領に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、科学技術や社会の進歩向上に寄与する人材を育成することを目的とする。具体的に本専攻では、広い視野に立って精深な学識を授け、物質工学及び生物工学を中心とした専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。
		知能機械工学専攻		機械工学は、ナノ・マイクロテクノロジーから巨大システムまで基盤となる技術を開拓していく学問分野です。機械工学はそれ自身の高度化、先進化及び微細化とともに電子情報技術の飛躍的な発達により機械の知能化が進んでいます。本専攻では機械工学の基礎分野の知識を十分修得した上で、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		電気工学専攻		本専攻は電気系工学・技術の分野において活躍できる、高度の問題解決能力と研究開発能力を備えた技術者を育成することを教育の目的とする。このため工学部電気系学科修了程度の基礎知識を有する学生を対象に、進歩を続ける技術に長期的に対応して行けるよう電気関連主要分野の深い基礎理論を講究するとともに、並行してこの分野の先端的専門テーマについての研究に取り組み創造的対応能力を培う。
		情報工学専攻		人工知能や集積回路、マルチメディアや画像処理、データベースやソフトウェア開発などの情報工学分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報通信工学専攻		携帯電話や無線 LAN、光ファイバ伝送などの情報伝送技術やインターネットなどの情報ネットワークの分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報システム工学専攻		情報システム工学専攻は、少子高齢化社会で求められる様々な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、情報社会の発展に役立つ研究課題を自ら探求して解決する能力を備えた人材の育成を目的とする。
		システムマネジメント専攻		システムマネジメント専攻は、経営、生産、情報メディアシステムに対して調査・分析・設計・評価に必要な工学的な諸手法について教授し、これらのシステムから得られる情報を有効に利用してシステムを構築・解析・最適化する能力を備えた人材の育成を目的に、教育研究を行う。
	社会環境学	社会環境学専攻		環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを研究する能力を醸成した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培うことを目的とする。
短期大学部		情報メディア学科		情報メディア学科は、情報教育を中心とした教育プログラムにより、高度に IT 化された社会における即戦力となる情報活用能力を身に付けた人材の育成に加え、社会の構成員として力強く生きていくためのリテラシーを身に付けた人材を養成することを目的とする。

* 令和7年5月1日現在

資格について □／全学的に支援・支援講座を行っている資格(社会連携センター主催)
 ■／各学科で支援・支援講座を行っている資格
 ☆／国家資格
 ※学外の専門学校への通学支援

教員構成(人)*	取得可能学位	取得可能な教員免許	取得支援を実施している資格*
教授 9 准教授 3 助教 1	学士 (工学)	高等学校教諭一種免許状(工業)	■/□/☆基本情報技術者 ■/☆第一級陸上特殊無線技士 ■/☆第一級陸上無線技術士 ■MOS(Microsoft Office Specialist) □/☆ITパスポート □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 8 准教授 6		高等学校教諭一種免許状(工業、理科) 中学校教諭一種免許状(理科)	■/☆食品衛生管理者 ■/☆食品衛生監視員 ■/☆毒物劇物取扱責任者 ■/☆公害防止管理者 ■/☆危険物取扱者 ■/☆環境計量士 ■環境測定分析士 ■NR・サブリメントアドバイザー □/☆ITパスポート □/☆基本情報技術者 □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 7 准教授 6 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	■/☆機械保全技能士 ■CAD利用技術者 ■/☆機械加工技能士(普通旋盤作業) ■機械設計技術者 □/☆ITパスポート □/☆基本情報技術者 □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 8 准教授 2 助教 4		高等学校教諭一種免許状(工業)	■/☆電気主任技術者 ■/☆電気工事士 □/☆ITパスポート □/☆基本情報技術者 □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 9 准教授 1 講師 1 助教 1	学士 (情報工学)	高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	■/□/☆ITパスポート ■/□/☆基本情報技術者 ■Linux(Linux Professional Institute Certification) ■CCNA(Routing and Switching) □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 12 助教 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	■/☆無線従事者 ■/☆電気通信主任技術者 ■/☆工事担当者(ネットワーク接続技術者) ■/□/☆基本情報技術者 ■Linux(Linux Professional Institute Certification) ■CCNA(Routing and Switching) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 5 准教授 4 講師 2 助教 1		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	■/□/☆基本情報技術者 ■/□/☆ITパスポート ■Linux(Linux Professional Institute Certification) ■CCNA(Routing and Switching) ■MOS(Microsoft Office Specialist) □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 7 准教授 5 助教 2		高等学校教諭一種免許状(情報)	■/□/☆基本情報技術者 ■/□/☆ITパスポート ■Linux(Linux Professional Institute Certification) ■CCNA(Routing and Switching) □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・3級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 8 准教授 6 助教 1	学士 (社会環境学)	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	■MOS(Microsoft Office Specialist) ■GIS学術士 ■日商簿記検定 □/☆基本情報技術者 □/☆ITパスポート □TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・4級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)
教授 10 准教授 2 助教 2	博士 (工学)		
教授 16 准教授 1			
教授 18 准教授 2	修士 (工学)		
教授 9 准教授 3		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 6		高等学校教諭専修免許状(理科) 中学校教諭専修免許状(理科)	
教授 7 准教授 4 助教 3		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 7 准教授 1 助教 4		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 7		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 11 助教 2		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 5 准教授 4 講師 2 助教 1		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 7 准教授 5 助教 2		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 10 准教授 6 助教 1	修士 (社会環境学)		
教授 6 准教授 6 助教 2	短期大学士 (情報工学)		■/□/☆基本情報技術者 ■/□/☆ITパスポート ■ドットCOMマスタ ■CG-ARTS検定 ■MOS(Microsoft Office Specialist) ■/□TOEIC L&R □リテラルマーケティング(販売士)検定2級・4級 ※Webクリエイター能力認定試験(エキスパート) ※Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)

はじめに

学園の主要な取組成果

フASHリテイの概要

パソコンデータ集

教職員数 令和7年5月1日現在

■教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
学部・学科名	合 計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教授	80	6	86	31	3	34	34	0	34	8	0	8	7	3	10	4	1	5
准教授	39	6	45	16	1	17	18	2	20	4	2	6	1	1	2	5	1	6
講師	3	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助教	11	4	15	7	1	8	4	0	4	0	1	1	0	2	2	3	0	3
合 計	133	16	149	54	5	59	59	2	61	12	3	15	8	6	14	12	2	14
(うち外国籍教員)	12	4	16	5	0	5	4	2	6	3	1	4	0	1	1	0	0	0

■年齢区分別 教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
学部・学科名	合 計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
29歳以下	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
30歳～39歳	13	4	17	7	1	8	3	2	5	2	1	3	1	0	1	3	0	3
40歳～49歳	44	8	52	14	3	17	24	0	24	5	1	6	1	4	5	3	0	3
50歳～59歳	48	3	51	19	1	20	21	0	21	5	0	5	3	2	5	3	2	5
60歳～69歳	28	0	28	14	0	14	11	0	11	0	0	0	3	0	3	3	0	3
70歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	133	16	149	54	5	59	59	2	61	12	3	15	8	6	14	12	2	14

■専任教員・非常勤教員比率

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
学部・学科名	合 計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任教員	133	16	149	54	5	59	59	2	61	12	3	15	8	6	14	12	2	14
(比率・%)	58.6%	35.6%	54.8%	54.0%	41.7%	52.7%	66.3%	11.1%	57.0%	57.1%	50.0%	55.6%	47.1%	66.7%	53.8%	48.0%	33.3%	45.2%
非常勤教員	94	29	123	46	7	53	30	16	46	9	3	12	9	3	12	13	4	17
(比率・%)	41.4%	64.4%	45.2%	46.0%	58.3%	47.3%	33.7%	88.9%	43.0%	42.9%	50.0%	44.4%	52.9%	33.3%	46.2%	52.0%	66.7%	54.8%
合 計	227	45	272	100	12	112	89	18	107	21	6	27	17	9	26	25	6	31

■城東高校教員数

学校名	福岡工業大学附属城東高校		
男女別	男	女	計
校長	1	0	1
副校長	1	0	1
教諭	42	16	58
専任講師・常勤講師	38	20	58
合 計	82	36	118

■職員数

学校名	福岡工業大学			福岡工業大学短期大学部			福岡工業大学附属城東高校		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任職員	59	16	75	2	1	3	4	1	5
特定・嘱託・契約職員	5	51	56	0	3	3	1	9	10
派遣職員	4	18	22	0	1	1	0	2	2
合 計	68	85	153	2	5	7	5	12	17

卒業・修了生累計、同窓会会員数

■卒業・修了生累計

59,994名 (令和7年3月31日現在)

学 部 45,495名
大学院 1,856名
修 士 1,783名
課程博士 69名
論文博士 4名

短期大学部 12,643名

■地域別同窓会会員数 (令和7年2月28日現在)

地域名	会員数	地域名	会員数
北海道・東北	34	中国	2,931
関東	918	四国	1,104
東海	296	福岡県	16,069
関西・北陸	722	九州・沖縄(福岡県を除く)	8,197
		合 計	30,271

令和6年度学位授与数

■学士・短期大学士授与数

学部等名	授与数
工学部	404
情報工学部	388
社会環境学部	169
短期大学部	142

■博士・修士授与数

研究科名	修士授与数	博士授与数
工学研究科	94	3
社会環境学研究科	2	-

■文部科学省認定「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定者数

	応用基礎レベル	リテラシーレベル
短期大学部	23	118

■大学、短期大学部在籍学生数

学部	学科	令和6年度									7年度		
		定員	現員	定員充足率	留年者数※	留年率	休学者	休学率	退学・除籍者数	中退率	定員	現員	定員充足率
工学部	電子情報工学科	360	408	1.13	51	12.5%	28	6.9%	14	3.4%	360	404	1.12
	生命環境化学科	360	417	1.16	26	6.2%	16	3.8%	8	1.9%	360	418	1.16
	知能機械工学科	440	510	1.16	43	8.4%	22	4.3%	13	2.5%	440	514	1.17
	電気工学科	360	433	1.20	65	15.0%	21	4.8%	16	3.7%	360	419	1.16
	合 計	1,520	1,768	1.16	185	10.5%	87	4.9%	51	2.9%	1,520	1,755	1.15
情報工学部	情報工学科	520	592	1.14	22	3.7%	14	2.4%	7	1.2%	520	624	1.20
	情報通信工学科	360	423	1.18	26	6.1%	16	3.8%	12	2.8%	360	411	1.14
	情報システム工学科	360	410	1.14	22	5.4%	12	2.9%	10	2.4%	360	424	1.18
	システムマネジメント学科	195	234	1.20	20	5.9%	11	4.7%	13	5.6%	130	161	1.24
	情報マネジメント学科	90	103	1.14							180	201	1.12
	合 計	1,525	1,762	1.16	90	5.1%	53	3.0%	42	2.4%	1,550	1,821	1.17
社会環境学部	社会環境学科	700	722	1.03	46	6.4%	19	2.6%	14	1.9%	700	758	1.08
福岡工業大学合計		3,745	4,252	1.14	321	7.5%	159	3.7%	107	2.5%	3,770	4,334	1.15
大学院	工学研究科(修士)	128	179	1.40	3	1.7%	3	1.7%	7	3.9%	128	178	1.39
	工学研究科(博士)	12	14	1.17	3	21.4%	1	7.1%	2	14.3%	12	16	1.33
	社会環境学研究科	12	6	0.50	1	16.7%	1	16.7%	0	0.0%	12	12	1.00
	合 計	152	199	1.31	7	3.5%	5	2.5%	9	4.5%	152	206	1.36
福岡工業大学・大学院合計		3,897	4,451	1.14	328	7.4%	164	3.7%	116	2.6%	3,922	4,540	1.16
福岡工業大学短期大学部	情報メディア学科	320	329	1.03	35	10.6%	14	4.3%	18	5.5%	320	273	0.85

※卒業単位不足者+進級単位不足者の合計

■高等学校在籍生徒数

課程	令和6年度			7年度		
	定員	現員	定員充足率	定員	現員	定員充足率
普通科	1,050	1,467	1.40	1,050	1,432	1.36
電気科	300	123	0.41	300	133	0.44
電子情報科	300	373	1.24	300	370	1.23
福岡工業大学附属 城東高等学校合計	1,650	1,963	1.19	1,650	1,935	1.17

■学校別在籍学生・生徒数(経年比較)

学校名	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
大学	4,238	4,299	4,293	4,220	4,222	4,225	4,165	4,154	4,252	4,334
大学院	130	137	139	151	162	163	174	192	199	206
短期大学部	389	398	389	393	373	355	381	358	329	273
高校	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942	1,966	1,963	1,935
合 計	6,816	6,948	6,903	6,742	6,749	6,689	6,662	6,670	6,743	6,748

■収容定員充足率(経年比較)

学校名	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
大学	1.19	1.18	1.15	1.13	1.13	1.14	1.12	1.12	1.14	1.15
大学院	0.89	0.86	0.91	0.99	1.07	1.07	1.14	1.26	1.31	1.36
短期大学部	1.22	1.24	1.22	1.23	1.17	1.11	1.19	1.12	1.03	0.85
高校	1.25	1.28	1.26	1.20	1.21	1.18	1.18	1.19	1.19	1.17
合 計	1.20	1.21	1.18	1.15	1.16	1.14	1.14	1.14	1.15	1.15

■国別留学生数

	令和6年度											7年度										
	中国	台湾	タイ	韓国	トンガ	ネパール	ミャンマー	ベトナム	イタリア	ロシア	合計	中国	台湾	タイ	韓国	トンガ	ネパール	ミャンマー	ベトナム	イタリア	ロシア	合計
大学	7	0	0	1	2	0	0	0	0	0	10	11	0	0	3	1	0	1	0	0	0	16
短期大学部	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	6
大学院	26	1	4	0	0	0	0	0	0	0	31	23	1	7	1	0	0	0	0	1	0	33
研究生	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生	0	6	0	4	0	0	0	0	0	0	10	12	3	0	4	0	0	0	0	0	0	19
留学生別科	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
合 計	34	8	9	5	2	3	0	0	0	0	61	46	4	9	8	1	4	2	1	1	1	77

令和7年度入試状況

■大学

学部	学科	定員	総合型選抜						学校推薦型※1 (指定校・附属校・併願制)			一般(3教科 型)※2			一般(共通テ スト利用)※3			留学生			合計		
			10月実施			3月実施			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者															
工学部	電子情報工学科	90	5	5	5	0	0	0	57	52	43	205	117	29	871	520	19	4	4	4	1,142	698	100
	生命環境化学科	90	9	9	9	4	0	0	39	38	31	275	144	37	610	352	24	3	2	1	940	545	102
	知能機械工学科	110	3	3	3	0	0	0	58	56	43	245	149	33	685	594	50	1	1	0	992	803	129
	電気工学科	90	4	4	4	0	0	0	58	58	43	213	131	27	655	501	35	4	4	2	934	698	111
	学部合計	380	21	21	21	4	0	0	212	204	160	938	541	126	2,821	1,967	128	12	11	7	4,008	2,744	442
情報工学部	情報工学科	130	24	13	13	3	0	0	113	73	65	328	170	35	1,058	469	45	3	0	0	1,529	725	158
	情報通信工学科	90	12	12	12	0	0	0	59	54	48	123	80	24	824	538	26	0	0	0	1,018	684	110
	情報システム工学科	90	7	7	7	0	0	0	61	54	47	194	100	23	928	602	33	0	0	0	1,190	763	110
	情報マネジメント学科	90	13	8	8	3	2	2	53	46	40	87	38	11	652	475	38	0	0	0	808	569	99
	学部合計	400	56	40	40	6	2	2	286	227	200	732	388	93	3,462	2,084	142	3	0	0	4,545	2,741	477
社会環境学部	社会環境学科	160	57	53	53	8	6	6	107	99	82	272	146	37	491	372	31	2	1	0	937	677	209
合 計		940	134	114	114	18	8	8	605	530	442	1,942	1,075	256	6,774	4,423	301	17	12	7	9,490	6,162	1,128

※1 専願制、併願制の合計 ※2 追加合格分を含む。社会環境学部は共通テスト併用選抜を含む ※3 前期、中期、後期及びそれらの追加合格分の合計

■大学(編入学)

学部	学科	定員※	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	-	0	0	0
	生命環境化学科	-	0	0	0
	知能機械工学科	-	1	1	1
	電気工学科	-	1	1	0
	学部合計	-	2	2	1
情報工学部	情報工学科	-	19	9	8
	情報通信工学科	-	5	2	2
	情報システム工学科	-	7	2	1
	システムマネジメント学科	-	2	1	1
	学部合計	-	33	14	12
社会環境学部	社会環境学科	30	18	14	10
合 計		-	53	30	23

※工学部、情報工学部の定員は「若干名」

■大学院

研究科	専攻	定員	一般※1			協定校※2			外国人※3			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学研究科	電子情報工学専攻	8	12	12	10	1	1	1	1	0	0	14	13	11
	生命環境化学専攻	8	10	10	10	1	1	0	1	1	1	12	12	11
	知能機械工学専攻	8	19	19	18	1	1	1	0	0	0	20	20	19
	電気工学専攻	8	15	14	14	0	0	0	0	0	0	15	14	14
	情報工学専攻	10	17	16	16	3	2	2	2	2	2	22	20	20
	情報通信工学専攻	8	6	6	6	1	1	1	0	0	0	7	7	7
	情報システム工学専攻	8	7	7	7	0	0	0	0	0	0	7	7	7
	システムマネジメント専攻	6	9	9	9	2	2	2	0	0	0	11	11	11
	工学研究科合計	64	95	93	90	9	8	7	4	3	3	108	104	100
社会環境学研究科	社会環境学専攻	6	6	6	6	1	1	1	2	1	1	9	8	8
修士課程合計		70	101	99	96	10	9	8	6	4	4	117	112	108
工学研究科 (博士後期課程)	物質生産システム工学専攻	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	知能情報システム工学専攻	2	2	2	2	0	0	0	1	1	1	3	3	3
博士後期課程合計		4	3	3	3	0	0	0	1	1	1	4	4	4

※1 秋期入試、推薦入試、一次・二次入試の合計 ※2 キングモンクット工科大学(タイ)、泰日工業大学(タイ)、青島科技大学(中国)等 ※3 一次・二次入試の合計

■短期大学部

学科	定員	学校推薦型※1			自己推薦			一般※2			一般(共通テスト利用)※3			留学生			合計		
		志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
情報メディア学科	160	47	47	45	24	23	23	61	53	35	51	51	3	4	3	3	187	177	109
合 計	160	47	47	45	24	23	23	61	53	35	51	51	3	4	3	3	187	177	109

※1 専願制、公募制推薦制選抜の合計 ※2 一期、二期選抜の合計 ※3 前期・中期・後期選抜の合計

令和7年度県別・学部・男女別入学者一覧表 令和7年5月1日現在

地区	学部(学科)名	大学合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			短期大学部(情報メディア学科)		
	都道府県名	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
北海道・東北	北海道	3	1	4	0	1	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1
	青 森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩 手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮 城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋 田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山 形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福 島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北関東・南関東	茨 城	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	栃 木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	群 馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼 玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	千 葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東 京	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸・甲信越	新 潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富 山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石 川	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	福 井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山 梨	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	長 野	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	岐 阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	静 岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛 知	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	三 重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	滋 賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	京 都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大 阪	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	兵 庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	奈 良	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	和歌山	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
中国	鳥 取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	島 根	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	岡 山	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	広 島	3	0	3	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	山 口	20	2	22	10	2	12	4	0	4	6	0	6	1	0	1
四国	徳 島	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	香 川	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	愛 媛	4	0	4	1	0	1	1	0	1	2	0	2	0	0	0
	高 知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福 岡	637	143	780	254	54	308	284	54	338	99	35	134	61	17	78
	佐 賀	54	11	65	23	4	27	20	5	25	11	2	13	2	1	3
	長 崎	56	4	60	25	1	26	22	2	24	9	1	10	3	1	4
	熊 本	22	10	32	5	2	7	13	6	19	4	2	6	0	2	2
	大 分	32	6	38	11	1	12	12	2	14	9	3	12	2	1	3
	宮 崎	36	5	41	13	3	16	15	1	16	8	1	9	1	2	3
	鹿児島	42	6	48	19	0	19	16	4	20	7	2	9	3	1	4
	沖 縄	6	3	9	3	0	3	3	2	5	0	1	1	2	1	3
	その他 (外国卒・検定等)	7	1	8	7	1	8	0	0	0	0	0	0	1	2	3
合 計		933	195	1,128	373	69	442	398	79	477	162	47	209	80	29	109

はじめに

学園の主要な取組成果

フASHリテイの概要

バツンデータ集

広報活動

令和6年度パブリシティ掲載状況(教育・研究活動、就活・キャリア支援、学生支援、地域貢献活動)

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
令和6年 4月1日	経営	福岡でも動きが活発化／半導体・技術人材 福工大×明新の取り組み紹介	ふくおか経済
4月1日	経営	AI教材「atama+」(アタマプラス)を利用した新しいチャレンジメソッド開始	西日本新聞WEB・とれまがニュース・東洋経済オンライン・財経新聞・SEOTOOLS・Infoseek ニュース・日経COMPASS・STRAIGHT PRESS・ニコニコニュース・GREEニュース・東洋経済education×ICT・西日本新聞DX.WITH・読売新聞オンライン・BIGLOBEニュース・ジョルダンニュース・エキサイトニュース・ウレぴあ総研・DIME(小学館アットタイム)・マビオンニュース・niftyビジネス・時事ドットコム・ORICON NEWS
4月4日	研究	静岡・川勝知事辞職について 社会環境学科木下先生コメント	愛媛新聞・信濃毎日新聞
4月20日	スポ・芸	日経大・福工大 実力派の4吹奏楽団共演	西日本新聞
4月20日	経営	台湾の大学、支援呼びかけ―地震で火災(福工大の支援金紹介)	共同通信news
4月21日	経営	台湾の大学、支援呼びかけ―地震で火災(福工大の支援金紹介)	熊本日日新聞朝刊
4月21日	経営	地震で火災、台湾の大学が支援呼びかけ(福工大の支援金紹介)	四国新聞・岩手日報
4月22日	研究	システム障害に対する企業のリスクマネジメントについて・情マネ、木村先生コメント	FBS福岡放送「めんたいワイド」
4月22日	経営	来たるTSMC、台湾に学ぶ半導体教育 九州の大学―シリコンアイランド 育て人材(上)	日経電子版
4月23日	経営	来たるTSMC、台湾に学ぶ半導体教育 九州の大学―シリコンアイランド 育て人材(上)	日経新聞
4月23日	経営	来たるTSMC、台湾に学ぶ半導体教育 九州の大学―シリコンアイランド 育て人材(上)	日経電子版
4月24日	経営	来たるTSMC、台湾に学ぶ半導体教育 九州の大学―シリコンアイランド 育て人材(上)	日経新聞
4月26日	経営	福岡県／学ぶ点多い江戸時代 「悪いところ」は教訓に 田中優子氏が講演 福工大	西日本新聞
4月29日	経営	九州で育て半導体人材 台湾流の産学連携／女性が3割―シリコンアイランド・育て人材 まとめ読み	日経電子版
5月7日	経営	福工大オアシスより。日本一のカレーを生中継で紹介	FBS福岡放送「めんたいワイド」
5月9日	研究	電気工学科田島研「ごみから電池」の研究特集。	FBS福岡放送「めんたいワイド」
5月11日	研究	社会環境学科 上杉研究室「防災GO」紹介	J:COM「ジモトビックス」
5月13日	経営	Zちゃんと昭平くん・福工大のPCコレクション登場	TNC「ももち浜ストア」
5月22日	高校	「福岡えこひいきクイズ」 城東吹奏楽部が出演。クイズ出題のローカル曲演奏	RKB「まじもん」
5月22日	高校	朝のラジオ番組で城東高校JETENGINEプログラム紹介。	RKB「田畑竜介Groooooo Up」
6月6日	研究	福岡工大と東大、多機能でサステイナブルな積層型ナノファイバーを開発	日経電子版・日経速報ニュース
6月6日	研究	福岡工大と東大、ナノシートと有機カチオンの積層ファイバー開発	日刊工業新聞
6月7日	研究	福工大と東大多機能でサステイナブルな積層型ナノファイバーを新たに開発	朝日新聞デジタルマガジン&・ニコニコニュース・とれまがニュース・Infoseek ニュース・CNET JAPAN・エキサイトニュース・SEOTOOLS・ジョルダンニュース・西日本新聞WEB・NewsPicks・東洋経済オンライン・niftyビジネス・時事ドットコム・東洋経済education×ICT・BtoBプラットフォーム業界チャンネル・読売新聞オンライン・NIKKEI COMPASS・産経ニュースWEB・現代ビジネス・BIGLOBEニュース・DIME(アットタイム)・PRESIDENT Online
6月9日	研究	DASH島の電力化プロジェクト 電気工学科 田島教授出演	日本テレビ「ザ鉄腕!DASH !!」
6月11日	研究	外部からの刺激や環境の変化で形成／分解が可能な積層型ナノファイバーを開発	MONOist
6月12日	高校	第10回世界「ユース水フォーラム」で代表2校、福岡工業大学附属城東高校がプレゼン	環境新聞
6月15日	研究	大学生と考えるSDGs 生命環境化学科 久保研究室紹介	J:com「ジモトビックス～福岡～」
6月16日	高校	<海と日本プロジェクトinふくおか>城東高校科学部の和白糖での環境保護活動紹介	RKB「チャギハ」
6月16日	研究	DASH島の電力化プロジェクト 電気工学科 田島教授出演	日本テレビ「ザ鉄腕!DASH !!」
6月17日	研究	大学生と考えるSDGs 生命環境化学科 久保研究室紹介	J:COM「ジモトビックス・プラス(九州)」
6月18日	国際	「発展に貢献」 福工大に留学のタイ留学生 県庁訪問し抱負	西日本新聞
6月20日	研究	用途に合わせた微細繊維、薄膜と溶液で合成 福岡工大	日本経済新聞電子版
6月24日	高校	福岡工大城東 初V 決勝で東九州龍谷撃破 全九州高校バレー	西日本新聞朝刊
6月25日	研究	微細繊維を自在に合成(FromAcademia)	日本経済新聞
6月28日	研究	福岡工大・東大、積層型ナノファイバー合成に成功	化学工業日報
7月5日	高校	全国高校ダンスドリル選手権九州大会で部門2位 城東高校ダンス部紹介	RKB毎日放送「タダイマ」
7月7日	高校	福岡県／全国高校野球福岡大会＝福岡工大城東が快勝 3回戦／ふくおか都市圏	西日本新聞
7月7日	高校	シード2校、姿消す。大牟田が、福岡工大城東に敗退	朝日新聞
7月14日	スポ・芸	福岡大など3団体、九州へ 県吹奏楽コン・大学の部／福岡県	朝日新聞
7月16日	高校	インターハイ全国大会目指して。城東高校バレー部紹介	J:COM「頂 -ITADAKI- アスリート」
7月21日	研究	アプリ開発 学生競う 12チーム参加 福岡市で発表会 福工大チームのAIツール	西日本新聞
7月24日	高校	ナカニフスタジオ 城東高校生徒が出演	FM福岡
7月28日	スポ・芸	福工大ラグビー部 創部60周年記念式典	西日本新聞
7月29日	研究	デジタルの未来、大学教授が解説 大分高で特別授業	大分合同新聞
8月1日	高校	城東高校夏休み「いのちの授業」	TVQ
8月7日	スポ・芸	バリ五輪2024＝おいの世界挑戦 後押し 男子バレー宮浦の叔父・成敏さん	西日本新聞
8月16日	就職	「実就職率」大学ランキン 福工大 実就職率98.0%で7位にランクイン	タ刊フジ
8月18日	スポ・芸	中学生軟式野球鎮成大会 FITジュニア中学部準V	西日本新聞
8月20日	高校	日本水フォーラム／都内でシンポジウム開く 城東高校生徒が動画作成で発表	日刊建設工業新聞
8月28日	教育	福工大×台湾明新科技大学 半導体協同教育プログラム開始	講談社現代ビジネス・GREEニュース・ニコニコニュース・ORICON NEWS・BtoBプラットフォーム・SEOTOOLS・CNET JAPAN・産経デジタル・ハピママ・Infoseek ニュース・毎日新聞デジタル・朝日インタラクティブ・FNNプライムオンライン・産経ニュース・ジョルダンニュース・朝日新聞デジタルマガジン&・PRESIDENT Online・Jbpress・BIGLOBEニュース・西日本新聞WEB・小学館アットタイム・niftyビジネス・マビオンニュース・ReseMom・東洋経済education×ICT・BS NEWS DIG・エキサイトニュース・ウレぴあ総研・NewsPicks・東洋経済オンライン・フジテレビめざましmedia

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
8月31日	高校	高校生のじかん 早口言葉選手権 城東高校放送技術部が出場	KBC
8月31日	スポ・芸	福岡工業大が全国へ 九州吹奏楽コンクール・大学の部	朝日新聞
9月3日	教育	福岡工大 半導体人材育成へ 台湾・明新科技大学と連携	日刊電波新聞・yahooニュース
9月4日	経営	AI×大学、広がる積極活用 授業や就活で／福工大の総合型選抜紹介	朝日新聞
9月5日	教育	福岡工業大学 半導体人材の育成を牽引する台湾・明新科技大学と単位交換型の協働プログラム開始	大学ジャーナルオンライン
9月7日	高校	飲酒運転撲滅願い 城東高校チアリーディング部など参加	西日本新聞
9月10日	研究	社会環境学科、田井先生。福津市の小学校新設問題で災害リスク判定・現地を検証	RKB「タダイマ」・yahooニュース
9月10日	教育	福工大、台湾と半導体教育で連携	化学工業日報
9月10日	教育	情報マネジメント学科・藤岡研究室の学生が「happyhacking」コンテストで受賞	大学新聞
9月12日	教育	福岡工業大学 台湾の大学と連携 半導体人材を育成	電子デバイス産業新聞
9月13日	教育	福岡工大／台湾と半導体教育で連携／インターン通じ／明新科技大学と単位交換	日刊産業新聞
9月17日	研究	【宰相の条件】(5)言葉の力 簡潔文言、はらむ危険 社会環境学科木下准教授コメント	産経新聞
9月19日	教育	福工大、台湾の大学のTSMCコースに入学枠 短大卒ら対象	日経電子版
9月20日	教育	福工大、台湾雲林科技大学のTSMCコースの枠確保	日経新聞
9月20日	教育	「面倒見の良い大学」ランク:福工大が全国5位	タ刊フジ
9月20日	教育	台湾雲林科大×福工大、TSMC設立の「日本人プログラム」募集協力開始	時事ドットコム・朝日新聞デジタルマガジン・エキサイトニュース・毎日新聞デジタル・産経ニュース・マピオンニュース・niftyニュース・教育情報サイトeduon!・BIGLOBEニュース・東洋経済education×ICT・Niftyビジネス・Infoseek ニュース・ニコニコニュース・南日本新聞WEB・西日本新聞WEB
9月21日	研究	篠栗町福工大と協力して「元気もんラボ」介護予防学ぶ	毎日新聞
9月25日	教育	雲林科技大学にTSMC出資の日本人コース、福工大に優先枠	RKB「タダイマ」・Yニュース台湾
9月27日	教育	台湾の大学に授業料無料・生活補助金付きの「TSMC日本人プログラム」福工大から募集	RKB「タダイマ」・Yahoo!ニュース・TBS NEWS DIG
9月28日	教育	半導体技術 台湾で学んで TSMC×雲林科技大学 福工大と協力して説明会	読売新聞・Yahoo!ニュース
9月28日	研究	石破新首相に有権者の提言 木下准教授がコメント(全国版)	朝日新聞
10月3日	教育	半導体製造の技術者育成へ 福工大、台湾の明新科技大学と連携 単位交換型の協同教育開始	西日本新聞
10月7日	研究	石破新首相就任識者コメント:社会環境 木下先生	秋田魁新報
10月10日	研究	石破新首相就任識者コメント:社会環境 木下先生	神奈川新聞
10月15日	研究	ハザードマップ3D化、リアルなリスクを実感	日刊建設工業新聞
10月21日	教育	半導体人材の競争戦激化 産学官 即戦力育成急ぐ:福工大のTSMC日本人コースについて	日経電子版
10月22日	教育	半導体人材の競争戦激化 産学官 即戦力育成急ぐ:福工大のTSMC日本人コースについて	日経新聞
10月24日	高校	雲の動きから天気を予測 城東高校の科学部が文部科学大臣賞受賞	TVQ・yahooニュース
10月25日	研究	衆院選「投票済票」のネット販売など:社会環境 木下先生コメント	毎日新聞
10月27日	スポ・芸	福工大、楽しんで銀賞 日経大は銅賞 全日本吹奏楽コン	朝日新聞
10月29日	高校	雲の動きから天気を予測 城東高校の科学部	TVQWEB
10月30日	高校	雲の形で天候短期予測 福工大附属城東高 全国高校総合文化祭で文科大臣賞	dメニューマナー・ニコニコニュース・niftyニュース・財経新聞・南日本新聞・niftyビジネス・山口新聞・ORICON NEWS・西日本新聞・BIGLOBEニュース・東洋経済education×ICT・TBS NEWS DIG・NewsPicks・とれまがニュース・エキサイトニュース・CNET JAPAN・ウレぴお総研・Infoseek ニュース・ZDNet Japan・東洋経済オンライン・時事ドットコム・PRESIDENT Online・毎日新聞デジタル・ジョルダンニュース・宮崎日新聞社
10月31日	高校	城東高校 鉦打さん決勝大会へ 高校ビプリオバトル	読売新聞
11月1日	教育	新聞活用し出前講座 福工大で1216人が受講:西日本新聞×福工大	西日本新聞
11月2日	地域	島原市と福工大:EVたし号出発／国の実証実験でガソリン車改造	長崎新聞
11月5日	地域	大学リカレント 学び方改革を先導。福岡工業大学 社会連携センター	日刊工業新聞
11月6日	地域	地域バス 電気自動車導入 島原市と福工大 中古ガソリン車を電動化＝長崎	読売新聞
11月8日	経営	半導体人材育成へ国や企業が本腰、福工大は台湾の大学と単位の交換など	日刊電波新聞
11月7日	高校	雲の形で天候短期予測 福工大附属城東高 全国高校総合文化祭で文科大臣賞	西日本新聞
11月8日	高校	雲の形で天候短期予測 福工大附属城東高 全国高校総合文化祭で文科大臣賞	KBC「シリタカ」・yahooニュース
11月9日	高校	雲の形で天候短期予測 福工大附属城東高 全国高校総合文化祭で文科大臣賞	西日本新聞(長崎)
11月10日	高校	「チアがある」城東高校チアリーディング部ドキュメンタリー	TNC「FNNドキュメント九州」
11月12日	高校	「チアがある」城東高校チアリーディング部ドキュメンタリー	佐賀テレビ「FNNドキュメント九州」
11月13日	高校	「チアがある」城東高校チアリーディング部ドキュメンタリー	テレビ長崎「FNNドキュメント九州」・テレビ熊本「FNNドキュメント九州」
11月14日	高校	「チアがある」城東高校チアリーディング部ドキュメンタリー	テレビ大分「FNNドキュメント九州」
11月14日	高校	雲の形で天候短期予測 福工大附属城東高 全国高校総合文化祭で文科大臣賞	RKBラジオ「さえのわふる」「FNNドキュメント九州」
11月18日	スポ・芸	九州大学生ラグビー、福工大が3連覇	読売新聞
11月18日	地域	島原市コミュニティバス 「EVたし号」導入 福工大が実証実験	毎日新聞
11月18日	スポ・芸	福岡工大が全国大学選手権出場／ラグビー	東京読売新聞
11月19日	高校	雲の形で天候短期予測 福工大附属城東高 全国高校総合文化祭で文科大臣賞	RKB「タダイマ」・yahooニュース
11月19日	高校	NHK 生中継!「ロボット相撲プロジェクト」	NHK福岡「ニュースロワイヤ福岡」
11月27日	教育	「アントレプレナーシップ」学ぶ こども記者経験者10人が発表	西日本新聞
11月27日	高校	あえてのアナログ…雲を観察して天気を予測 高校の科学部「雲班」雲の組み合わせに規則性!発見	FNNプライムオンライン・yahooニュース

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
11月28日	高校	高校生、天気予測できる雲の形の組み合わせ発見 40万枚の写真分析	毎日新聞オンライン
11月29日	高校	高校生、天気予測できる雲の形の組み合わせ発見 40万枚の写真分析	MNSニュース
12月1日	スポ・芸	ラグビー全国大学＝福岡工大3回戦進出 讃井主将 決勝トライ	西日本新聞
12月2日	スポ・芸	福岡工大は近大と対戦 全国大学ラグビー	西日本新聞
12月3日	高校	読売学生書展 最高賞2人＝福岡 城東高校紹介	読売新聞
12月6日	高校	福岡県／地元IT4社が初のキャリア教育 福工大城東高	毎日新聞
12月6日	高校	福岡工大城東高・40万枚の写真分析し天気予測、総文祭で最高賞 福岡工大城東高	毎日新聞・yahoo ニュース
12月11日	研究	電気工学科 田島先生 冬場のスマホバッテリーについて	KBC「アサデス」
12月24日	高校	鉄壁レシーブから狙うは「センターコート」福岡工大城東が「だるま」に刻むモットーは	yahoo ニュース
12月28日	経営	見えてきた「新生」シリコンアイランド TSMC起爆剤に。福工大×台湾の取り組み紹介	日経電子版
令和7年 1月5日	高校	春高バレー きょう開幕 福岡工大城東・「心」刻む必勝	西日本新聞
1月6日	高校	高校バレーボール・福工大城東 悲願の1勝 「先輩が流した涙 報われたかな」	西日本新聞
1月7日	高校	高校バレーボール・2回戦、福工大城東勢い 逆転勝ち	西日本新聞
1月9日	経営	日ロッピーディスクについて 記録媒体の専門家に聞く 情報基盤センター出演	FBS福岡放送「めんたいワイド(ローカル)」
1月10日	研究	福岡工大など、みんなでプログラミング 視覚障がい児童に出前授業	日刊工業新聞
1月17日	経営	大学入試共通テスト 福工大でも準備進む	FBS福岡放送「昼ニュース」・NHK(福岡)「昼ニュース」・RKB毎日放送「夕方ニュース」・FBS福岡放送「めんたいワイド(ローカル)」・NHK(福岡)「ニュースロクイチ福岡」
1月27日	研究	生命環境・三田研究室「アントシアニンで宇宙環境の米長期保存 月・火星など有人宇宙の食料自給自足に寄与」	航空新聞社
1月31日	経営	福岡工業大学と東福岡高校が高大連携協定を締結、デジタル人材の育成を強化	講談社現代ビジネス・ニコニコニュース・とれマガニュース・ライブドアニュース・大分合同新聞社・南日本新聞・マビオンニュース・西日本新聞社WEB・niftyビジネス・山口新聞WEB・BIGLOBEニュース・TBS NEWS DIG・東洋経済education×ICT・エキサイトニュース・Infoseek ニュース・東洋経済オンライン・時事ドットコム・PRESIDENT Online・毎日新聞デジタル・Jbpress・博多経済新聞・ジョルダンニュース!
2月1日	経営	東福岡高と福工大がAI教育で連携協定	西日本新聞
2月6日	研究	道路陥没の復旧阻む「硫化水素」について生命環境・久保准教授解説	TV朝日「スーパーJチャンネル」・ABEMA TV「ABEMAニュース」
2月7日	研究	紫米、宇宙で強い 発芽・生育率白米上回る 岡山大・福工大など研究グループ	日本農業新聞
2月9日	研究	道路陥没の復旧阻む「硫化水素」について生命環境・久保准教授解説	yahooニュース
2月10日	就職	福岡工業大学で西日本の大学最大規模の企業説明会	TVQ「TVQニュース+」・yahooニュース
2月10日	就職	学生が重視するのは？ 福岡工業大で合同企業セミナー	FBS「めんたいワイド」・FBSイブニングニュース・yahooニュース・MSNニュース
2月10日	就職	福工大で“就活前哨戦”セミナー 540社集まるセミナー	TNC「報道ワイド記者のチカラ」・yahooニュース・docomoDニュース
2月11日	スポ・芸	福岡工大が全国大会へ 九州アンサンブル／福岡県	朝日新聞
2月20日	高校	全国「中高生ニュース 城東高校科学部 雲の研究で文部科学大臣賞を受賞	TBS「THE TIME」
2月27日	高校	自転車ヘルメット着用率アップへ 城東高校映像クリエイタープロジェクトがVTR制作	FBS「めんたいワイド」・RKB「昼ニュース」・RKB「タダイマ!」・yahooニュース(RKB)・KBC「昼ニュース」・KBC「ぎゅっと(夕方)」・yahooニュース(KBC)
2月28日	就職	大学生の就活、インターン「早期化」へ。就職部本行部長インタビュー	TVQ「TVQニュース+」・yahooニュース
3月3日	研究	「しらべると」無線製品の「技適マーク」について。情報通信・中嶋先生出演	FBS「めんたいワイド」
3月5日	教育	新聞コミュニケーション大賞2024 福岡工業大×西日本新聞 社会に関心 新聞記事から	西日本新聞
3月11日	高校	夢のために「マネー」をつかめ! 高校生が事業をプレゼン 城東高校JETENGINEプログラム紹介	KBC「ぎゅっと」
3月11日	高校	城東高校JETENGINEプログラム2024 クレーンゲーム山本君紹介	RKBラジオ
3月12日	高校	城東高校JETENGINEプログラム紹介	FBS「めんたいワイド」
3月17日	研究	命を守る「防災アプリ」 行政や大学が開発 上杉研究室開発の「防災GO」紹介	RKB・yahooニュース・gooニュース・docomoDメニュー
3月24日	研究	情報システム工学科 木室教授 ドローン使ったプログラミング教育について特集	日刊工業新聞

■募集・広報活動等関連指標の推移

項目	年度	H27 (H28年度入試)	H28 (H29年度入試)	H29 (H30年度入試)	H30 (R1年度入試)	R1 (R2年度入試)	R2 (R3年度入試)	R3 (R4年度入試)	R4 (R5年度入試)	R5 (R6年度入試)	R6 (R7年度入試)
志願者数	人数	6,939	9,564	9,949	10,874	12,585	11,345	10,746	11,255	9,272	9,490
HPセッション数	件数	548,592	654,073	666,425	764,196	842,800	1,082,623	919,792	927,653	1,030,163	1,070,356
パブリシティ掲載	件数	268	376	175	204	295	338	337	299	343	308

令和6年度進路状況 令和7年3月卒業者

■大学

学部名	学科名	卒業生数 ※1	就職希望者数	就職内定者数	大学院進学者数	就職率 ※2	実就職率 ※3
工学部	電子情報	90	77	77	11	100%	97.5%
	生命環境	92	80	80	11	100%	98.8%
	知能機械	113	96	96	17	100%	100%
	電気	109	93	93	14	100%	97.9%
	学部合計	404	346	346	53	100%	98.6%
情報工学部	情報	127	109	108	17	99.1%	98.2%
	情報通信	112	106	106	6	100%	100%
	情報システム	87	78	78	8	100%	98.7%
	システムマネジメント	62	53	53	8	100%	98.1%
	学部合計	388	346	345	39	99.7%	98.9%
社会環境学部	社会環境	169	157	157	5	100%	95.7%
大学合計		961	849	848	97	99.9%	98.1%

※1 前期卒業者を除く ※2 就職率=就職内定者数/就職希望者数
 ※3 実就職率=就職内定者数/(卒業生数-大学院進学者数)

■大学院修士課程

専攻名	修了者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
電子情報	7	6	6	1	100%	100%
生命環境	17	16	16	1	100%	100%
知能機械	10	10	10	0	100%	100%
電気	15	14	14	1	100%	100%
情報	15	14	14	0	100%	93.3%
情報通信	7	6	6	1	100%	100%
情報システム	10	10	9	0	90.0%	90.0%
システムマネジメント	1	1	1	0	100%	100%
社会環境	2	1	1	1	100%	100%
大学院合計	84	78	77	5	98.7%	97.5%

※前期修了者を除く

■短期大学部

学科名	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
情報メディア	142	62	62	66	100%	81.6%
短大合計	142	62	62	66	100%	81.6%

■短期大学部 編入学実績一覧

学科名	編入希望者数	編入決定者数				編入決定率	うち、情報・工学系への編入	
		国公立大学	福岡工業大学	私立大学	合計		人数	割合
情報メディア	66	9	22	35	66	100%	53	80.3%
合 計	66	9	22	35	66	100%	53	80.3%

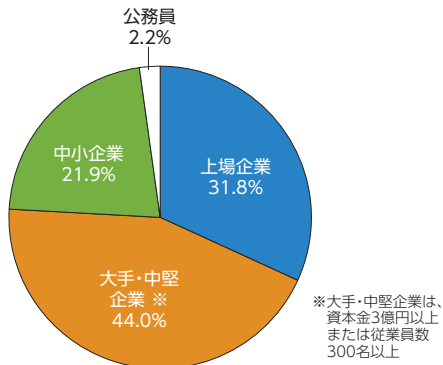
■短期大学部 編入学合格者・進学者一覧

大学種別	学校名	学部	合格者数 (延べ数)	大学種別	学校名	学部	合格者数 (延べ数)
国公立大学	豊橋技術科学大学	工学部	1	私立大学 (その他)	東京通信大学	情報マネジメント学部	2
	岐阜大学	工学部	1		京都芸術大学	通信教育部	2
	島根大学	総合理工学部	2		大阪産業大学	デザイン工学部	1
	山口大学	工学部	1		関西福祉科学大学	社会福祉学部	1
	下関市立大学	経済学部	1		近畿大学	産業理工学部	2
	九州工業大学	情報工学部	1		サイバー大学	IT総合学部	3
	佐賀大学	理工学部	2		九州共立大学	経済学部	1
	宮崎大学	工学部	1		九州産業大学	芸術学部	1
	琉球大学	工学部	1		九州産業大学	商学部	1
					九州産業大学	理工学部	11
合 計			11		九州情報大学	経営情報学部	4
私立大学 (福岡工業大学)	福岡工業大学	工学部	1		久留米大学	経済学部	1
	福岡工業大学	情報工学部	14		久留米工業大学	工学部	8
	福岡工業大学	社会環境学部	10		西日本工業大学	デザイン学部	2
合 計			25	合 計			40
				総合計			76

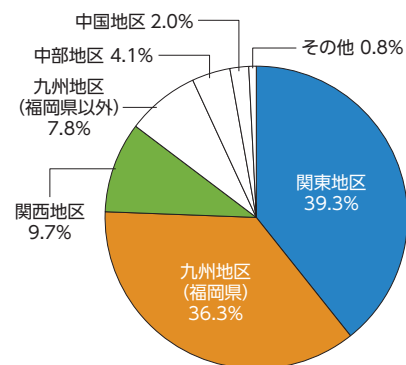
令和6年度就職状況 令和7年3月卒業者

(企業等名:敬称略・順不同)

■大学・企業規模別

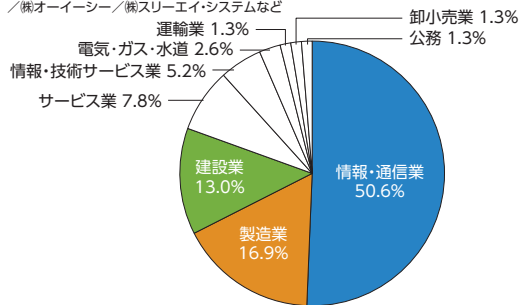


■大学・地区別



電子情報工学科

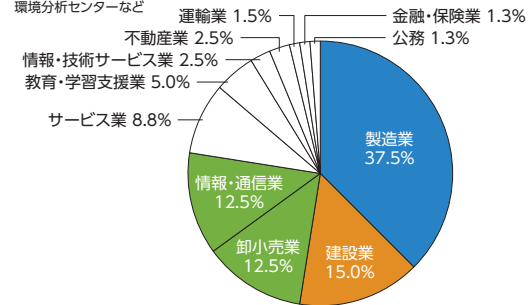
株式会社/日比谷総合設備株式会社/エムイーシーテック株式会社/株式会社明電舎/シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社/日本デジタル研究所/トックス・セミコンダクター株式会社/三和シャッター工業株式会社/NECネットエスアイ株式会社/NSW株式会社/株式会社NSD/株式会社レスコ/株式会社シーシー/株式会社TDCソフト/株式会社DTS/デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社/株式会社アグリス/株式会社KSK/株式会社SHINKO/セーファー株式会社/株式会社アドビ・ネスコンサルティング/SETソフトウェア株式会社/コンピュータサイエンス株式会社/双日テック/バージョン株式会社/大和総研インフォメーションシステムズ/デル・テクノロジー株式会社/株式会社東芝システムテクノロジ株式会社/日本放送協会(NHK)/ジャパンエレベーターサービスホールディング株式会社/株式会社映像システム/三菱電機システムサービス株式会社/株式会社エンジニアリング/パナソニックテクノロジ株式会社/アマノ株式会社/キオクシアシステムズ株式会社/株式会社日本コンピュータコンサルタント/日本工業検査株式会社/株式会社インテック/トーテックアメニティ株式会社/京セラコミュニケーションシステム株式会社/住友電設株式会社/浅海電気株式会社/エスベック株式会社/非破壊検査株式会社/三菱電機ソフトウェア株式会社/MHIソリューションテクノロジ株式会社/株式会社九電工/株式会社安東工業/ホシデン九州株式会社/九州電力株式会社/NTTデータNCB/FFGコンピュータサービス株式会社/株式会社九州日立システムズ/グローバルプレイン株式会社/サンケイフォークキャスト株式会社/株式会社サンテック/ユニティ・ソフト株式会社/株式会社Tnet/株式会社博運社/篠栗町役場/JapanAdvancedSemiconductorManufacturing株式会社/株式会社ジャパンセミコンダクター/株式会社オーイーシー/株式会社スリーエシステムなど



就職率 100%・実就職率 97.5%

生命環境化学科

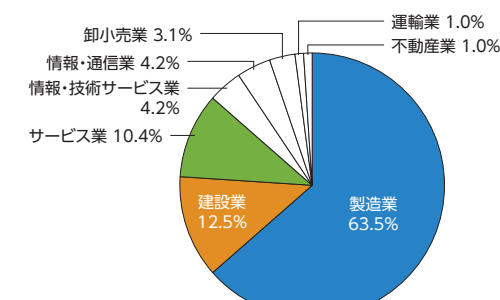
株式会社DGフィースト/山九株式会社/株式会社太田電機/昭和アステック株式会社/株式会社ガッパ/雪印メグミルク株式会社/株式会社ダイショー/株式会社ゴードン/三菱製鋼株式会社/千住金属工業株式会社/株式会社セイシン企業/株式会社共和電業/東京エレクトロン株式会社/太平洋マテリアル株式会社/NCD株式会社/株式会社日比谷ソリューションズ/ヒロセ株式会社(ヒロセホールディングス)/大和リビング株式会社/株式会社NJS/アース環境サービス株式会社/株式会社アウトソーシングテクノロジ/陽進堂ホールディングス株式会社/トクラス株式会社/フジパンプグループ本社株式会社/京セラ株式会社/株式会社モリタ製作所/ミラクシアエッジテクノロジ株式会社/東原工業株式会社/株式会社三晃空調/グンゼ株式会社/新コスモス電機株式会社/株式会社ういち/日本電子材料株式会社/下関市消防局/三浦工業株式会社/株式会社九電工/株式会社高田工業所/セキスイハイム九州株式会社/九星飲料工業株式会社/株式会社キュレイ/吉川工業株式会社/豊前東芝エレクトロニクス株式会社/メルコパワーデバイス株式会社/大石産業株式会社/株式会社タカギ/株式会社ゼンリン/キーウェア九州株式会社/株式会社ケイ・エム/フォーサイトシステム株式会社/ヤマエグループホールディングス株式会社/アプライド株式会社/株式会社アステックペイント/株式会社アトル/株式会社イーサポート/株式会社ニシイ/株式会社西日本シティ銀行/株式会社レントハウス不動産/常勤講師(福岡県立中学校)/常勤講師(北九州市立中学校)/福岡県公立学校教員(中学)/福岡市公立学校教員(中学)/九電産業株式会社/新日本非破壊検査株式会社/株式会社太平洋環境科学センター/東亜非破壊検査株式会社/株式会社アーク/理研農産化工株式会社/株式会社東洋空機製作所/株式会社ワイ・デー・ケー九州/株式会社佐賀電算センター/株式会社雅井/株式会社ミヤチク/インフラテック株式会社/ソフトマックス株式会社/株式会社東洋環境分析センターなど



就職率 100%・実就職率 98.8%

知能機械工学科

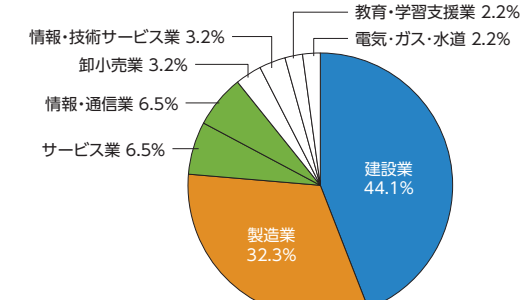
株式会社第一メカテック/三機工業株式会社/山九株式会社/株式会社太田電機/株式会社HEXELWorks/SMC株式会社/酒井重工業株式会社/日本ケミコン株式会社/株式会社TMEIC/安川メカトロニクス株式会社/三菱自動車工業株式会社/ナブテスコ株式会社/理研計器株式会社/株式会社原製作所/三和シャッター工業株式会社/株式会社ミラト・ワン・システムズ/株式会社キャスト/三菱電機ビルソリューションズ株式会社/パナソニックテクノロジ株式会社/株式会社日産オートモーティブテクノロジ/サイバーコム株式会社/田辺工業株式会社/ミネベアミツumi株式会社/新明工業株式会社/西島株式会社/株式会社マキノ/三菱自動車エンジニアリング株式会社/トーテックアメニティ株式会社/株式会社ヒラテック/フジテック株式会社/株式会社GSユアサ/株式会社きんでん/大和ハウス工業株式会社/株式会社新栄工業株式会社/株式会社鶴見製作所/象印マホービン株式会社/西日本旅客鉄道株式会社/三和ペイント株式会社/非破壊検査株式会社/MHINUSEC株式会社/安田工業株式会社/オージー・技研株式会社/リョービ株式会社/マツダ株式会社/株式会社九電工/株式会社エルテックス・ヨシダ/株式会社満商會/株式会社三松/株式会社山本工作所/吉川工業株式会社/日本エレベーター製造株式会社/不二精機株式会社/ヤンマー建機株式会社/株式会社正興電機製作所/株式会社三井ハイテック/安川オートメーションドライブ株式会社/メルコパワーデバイス株式会社/トヨタ自動車九州株式会社/日産自動車九州株式会社/株式会社矢野特殊自動車/コスミックビジネス株式会社/株式会社キュー・ハブ/株式会社コスモス薬品/計測検査株式会社/産機エンジニアリング株式会社/東亜非破壊検査株式会社/株式会社アスパーク/株式会社佐賀鉄工所/小糸九州株式会社/三菱長崎機工株式会社/株式会社コーポラル技研/平田機工株式会社/JapanAdvancedSemiconductorManufacturing株式会社/エスティケイテクノロジ株式会社/ダイハツ九州株式会社/株式会社オーイーシーなど



就職率 100%・実就職率 100%

電気工学科

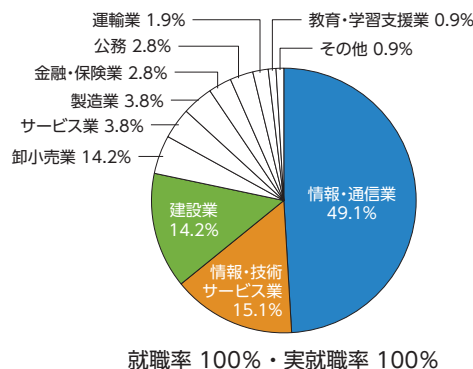
株式会社かわでん/株式会社関電工/太田電機株式会社/株式会社ミラト・ワン/メタウォーター株式会社/NTTアノードエナジー株式会社/新生テクノ株式会社/東亜工業株式会社/東光電気株式会社/日本設備工業株式会社/安全自動車株式会社/パナソニックEWネットワークス株式会社/三菱自動車工業株式会社/大王製紙株式会社/東京電力ホールディングス株式会社/NSW株式会社/アイエックス・ナレッジ株式会社/東芝システムテクノロジ株式会社/三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社/東テック株式会社/三菱電機エンジニアリング株式会社/株式会社アウトソーシングテクノロジ/日研トータルソーシング株式会社/パナソニックテクノロジ株式会社/東芝プラントシステム株式会社/ミネベアミツumi株式会社/デンソーテクノ株式会社/愛知県公立学校教員(高校)/株式会社きんでん/大和ハウス工業株式会社/東原工業株式会社/JR西日本電気システム株式会社/パナソニックEWエンジニアリング株式会社/アイコム株式会社/ナリック株式会社/株式会社花エレクトリック/食協株式会社/株式会社ガワテック/株式会社イーシーJRC株式会社/長州産業株式会社/BEMAC株式会社/ダイオーエンジニアリング株式会社/株式会社九電工/株式会社高田工業所/ダイキンHVACソリューション九州株式会社/千代田計装株式会社/株式会社友友社/西日本プラント工業株式会社/西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社/濱田重工株式会社/株式会社フジマックネオ/株式会社三井ハイテック/九電テクノシステムズ株式会社/株式会社キュー・ハブ/トヨタ自動車九州株式会社/九州電力株式会社/アイコムソフト株式会社/サンケンフォークキャスト株式会社/アプライド株式会社/九電産業株式会社/新日本非破壊検査株式会社/株式会社SUPERMOTO/株式会社ミヅタ/佐賀県公立学校教員(高校)/平田機工株式会社/JapanAdvancedSemiconductorManufacturing株式会社/ミネベアアセスソリューションズ株式会社など



就職率 100%・実就職率 97.9%

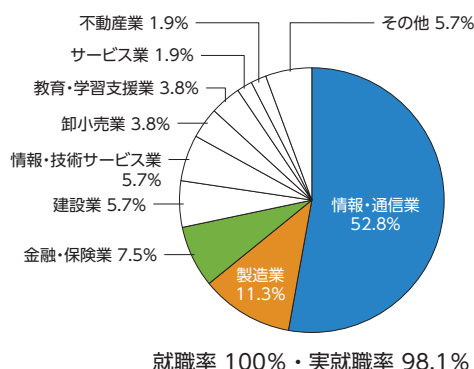
情報通信工学科

エスエコーグループ(株)／(株)ライト・ワン／サンコムシステムズエンジニアリング(株)／日本エヌエス(株)／パナソニックEWEネットワークス(株)／日立産機システム(株)／NIND、(株)大塚商会(株)／DTS／アイテック・ナレッジ(株)／(株)ルネサス、(株)クラスタロジクス／(株)ササシステムズ／サナ情報サービス(株)／セントラルソフト(株)／(株)ティエアンドエス／デル・テクノロジー(株)／日本コンピュータ(株)／(株)日本第一／(株)三菱電機インフォマティクスネットワーク(株)／(株)三友三友・ワン・システムズ(株)／NITTD(株)／(株)第一興商、(株)NHKテクノロジーズ／(株)ディスト、(株)IIエンジニアリング、(株)アウソート・シシングテクノロジー、(株)エイジェック／(株)スタップサービスエンジニアリング事業本部、(株)テックノロテックプロ・エンジニアリング(株)／(株)テックノロテックプロ・デザイン(株)／(株)イナナビEdge、富士ソフト(株)／日立情報通信エンジニアリング(株)／(株)アイエス研研／(株)カネネット・ソフトウェアエンジニアリング／ディー・ピー・シー・トータルシステム(株)／フジテック(株)／京セラコミュニケーションシステム(株)／(株)オムロン、(株)アストエッジ、(株)名門アムネフェリー／パーソナルエシタルHRパートナー(株)／(株)ミツウエカ／三菱電機ソフトウェア部、(株)豊田電機(株)／(株)日立リユース・システム(株)／日本乾通工業(株)／西部電気工業(株)／(株)コエクス／TOTOPラテック(株)／(株)ピー・ピー・システムズ(株)／システムソフト、CSK九州(株)／(株)NITTDデータNCB、(株)ゲット、(株)ディジック／(株)ニシコン、(株)メクス・パートナーズ(株)／(株)ランテック／アプライド(株)／ヤマエグループ・ホールディングス(株)／(株)正晃、(株)リョウコフ・九電産業(株)／(株)シノケオ・サービス・スーパース、東亜非破壊検査(株)／(株)クアブレイン、(株)ワール・パインテック／警察庁九州管区警察部、佐佐賀電算センター／(株)三和銀行、(株)RKK CS、熊本県立大学学校教員(中学)／(株)京崎情報ナダ



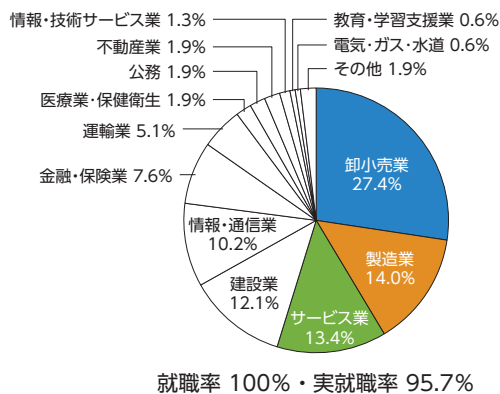
システムマネジメント学科

システムエンジニアリング株式会社 大成ロテック 日本ムスビ 理研計器(株)アイディファ
 株式会社大塚商会 ㈱DTS ㈱アベック ㈱あらそーしー ㈱CIC ㈱エーシー ディ
 コム ㈱BPS ㈱バルビス ㈱ウィルバーク ㈱アトシステム/ラジョー インターノウ
 ス ㈱アイファックスシステム 富士ソフト 東京情報システム ㈱リナイ 京東コミュニケーション
 システム ㈱新井工業 ㈱フジマツリ工業 ㈱コナナ商事 ㈱ダイヤモンド社 ㈱印刷研 ㈱南廣
 ㈱ゼンリン ㈱アイフォース エーコー工業 ㈱FGコンピュータサービス ㈱九州日シス
 テム Qsol ㈱廣済商事 ㈱福岡銀行 ㈱野村不動産 福岡市公立学校教員(中学) 太陽シル
 バサービス ㈱JMC 日本システム ㈱南日本銀行 ㈱琉球銀行 自営業など



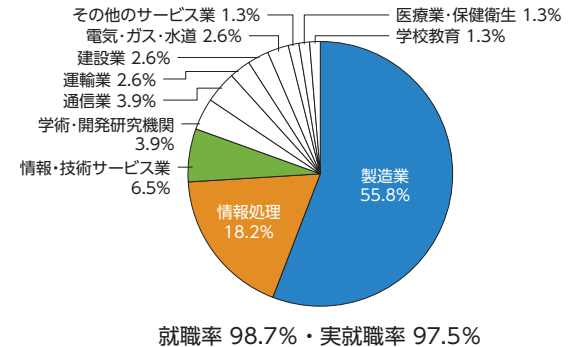
社会環境学科

㈩ニトリ/㈩ミライト・ワン/㈩イクス/スチールエンジニア/大成ロテック/㈩ユナイテッド/日本製鉄/㈩ネグロス電機/東芝テック/タキゲン製造/理研計器/㈩ホギメディカル/三和シャッター工業/エンカレッジ・テクノロジ/㈩robothome/㈩大塚商会/㈩クロスキャスト/㈩SIG/㈩エム・アンド・アイ/セントラルソフト/㈩JCOM/日本郵便/東テック/旭日産業/スターティア/三菱電機/環境システム/㈩iDOM/ストーンアイランドジャパン/㈩LIXIL/トータル販売/㈩ゆうちょう銀行/㈩オープンハウスグループ/明和地所/三井住友トラスト不動産/㈩NEXYZ Group/㈩アクト/㈩アサヒセキュリティ/㈩NTT SportsX/㈩M&A総合研究所/㈩ネクシーズ/㈩LIXIL Advanced Showroom/㈩オープンアップITエンジニア/㈩フット・コンサルティング/アマノ/㈩日産自動車/㈩ナイスコンピュータシステム/㈩西濃運輸/太陽建機レンタル/㈩住居時間/㈩ネクステージ/KeePer/技研/大和ハウス工業/西日本高速道路/㈩ジェイテック/Future Rays/㈩サカイ引越センター/西日本旅客鉄道/㈩コイズミ物流/㈩ACN/㈩アド・ダイセン/イオンディライト/㈩非破壊検査/㈩トーホー/山陰開発コンサルタント/㈩デジコム/日本シーレック/㈩九電工/大橋工アシシステム/㈩九州高圧コンクリート工業/㈩幸栄防災/㈩西部電気工業/ゼオライト/㈩地工/㈩ディ・アイ・エス/不二精機/㈩三井ハイテック/㈩九州デン/㈩筑水キャニコム/大石産業/ヤマウホールディングス/㈩九州酸素/㈩ウイズユニティ/㈩SRA西日本/㈩九州共栄システム/㈩ゼンリンマップテック/西日本鉄道/ANA福岡空港/アプライド/㈩ヤマエグループホールディングス/㈩アステックペイント/㈩アトル/㈩イーサポート/岩田産業/㈩ジーエムメディカル/㈩翔業/㈩新出光/トヨタモビリティパーツ/㈩福岡九州コボタ/福岡大同青果/イオン九州/㈩コスモス食品/㈩スターマックス・ホールディングス/㈩イデックスオートジャパン/九州スズキ販売/㈩九州日野自動車/㈩武田メカニクス/福岡トヨタ自動車/㈩筑邦銀行/九州カード/㈩西日本シティ銀行/福岡銀行/福岡信用組合/福岡ひびき信用金庫/西日本シティ証券/医療法人社団高邦会高木病院/社会医療法人財団友会福岡和白病院/常勤講師(福岡県立小学校)/エフコプ生活協同組合/福岡県商工会連合会/有限会社伊都施設管理サービス/FVC/三洋ビル管理/JR九州エンジニアリング/㈩ニシケン/北九州市消防/有限会社マグマ/佐賀市役所/㈩スズキ自販長崎/㈩十八親和銀行/諫早市役所/㈩肥後銀行/㈩九州セイムス/JA鹿児島県連/㈩エナジックインターナショナル/㈩リウコム/自営業など



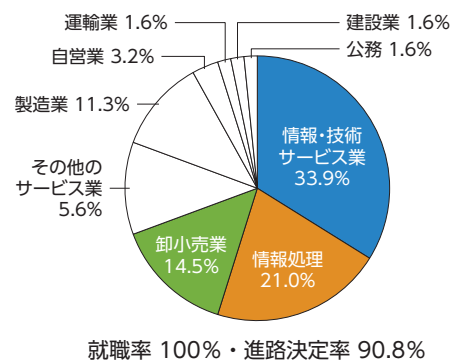
大学院

㈩ナカニシ/日本コムシス/㈩デンカ/日本書連/DOWAホールディングス/三井金属鉱業/芝浦機械/アルプスアルパイン/㈩タムラ製作所/富士電機/三菱電機/㈩セガフェイブ/日本無線/㈩日立ハイテック/三菱自動車工業/東京エレクトロン/パイオニア/三菱重工業/㈩JERA/㈩インターネット・インフラ/㈩NSD/㈩クロスキャスト/NECソリューション/ベータ/富士通Japan/三菱総研DCS/ソフトバンク/アルテリア・ネットワークス/楽天モバイル/日本貨物鉄道/㈩新日本科学/デロイト・マツコンサルティング合同会社/㈩アウトソーシングテクノロジ/プログレス・テクノロジーズ/日揮触媒化成/㈩ミットヨ/富士通/イビデン/DMG森精機/デンソーテクノ/京セラ/明星工業/㈩鶴見製作所/タカラベルモント/アイコム/関西電力/Sky/パナソニックインフォメーションシステム/アドバンテック/㈩テック・プロテック/プロ・R&D社/戸田工業/㈩ニュー・ジャパン・ナレッジ/濱田重工/西部電機/TOTO/三井ハイテック/㈩九州デン/トヨタ自動車九州/㈩YEDIGITAL/㈩ゼンリン/SCSK九州/JR九州システムソリューションズ/日鉄ソリューションズ九州/九州旅客鉄道/㈩CRC食品環境衛生研究所/久留米工業大学/㈩ワールドインテック/㈩戸上電機製作所/Japan Advanced Semiconductor Manufacturing/富士フィルムワコーケミカルなど



短期大学部

㈩エイジェックO&Mインテグレート/㈩DTS/㈩ジャステック/㈩ローソン/㈩オンデーズ/㈩ヨドバシカメラ/㈩カープホールディングス/㈩ジャパンエレベーターサービスホールディングス/㈩アウトソーシングテクノロジ/㈩エイジェック/㈩デザインネットワーク/㈩パーソルクロステクノロジ/㈩平山/㈩プライムエンジニアリング/㈩マイスターエンジニアリング/㈩メイテックフィルダース/㈩LILL/自衛隊/㈩ネオジャパン/㈩ソフテム/ITXコミュニケーションズ/㈩アルプスビジネスサービス/フジパルグループ本社/㈩フロンティア/㈩トーテックフロンティア/㈩TOWA/㈩エディオン/イオンディライト/㈩イズミテック/㈩ダイキエンジニアリング/西部電気工業/㈩新和製作所/丸喜鋼業/協立エアテック/㈩不二精機/メディアファイブ/久留米情報システム/㈩ゲット/㈩サントク/シスメックスCNA/㈩スミオン/㈩デジテック/九州旅客鉄道/㈩アステム/㈩ライアルカンパニー/㈩ドラッグストアモリ/㈩オモヤ/㈩アソウ・アルファ/理研農産化工/佐銀デジタルパートナーズ/自営業など



令和6年度進学状況 令和7年3月卒業者

(敬称略・順不同)

■大学院

- 横浜国立大学理工学府 化学・生命系理工学専攻 博士課程後期
- 同志社大学大学院 文化情報学研究科 博士後期課程進学
- 福岡工業大学大学院 博士課程

■大学

- 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 先端科学技術専攻
- 九州大学大学院 総合理工学部
- 福岡教育大学大学院 教職実践専攻
- 福岡工業大学大学院 修士課程

■短期大学部

- 豊橋技術科学大学 工学部
- 岐阜大学 工学部
- 島根大学 総合理工学部
- 山口大学 工学部
- 下関市立大学 経済学部
- 九州工業大学 情報工学部
- 佐賀大学 理工学部
- 宮崎大学 工学部
- 福岡工業大学 工学部
- 福岡工業大学 情報工学部
- 福岡工業大学 社会環境学部
- 東京通信大学 情報マネジメント学部
- 京都芸術大学 通信教育部
- 大阪産業大学 デザイン工学部
- 関西福祉科学大学 社会福祉学部
- 近畿大学 産業理工学部
- サイバー大学 IT総合学部
- 九州共立大学 経済学部
- 九州産業大学 芸術学部
- 九州産業大学 理工学部
- 九州情報大学 経営情報学部
- 久留米大学 経済学部
- 久留米工業大学 工学部
- 西日本工業大学 デザイン学部

令和6年度附属城東高校進路状況(合格実績)

■令和6年度(7年度入試)進学(合格者)実績<福岡工業大学・同短期大学部除く、既卒者含む>

(敬称略・順不同)

国立大学		私立大学	
九州大学	5	早稲田大学	1
九州工業大学	7	慶應義塾大学	2
福岡教育大学	7	東京理科大学	2
佐賀大学	10	明治大学	4
長崎大学	4	青山学院大学	2
熊本大学	9	立教大学	1
大分大学	4	中央大学	2
宮崎大学	2	法政大学	5
鹿児島大学	3	関西大学	4
琉球大学	1	関西学院大学	17
北海道教育大学岩見沢校	1	同志社大学	9
室蘭工業大学	1	立命館大学	34
富山大学	1	北海道医療大学	2
信州大学	1	札幌学院大学	1
山梨大学	1	日本ウェルネススポーツ大学	1
静岡大学	1	東北医科薬科大学	1
大阪大学	2	流通経済大学	1
大阪教育大学	2	国際医療福祉大学	6
愛媛大学	3	育英大学	1
高知大学	1	上武大学	2
公立大学		(九州地区)	
北九州市立大学	14	駿河台大学	1
福岡女子大学	3	津田塾大学	1
長崎県立大学	1	文教大学	2
大分県立看護科学大学	1	淑徳大学	1
名城大学	2	千葉工業大学	4
静岡文化芸術大学	1	大妻女子大学	4
大阪公立大学	1	國學院大学	1
横浜市立大学	1	駒澤大学	4
岡山県立大学	1	芝浦工業大学	3
山陽小野田市立山口東京理科大学	2	専修大学	2
下関市立大学	3	玉川大学	1
山口県立大学	2	帝京科学大学	2
高知工科大学	4	帝京大学	2
国公立大学 計	102	東海大学	3
準大学等		東京農業大学	2
防衛大学校	6	東洋大学	2
九州職業能力開発大学校	9	日本歯科大学	1
関東職業能力開発大学校	1	日本獣医生命科学大学	1
準大学等 計	16	日本大学	6
		明治学院大学	1
		神奈川大学	1
		関東学院大学	2
		金沢工業大学	2
		松本歯科大学	1
		朝日大学	1
		愛知学院大学	1
		名古屋外国語大学	1
		名古屋学芸大学	2
		日本福祉大学	2
		人間環境大学	1
		名城大学	1
		京都精華大学	2
		同志社女子大学	2
国公立大学・準大学等 合計	118	佛教大学	1
		龍谷大学	3
		大阪経済大学	1
		大阪工業大学	1
		関西外国語大学	1
		近畿大学	26
		阪南大学	1
		芦屋大学	1
		関西福祉大学	1
		神戸女子大学	1
		園田学園大学	1
		兵庫医科大学	2
		武庫川女子大学	1
		奈良大学	1
		広島工業大学	1
		福山大学	2
		東亜大学	2
		シドニー工科大学附属カレッジ	1
		東京通信大学	1
		近畿大学(通信教育課程)	1
		福岡工業大学	961
		西南学院大学	56
		福岡大学	202
		九州産業大学	90
		九州栄養福祉大学	3
		九州共立大学	7
		九州国際大学	3
		九州情報大学	2
		九州女子大学	5
		久留米工業大学	4
		久留米大学	10
		産業医科大学	2
		純真学園大学	3
		西南女学院大学	1
		聖マリア学院大学	1
		筑紫女学園大学	3
		中村学園大学	16
		西日本工業大学	1
		日本経済大学	3
		日本赤十字九州国際看護大学	3
		福岡看護大学	2
		福岡国際医療福祉大学	5
		福岡歯科大学	2
		福岡女学院看護大学	7
		福岡女学院大学	10
		令和健康科学大学	9
		西九州大学	1
		長崎国際大学	4
		崇城大学	3
		日本文理大学	2
		立命館アジア太平洋大学	5
		私立大学 計	1,637
		大学 合計	1,755
		短期大学 計	51

■令和6年度就職(合格者)実績<令和7年3月卒業者> (企業等名:敬称略・五十音順)

- 岡山シーガルズ(株)
- (株)九電送配サービス
- (株)クボタ
- ダイハツ九州(株)
- トヨタ自動車九州(株)
- 日東電工(株)尾道事業所
- (株)福岡電設
- (株)関電工
- (株)キューヘン
- (株)JR西日本新幹線テクノス
- (株)中外
- トヨタ車体(株)
- 日本郵便(株)九州支社
- プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)
- 九州電力(株)
- 京セラ(株)鹿児島川内工場
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
- (株)トッパンパッケージプロダクツ
- トヨタ紡織九州(株)
- パナソニック(株)エレクトリックワークス社
- 菱電エレベータ施設(株)福岡支店
- (株)九電工
- (株)きんでん
- スカイマーク(株)
- トヨタ自動車(株)
- (株)西鉄ステーションサービス
- (株)日立産機テクノサービス

■令和6年度公務員試験合格者実績

- 国家公務員一般職:九州技術
- 北九州市職員(技術)
- 神奈川県職員(技術)
- 神奈川県警察官
- 国家公務員専門職:九州技術
- 宮若市職員(事務)
- 川崎市職員(技術)
- 大阪府警察官
- 福岡県職員(事務)
- 東京都職員(技術)
- 大阪水道企業団(技術)
- 福岡市職員(技術)
- 東京都特別区職員(事務)
- 自衛隊一般曹候補生(陸上・海上)

■外部研究資金の取得実績推移

(単位:千円・件)

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
共同研究	金額	10,355	37,472	18,403	26,517	26,933	14,650	35,440	93,300	66,364	50,747
	件数	18	19	21	21	31	21	32	36	36	34
受託研究	金額	14,625	18,106	42,203	35,650	119,094	76,957	90,417	41,235	67,468	50,417
	件数	11	13	13	7	14	19	19	13	22	24
奨学寄付金	金額	18,635	14,426	17,200	11,222	20,270	19,520	8,600	5,180	7,793	5,250
	件数	20	16	15	10	31	23	14	12	13	10
科学研究費補助金※	金額	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740	85,280	75,660	82,810
	件数	48	53	60	63	61	64	64	73	65	62
その他外部助成金	金額	540	0	1,620	0	3,850	550	10,679	7,755	23,045	24,693
	件数	1	0	2	0	18	26	31	25	45	41
合 計	金額	118,515	162,824	159,246	163,609	243,207	202,027	222,876	232,750	240,330	213,917
	件数	98	101	111	101	155	153	160	159	181	171

※研究分担者受入分・外部分担者交付分を除く

■科学研究費申請・採択状況の推移(短期大学部含む、H27～特任教員含む)

(単位:件・%・千円)

	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
申請	申請総教員数	161	158	158	161	157	155	157	157	157	161
	新規申請件数	71	78	91	82	86	80	72	78	76	80
	申請率※1	44.1	49.4	57.6	50.9	54.8	51.6	45.9	49.7	48.4	49.7
採択	総採択件数	48	53	60	63	61	64	64	73	65	62
	内訳	新規	20	13	20	18	17	9	20	18	12
		継続	28	40	40	43	47	55	53	47	50
	採択率(新規)※2	28.2	16.7	22.0	24.4	20.9	21.3	12.5	25.6	23.7	15.0
	採択率(新規+継続)※3	48.5	44.9	45.8	50.4	47.3	50.4	50.4	55.7	52.8	47.7
	金額	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740	85,280	75,660	82,810

※1 申請率:新規申請件数/総教員数 ※2 採択率(新規):新規採択件数/新規申請件数 ※3 採択率(新規+継続):総採択件数/(新規申請件数+継続採択件数)

■令和6年度外部大型研究支援事業(府省庁所管) 取組実績(採択件数25件、採択金額合計54,862千円)

No.	研究助成機関名等	参画(代表・分担)している研究テーマ・内容等	研究者(職位:R6)	学科等
1	(国研)日本医療研究開発機構(AMED)	【創薬ブースター】創薬支援推進事業・創薬総合支援事業 メチリン耐性黄色ブドウ球菌に対する新規抗菌薬の標的妥当性検証	奥田 賢一 准教授	生命環境化学科
2	(国研)日本医療研究開発機構(AMED)	【橋渡し研究プログラム】基礎・臨床一体型の持続可能な橋渡し研究支援拠点形成 細菌の細胞壁合成因子Xに対する新規抗菌薬の探索	奥田 賢一 准教授	生命環境化学科
3	(国研)科学技術振興機構(JST)	脱炭素社会に向けた炭酸塩化を利用したカーボンリサイクルシステムの開発	久保 裕也 准教授	生命環境化学科
4	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム	種田 和正 教授	情報工学科
5	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム	徳安 達士 教授	情報システム工学科
6	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム	—	総合研究機構
7	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム	—	総合研究機構
8	(国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	フロントローディング研究	三田 肇 教授	生命環境化学科
9	(独法)日本学術振興会(JSPS)	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業	上杉 昌也 准教授	社会環境学科
10	(国研)海洋研究開発機構(JAMSTEC)	陸域生態系と東土・周氷河環境の統合観測による物質循環過程の解明	永淵 修	総合研究機構
11	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	大規模観測データによる初期宇宙の巨大銀河形成の解明	五十嵐 創 准教授	情報メディア学科
12	日本私立学校振興・共済事業団	経済性を考慮した航空産業の脱炭素目標達成経路の分析	鬼頭 みなみ 助教	社会環境学科
13	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	航空機向け革新的推進システム開発事業/2MW級航空機用超伝導推進システムの開発	井上 昌睦 教授	電気工学科
14	経済産業省	【AKATSUKIプロジェクト】[KYUSHU BOOST 10000]九州イノベーション人材BOOSTプログラム	横田 諭 准教授	知能機械工学科
15	国土交通省	島原市「共創MaaS実証プロジェクト」	宋 宇 教授/ 上杉 昌也 准教授	情報マネジメント学科 /社会環境学科
16	国土交通省九州地方整備局	大規模な洪水氾濫下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究	乾 隆帝 教授	社会環境学科
17	国土交通省九州地方整備局	令和6年度「革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化」研究開発	田井 明 教授	社会環境学科
18	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター	【SBIR】次世代農業生産技術「Plant Drug Delivery System」の開発	松山 清 教授	生命環境化学科
19	(公財)河川財団	ダム堆砂を用いた加工干潟における覆砂の効果持続性に関する調査	田井 明 教授	社会環境学科
20	(公財)電気通信普及財団	2024年度海外渡航旅費援助	アンパイル・ブーデット	情報通信工学科
21	福岡県産業・科学技術交流財団(IST)	【Go-Tech】成長型中小企業等研究開発支援事業 世界初のガラス製両面微細マイクロレンズアレイを大量生産する超精密金型加工技術の開発	仙波 卓弥 教授	知能機械工学科
22	福岡県古賀市	令和6年度介護予防分野専門家による学術的伴走支援業務	植崎 兼司 教授	教養力育成センター
23	福岡県古賀市	古賀市まちづくり実証実験「仮名加工情報データ解析事業」保守契約費	馬場 謙介 教授	情報工学科
24	福岡県古賀市	JR古賀駅周辺街路空間解析調査業務	上杉 昌也 准教授	社会環境学科
25	福岡県篠栗町	「篠栗元気もん活動」共同事業	植崎 兼司 教授	教養力育成センター

■令和6年度登録案件一覧 登録案件10件

No.	国	特許番号	登録日	発明の名称	発明者(職位:R6)	学科
1	日本	特許第7534280号	2024/08/05	オレフィン系樹脂多孔質体の製造方法、電池用セパレータの製造方法、および製造装置(トヨタ自動車株式会社との共有)	松山 清 教授	生命環境化学科
2	日本	特許第7565516号	2024/10/03	鉛蓄電池の再生方法および再生鉛蓄電池の製造方法(株式会社関谷との共有)	田島 大輔 教授	電子工学科
3	日本	特許第7593590号	2024/11/25	コーヒー製品の製造方法(東洋ビジュアルソリューションズ株式会社との共有)	松山 清 教授	生命環境化学科
4	米国	US 11,987,862	2024/05/21	ニオブおよびタンタルの液化方法、およびニオブ溶液およびタンタル溶液の製造方法	久保 裕也 准教授	生命環境化学科
5	中国	ZL202010027415.3	2024/10/29	海面計測システム、海面計測方法および記憶媒体	盧 存偉 教授	電子情報工学科
6	中国	ZL202211533763.3	2024/11/19	オレフィン系樹脂多孔体の製造方法、電池用セパレータの製造方法および電池用セパレータの製造装置(トヨタ自動車株式会社との共有)	松山 清 教授	生命環境化学科
7	ブラジル	BR112023015399-9	2024/11/26	ニオブおよびタンタルの液化方法およびニオブ溶液およびタンタル溶液の製造方法	久保 裕也 准教授	生命環境化学科
8	米国	US12,163,002	2024/12/10	オレフィン系樹脂多孔質体の製造方法(プライム・プラネットエナジー&ソリューションズ株式会社との共有)	松山 清 教授	生命環境化学科
9	韓国	KR10-2758497	2025/01/17			
10	韓国	KR10-2758500	2025/01/17			

教育関係補助金の交付状況

■私立大学等経常費補助金(大学・大学院・短期大学部)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
一般補助	445,929	532,698	533,344	569,140	600,605	532,955	490,469	574,029	586,344	586,252
特別補助	168,196	160,145	241,195	232,182	160,019	168,328	122,045	139,987	134,298	114,852
合 計	614,125	692,843	774,539	801,322	760,624	701,283	612,514	714,016	720,642	701,104
学生数 (大学・大学院・短期大学部)	4,806	4,757	4,834	4,821	4,764	4,757	4,743	4,720	4,704	4,780
学生1人あたり 経常費補助金	128	146	160	166	160	147	129	151	153	147

■福岡県私立学校経常費補助金(高校)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
経常費補助金	574,170	584,242	583,312	597,112	591,922	579,687	614,602	630,992	607,019	620,298
生徒数	2,023	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942	1,966	1,963
生徒1人あたり 経常費補助金	284	284	276	287	299	291	316	325	309	316

■令和6年度文部科学省補助金交付実績

(単位:千円)

文科省補助区分	事業名	交付額
私立学校施設整備費補助金	熱分析装置(TG-DTA/DSC)一式	8,726
合 計		8,726

令和6年度資格取得実績

■教員免許取得者数(延べ人数)

免許種類	学部	科目	取得者数
高校一種	工学部	理科	7
	工学部	工業	4
	情報工学部	数学	10
	情報工学部	情報	7
	社会環境学部	公民	3
合 計			31

免許種類	学部	科目	取得者数
中学校一種	工学部	理科	6
	情報工学部	数学	7
	社会環境学部	社会	3
	合 計		16

■資格取得実績・大学

資格名称	合格者数
第三種電気主任技術者 国家資格	5
公害防止管理者試験 水質関係第4種 国家資格	1
第一級陸上無線技術士 国家資格	8
第一級陸上特殊無線技士 国家資格	11
第二級海上特殊無線技士 国家資格	15
危険物取扱者甲種 国家資格	1
危険物取扱者乙種4類 国家資格	8
宅地建物取引士試験 国家資格	1
機械技術保全技能士3級 国家試験	2
基本情報技術者試験(FE) 国家試験	21
応用情報技術者試験 国家試験	1
ITパスポート 国家試験	27
CCNA(Cisco Certified Network Associate)	3
上級バイオ技術者認定試験	2
中級バイオ技術者認定試験	6
初級バイオ技術者認定試験	33

資格名称	合格者数
2次元CAD利用技術者試験2級	39
統計検定3級	1
統計検定4級	2
Webクリエイター能力認定試験(エキスパート)	8
Unity認定試験(認定アソシエイト:ゲーム開発者)	1
日商簿記検定2級	1
日商簿記検定3級	2
リテールマーケティング(販売士)2級	7
リテールマーケティング(販売士)3級	17
Microsoft Office Specialist Word	15
Microsoft Office Specialist Excel	18
Microsoft Office Specialist PowerPoint	19
合 計	275

■資格取得実績・短期大学部

資格名称	合格者数
ITパスポート 国家試験	1
CGエンジニア検定 ベーシック	6
CGクリエイター検定 ベーシック	1
Webクリエイター能力認定試験(エキスパート)	1
Microsoft Office Specialist Excel	1
リテールマーケティング(販売士)3級	1
合 計	11

モノづくりセンター活動実績

■令和6年度モノづくりセンタープロジェクトメンバー数

プロジェクト名	メンバー数
ソーラーカー(エネワンカー)※	13
ロボコン	18
ロボット相撲	14
手作りアクセサリ	12
二足歩行ロボット	19
4輪2輪メンテピット	16
i-STEM 教育教材開発	10

プロジェクト名	メンバー数
衛星コン	6
ロボットアーム	7
おとめが池の環境保全	13
超電導デモ	12
EVフォーミュラカー	5
においロボットの作製	4
AI水耕栽培(農業DX)※	11

プロジェクト名	メンバー数
音楽機材	6
高波を受けた船体の実験	3
センサ機構の製作	3
制御工作チャレンジ	4◎
AIによる電気設計の自動化	5◎

◎令和6年度の利用推進プロジェクト
※令和7年度より()に改名

■令和6年度モノづくりセンタープロジェクト活動実績

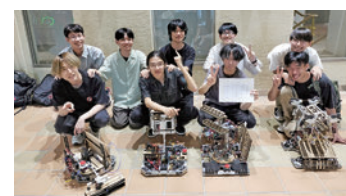
プロジェクト名	参加大会名等	結果
二足歩行ロボット	[YOKA ロボまつり74 バトル大会]	1名参加 ライト級3位
	[YOKA ロボまつり75 バトル大会]	3名参加 ライト級3位
	[YOKA ロボまつり76 バトル大会]	4名参加
ロボット相撲	[YOKA ロボまつり77 バトル大会]	2名参加 ヘビー級3位
	[YOKA ロボまつり78 バトル大会]	2名参加 ライト級優勝
	[第42回ヒューマノイドカップ]	2名参加 ライト級優勝、ヘビー級優勝
ロボコン	[第27回 ROBO-ONE Light]	プロジェクトメンバー 4名参加
	[全日本ロボット相撲関東地区予選会2024]	4名参加 【ラジコン型】6台出場 【自立型】1台出場
	[全日本ロボット相撲近畿地区予選会2024]	7名参加 【ラジコン型】6台出場 【自立型】1台出場
	[全日本ロボット相撲九州地区予選会2024]	9名参加 【ラジコン型】8台出場 【自立型】1台出場 カンパチ…ベスト4(自立型) ※1台全国大会に出場予定
ロボコン	[全日本ロボット相撲全国大会2024]	4名出場 【自立型】しこ名「カンパチ」出場
	[九州夏ロボコン2024]	13名(2チーム)参加 「櫻バクシンオー」チーム…技術賞
	[第14回キャチロボバトルコンテスト]	6名参加 決勝T進出(全67チーム中16チーム)、 ベスト8、審査員特別賞受賞
超電導デモ	[九州ロボットコンテスト2024 モノづくりフェア杯]	2名参加 下戸研究室、城東高校JET-Engineプログラム と合同で参加、優勝(2年連続)
	2024年度市民公開講座 超電導デモ機コンテスト	3名出場 6団体(内3大学)中2位
衛星コン	[第32回衛星設計コンテスト]書類審査	アイデア部門 エントリー 作品名「宇宙デブリ軌道制御・除去システム ADAMAS」書類提出



二足歩行ロボットプロジェクト



ロボット相撲プロジェクト



ロボコンプロジェクト

■国際交流協定校一覧(大学との協定締結校)

国名	大学名	締結年	協定内容						令和6年度交流学生数		令和5年度交流学生数	
			学術交流 (包括)	共同研究	学生交流	教育・研究者 交流	事務職員 交流	留学生 募集	本学から の派遣 (オンライン含む)	協定校学生 の受入れ (オンライン含む)	本学から の派遣 (オンライン含む)	協定校学生 の受入れ (オンライン含む)
アメリカ	フットヒルカレッジ	1992	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	2003	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	サンノゼ州立大学	2015	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	セントメアリーズカレッジカリフォルニア	2018	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	ハワイ大学マノア校	2023	○	○	○	○	-	-	10	-	8	-
	サンフランシスコ州立大学	2023	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
カナダ	センテニアルカレッジ	2023	○	-	○	○	-	-	10	-	23	-
	プリティッシュコロンビア大学応用科学部	2023	○	-	○	○	-	-	9	-	5	-
韓国	慶星大学校	1981	○	-	○	○	○	-	2	6	1	4
	亜細亜大学校	1990	○	○	○	○	○	-	1	2	-	16
	啓明大学校工学部	2009	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	東國大学校WISEキャンパス	2023	○	○	○	○	○	-	-	1	-	-
	釜慶大学校	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	東亜大学校	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	昌原大学校	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
中国	大連理工大学	1988	○	○	○	○	-	○	2	-	-	-
	南京理工大学	1993	○	-	○	-	-	-	-	-	-	1
	青島科技大学	2008	○	○	○	○	○	○	-	10	-	7
	北華大学	2007	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	魯東大学	2024	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	蘇州大学	2024	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
台湾	高雄科技大学	2017	○	○	○	○	○	-	38	65	56	43
	元智大学	2022	○	○	○	○	○	-	-	2	-	-
	東華大学	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	宜蘭大学	2023	○	-	○	○	○	-	14	23	9	-
	明新科技大学	2023	○	○	○	○	○	-	8	-	6	-
	雲林科技大学	2024	○	○	○	○	○	-	-	18	-	-
タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	2008	○	○	○	○	○	○	28	96	25	66
	チュラロンコン大学理学部	2009	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	泰日工業大学	2017	○	○	○	○	○	○	-	14	2	-
	キングモンクット工科大学トンブリ校	2023	○	○	○	○	○	-	-	2	-	-
マレーシア	マラ工科大学	2023	○	-	○	○	○	-	7	-	9	-
インドネシア	マラン大学	2023	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
ベトナム	ダナン大学工科大学	2023	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	ハノイ工科大学	2024	○	○	○	○	○	-	3	-	-	-
	ホーチミン市工科大学	2024	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	国立郵政通信技術学院	2024	○	○	○	○	○	-	6	-	-	-
シンガポール	テマセク・ポリテクニク	2024	○	○	○	○	○	-	7	8	-	-
インド	デリー準州教育委員会	2023	-	-	-	-	-	○	-	7	-	-
オーストラリア	フェデレーション大学	2001	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
アルバニア	ティラナ工科大学	2009	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
イタリア	ナポリ・フェデリコ2世大学	2018	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
合 計	42校								145	254	144	137

■令和6年度短期学生交換プログラム等の交流実績(協定校以外)

国名	大学・機関名	派遣・受入プログラム名	本学から の派遣 (オンライン含む)	本学への 受入れ (オンライン含む)
フィリピン	Center for Premier International Language Studies	CPILS夏季オンライン留学プログラム	3	-
	Center for Premier International Language Studies	CPILS冬季オンライン留学プログラム	9	-
	Brighture English Academy	Brightureオンライン留学プログラム	1	-
シンガポール	シンガポール国立大学	社会環境学部 ECO-STEP	10	-
アメリカ	南フロリダ大学	Virtually Assisted Language Exchange Program (FIT VALE) オンライン協働プログラム	6	-
中国	青松中学校	視察受入れ	-	22
合 計			29	22

■ネイティブ職員サポート学生数

実施項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
イベントレッスン・校正個人対応数(R5年度以降GSL来訪者含む)	100	111	120	120	50	117	192	289	268
GSL実施グループ胃パンチ参加(イベント、コンテスト、グループレッスン等)	416	382	584	472	67	505	848	849	566
城東高等学校レッスン、イベント等	460	314	189	99	0	33	67	0	26
留学事前準備レッスン依頼	372	406	480	580	15	108	144	149	87
大学授業支援	114	542	387	804	21	178	520	157	477
英文校正依頼	18	39	123	139	39	79	80	53	65
個人レッスン数	112	256	304	270	299	453	230	216	163
個人レッスン参加者	28	30	30	45	41	57	58	55	48
GSL活動参加数						136	222	331	258
GSL活動参加生徒数(来学者数含めて)							87	150	123
英語カフェ・[Let's Chat]						132	271	273	125
英語カフェ・[Let's Chat]個人参加数(来学者数含めて)							54	80	70
GSLラウンジ利用数							136	1,443	848
GSLラウンジ個人利用数							23	93	38
合計利用・参加数(GSL実施イベント、GCP関連、大学依頼)	2,879	3,116	2,310	3,086	1,360	2,302	3,955	5,528	2,847

※本データは合計の参加以外にGCPの個人、もしくはグループレッスンの参加を含みません。

地域連携 令和7年3月31日現在

(企業名等・敬称略・締結年月日順)

■自治体・企業・教育機関等との連携協定一覧

No.	協定名	協定先	締結年月日
1	㈱福岡銀行及び㈱ふくおかフィナンシャルグループと福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	㈱福岡銀行、㈱ふくおかフィナンシャルグループ	H20.05.23
2	㈱西日本シティ銀行と福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	㈱西日本シティ銀行	H20.07.28
3	東部地域大学連携に関する協定	九州産業大学、福岡女子大学	H23.11.09
4	国立大学法人九州工業大学と福岡工業大学との連携に関する協定	国立大学法人九州工業大学	H24.05.01
5	㈱西日本新聞社と学校法人福岡工業大学との包括的連携協力に関する協定	㈱西日本新聞社	H24.09.26
6	福岡工業大学と㈱九電工との研究開発における包括的な連携推進に関する協定	㈱九電工	H24.11.27
7	新宮町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	新宮町	H26.03.20
8	古賀市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	古賀市	H26.07.23
9	㈱正興電機製作所と福岡工業大学との包括的連携推進に関する協定	㈱正興電機製作所	H26.07.23
10	長崎大学、熊本県立大学及び福岡工業大学との環境分野における包括的連携協力に関する協定	長崎大学、熊本県立大学	H26.12.04
11	学校法人福岡工業大学と一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟との包括的連携に関する協定	(一社)ガールスカウト福岡県連盟	H27.02.15
12	福岡和白病院、創生会及び福岡工業大学の包括的連携に関する協定	(医)池友会福岡和白病院、(福)創生会	H27.03.05
13	中村学園大学短期大学部と福岡工業大学短期大学部との交流協定	中村学園大学短期大学部	H27.05.25
14	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校及び福岡工業大学短期大学部との包括的連携協力	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校	H27.07.10
15	芝浦工業大学と福岡工業大学との連携・協力に関する協定	芝浦工業大学	H28.10.07
16	長崎県島原市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	島原市	H30.10.12
17	福岡未来創造プラットフォームに関する包括連携協定	福岡市、福岡商工会議所、(一社)福岡市中小企業経営者協会、九州産業大学、九州大学、サイバー大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、日本経済大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、令和健康科学大学	R1.05.09 (R6.04.01) (加盟機関更新)
18	篠栗町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	篠栗町	R2.08.07
19	国立大学法人大分大学と学校法人福岡工業大学との包括連携・協力協定	大分大学	R2.08.25
20	災害時における施設等の利用協力に関する協定	福岡市	R3.12.01
21	福岡工業大学と福岡県警察とのサイバーセキュリティに関する協定	福岡県警察本部	R4.06.28
22	古賀市と福岡工業大学との仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定	古賀市	R4.11.07
23	福岡教育大学と福岡工業大学との教員養成に関する連携協定	福岡教育大学	R6.02.21
24	法政大学と福岡工業大学との連携協力に関する協定	法政大学	R6.03.18
25	福岡工業大学と神田女学園中学校高等学校との高大連携に関する合意	神田女学園中学校高等学校	R6.03.21
26	福岡市災害ボランティアセンター設置に関する協定	福岡市、社会福祉法人福岡市社会福祉協議会	R6.03.25
27	㈱共和電業と福岡工業大学との包括連携・協力協定	㈱共和電業	R6.03.28
28	東京都立杉並工科高等学校と福岡工業大学との高大連携に関する協定	東京都立杉並工科高等学校	R6.09.27
29	東福岡高等学校と福岡工業大学との高大連携に関する協定	東福岡学園東福岡高等学校	R7.01.30

附属施設①(ラーニング・commonsの対応状況)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

■学生用ラーニングcommonsの整備状況(令和7年3月31日現在)

図書館席数	559
情報基盤センター席数	611
本部棟(1階・3階)フリー学修スペース席数	26
A棟フリー学修スペース席数	314
B棟フリー学修スペース席数	304
C棟フリー学修スペース席数	274
D棟フリー学修スペース席数	88
E棟フリー学修スペース席数	98
α棟フリー学修スペース席数	176
合 計	2,450

■図書館蔵書数推移(各年3月31日現在)

図書区分	年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
和書		238,641	241,502	247,603	251,730	254,996	258,115	261,143	264,025	266,727	269,964
洋書		66,229	66,618	66,773	67,800	67,928	68,115	68,275	68,433	68,542	68,760
電子書籍(和・洋)		1,689	1,698	1,706	278	539	917	1,390	1,642	1,824	1,901
AV資料		3,635	763	768	774	781	781	781	780	780	780
合 計		310,194	310,581	316,850	320,582	324,244	327,928	331,589	334,880	337,873	341,405

■図書館利用者数推移

利用者区分	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
学内利用者数		70,846	137,662	164,170	167,212	162,640	42,814	97,068	94,606	117,034	117,353
学外利用者数		29,531	34,007	27,701	28,831	27,811	3	85	281	10,925	19,455
合 計		100,377	171,669	191,871	196,043	190,451	42,817	97,153	94,887	127,959	136,808

■図書館資料アクセス数推移

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
図書資料貸出数		15,332	16,384	16,477	15,603	13,800	6,451	10,006	11,139	11,381	12,438
電子書籍閲覧数		685	1,042	1,213	972	1,758	4,732	4,936	5,122	5,654	3,811
ホームページアクセス数		180,654	208,533	201,813	194,016	196,615	168,429	115,109	102,544	107,406	130,132
学術情報データベース・電子ジャーナル等アクセス数		107,659	164,322	141,045	212,091	205,754	129,265	163,157	127,258	185,504	67,695
合 計		304,330	390,281	360,548	422,682	417,927	308,877	293,208	246,063	309,945	214,076

■情報基盤センターPC室稼働状況(授業・授業外)

授業利用:1コマ90分授業の利用回数/授業外利用:1コマ90分の資格取得講座・課外講座等

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
授業利用数		2,595	2,457	3,113	3,086	2,993	1,251	2,936	3,141	2,984	3,150
授業外利用数		1,018	1,672	1,162	1,059	1,077	1,497	793	793	603	680
合 計		3,613	4,129	4,275	4,145	4,070	2,748	3,729	3,934	3,587	3,830

■情報基盤センターPC利用状況推移(PC設置数:611台/B21,B22,B23,B24,B25,B31,B38 PC室/ITcommons)

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数		33,044	34,371	35,390	34,475	33,952	16,842	27,685	30,330	27,206	30,306
ログイン回数(延数)		414,000	371,624	399,088	330,996	324,720	85,172	217,943	262,005	206,706	222,326

■情報基盤センター高度情報化PC利用状況推移(H28開設、PC設置数:48台)

スペース名	施設概要	(台)	区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
クリエイティブ・ラボ (情報基盤センター) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能・大画面PC	19	利用者数	4,002	3,628	4,728	425	1,029	2,095	3,005	3,170
	うち大型ペンタタブレット併設	10	(延数)								
	スキャナ対応高速カラープリンター	1	利用時間数	4,390	4,310	5,013	544	1,008	2,320	3,305	3,431
クリエイティブブース (図書館) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能・大画面PC	18	利用者数	15,740	12,790	12,513	3,131	12,777	4,390	4,760	3,706
	うち大型ペンタタブレット併設	10	(延数)								
	スキャナ対応高速カラープリンター	1	利用時間数	20,735	16,814	15,134	4,570	14,795	6,509	7,296	5,470
学修スペース (B棟3階) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能PC	11	利用者数	11,456	9,616	12,377	3,646	6,160	5,295	4,157	3,113
	両面対応プリンター	1	(延数)								
	ホワイトボード(可動式・スクリーン掛け)	9	利用時間数	11,014	10,916	8,247	2,929	3,301	3,321	2,576	1,822

■myFIT(学生ポータルサイト)利用状況

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数(延数)	3,896,444	3,672,194	3,442,414	4,624,127	4,305,542	3,625,750	3,392,950	3,509,350

- 令和6年度にmyFITを活用した遠隔事業数:2,102(大学1,498、大学院338、短期大学部266)
- myFITスマートフォンアプリインストール数(令和7年4月18日現在):4,414(大学4,001、大学院147、短期大学部266)

■無線LAN整備状況(令和7年4月15日現在)

棟・教室等	AP設置数※	(うち、R6年度新規設置)
本部棟(図書館含む)	27	2
FITアリーナ	4	0
FITホール	10	0
A棟	58	2
B棟	47	0
C棟	24	2
D棟	20	0
E棟	17	0
F棟	2	0
α棟	4	0
合 計	213	6

※AP:アクセスポイント

■大学のデジタル化に係る設備状況(令和7年3月31日現在)

設備名等	構成、内容等
FIT-DX スタジオ (本部棟8階・インキュベーションスタジオ)	スタジオ大・小2室、配信機材、リモート操作カメラ、配信 PC、プロンプター 1式、データ保存・編集用 NAS及び仮設配信機材1式(持ち出し用仮設機器)、4K対応動画作成・編集 PC(デスクトップ 2式、ノート PC1式)、動画撮影用機材1式(4Kビデオカメラ、デジタル一眼レフカメラ、可搬式マイクと照明、その他撮影機材など)
学修支援システム	myFIT(Universal Passport RX及びGAKUEN EX)による授業運営及び学生生活に係る諸手続きのデジタル化、FIT-AIM(学習ポートフォリオ)、FIT Moodle(myFIT補完LMS)、myFIT学生用スマートフォンアプリ、WingNet(情報基盤センター PC室向け)
全学ライセンスソフトウェア	Microsoft 365 Education A5(一人:メールボックス(50GB)とOneDrive(1TB)による保存領域及びOffice及びTeams等を提供)、Microsoft Stream(授業動画等の動画配信システム)
教員ソフトウェア	Dropbox(容量無制限ネットワークストレージ/研究等プロジェクト利用)
学生貸出PC・Wi-Fiルーター	ノートPC:60台、モバイルWi-Fiルーター:20台
B棟・D棟ネットワーク	B棟・D棟の各研究室・実験室・講義室等の学内ネットワーク設備及びWi-Fiを最新機器に更新し、建屋間を20Gbpsで接続させ、各部屋まで最大10Gbpsのマルチギガビットに対応
B棟(情報マネジメント学科新設)	B棟8階の多目的室・実験室等のAVシステムを更新。学生の経営工学・データサイエンスに関する基礎知識・分析能力・問題解決能力を向上させる。
ファイアウォールシステム更新	世界トップを誇る次世代型高性能ファイアウォールシステムに更新し、サイバー攻撃から大学全体を防御しつつ、ネットワークセキュリティ対策レベルが向上
個別学習ボックス(附属図書館)	オンラインによる学習・就活・インターンシップ・各種試験に対応する防音機構を有するコワーキングスペース:8式
学生統合データベース	大学運営を高度化する、入試・学修成果・就職実績、授業及びカリキュラムの点検・評価の機能を有したデータベースシステム

■その他サポート状況(令和7年3月31日現在)

職種	部門長	専任職員※	特定嘱託	臨時職員	委託スタッフ	合計	備考
附属図書館(図書館員)	1	3	1	0	10	15	部門長:図書館長
情報基盤センター(情報技術員)	1	6	3	0	0	10	部門長:情報基盤センター長

※兼任含む

附属施設②(その他のラーニングサポート関係施設)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

■社会連携センター受講者数推移

講座名	年度		H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
資格取得支援講座	29	692	26	669	19	535	19	681	22	603	25	696	22	447		
文化教養講座	170	1,508	179	1,411	144	816	161	1,102	156	1,103	128	972	76	852		
FIT講座	6	642	14	904	14	250	19	386	17	333	11	319	12	394		
合 計	205	2,842	219	2,984	177	1,601	199	2,169	195	2,039	164	1,987	110	1,693		

※講座数は実開講数でカウントしています。

※資格取得支援講座に一般を含みます。(講座数・受講者数)

※文化教養講座・FIT講座に学生を含みます。(講座数・受講者数)

■令和6年度社会連携センターでの地方公共団体・産業界等と連携した生涯学習・社会人教育実施講座

区分	実施日	講座名	企業名等(敬称略)	受講者数
防災	令和6年11月30日	災害とボランティア～災害時に地域やボランティアでできる事～	福岡市社会福祉協議会	22
健康	令和7年1月21日	変形性膝・股関節症～いい靴の選び方～	和白病院	42
健康	令和7年1月24日	ストップ・ザ・心筋梗塞	和白病院	22
防災	令和7年2月1日	自衛官だから伝えられる能登半島地震と災害への備え	自衛隊福岡地方協力本部	34

■モノづくりセンター利用者数推移

利用者区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
学生プロジェクト		5,746	6,249	5,620	4,422	1,705	4,424	4,510	5,895	6,435
研究利用		485	534	672	624	400	709	534	478	460
一般利用		4,155	3,167	2,813	2,768	1,703	3,179	5,842	5,684	5,383
合 計		10,386	9,950	9,105	7,814	3,808	8,312	10,886	12,057	12,278

課外活動

■令和6年度クラブ・サークル加入者数

クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数
【体育会本部】	446	シーズンスポーツ同好会	33	モダンアート部	68
アイスホッケー部	15	相撲同好会	7	ロック部	18
弓道部	33	タッチラグビー同好会	37		
剣道部	12	ダンス同好会	63	【文化同好会】	48
硬式テニス部	25	パワーリフティング同好会	6	FIT-ICE	19
硬式野球部	97	フットサルFANTASIA同好会	56	料理・スイーツ研究同好会	29
準硬式野球部	17				
少林寺拳法部	5	【体育愛好会】	39	【文化愛好会】	67
女子柔道部	4	e-sports愛好会	39	映画サークル愛好会	9
水泳競技部	8			ジャズ研究会	6
卓球部	20	【文化部】	812	釣り同好会	15
軟式野球部	38	All Round Music部	78	ビオトープ愛好会	1
ハンドボール部	40	音楽研究部	61	防災サークル	8
バスケットボール部	17	音響部	17	電波部愛好会	11
バドミントン部	17	環境サークルオアシス部	35	Communication Library	8
男子バレーボール部	18	競技麻雀部	39	野外活動サークル	9
ラグビー部	74	茶道部	8		
陸上競技部	6	写真部	174		
		情報技術研究部	121		
【体育同好会】	294	吹奏楽団	50		
アクションサッカー同好会	28	フォークソング研究部	60		
硬式テニス同好会	27	福工大アンプラグド部	42		
サバイバルスポーツ同好会	37	模型部	41		

加入者総数 1,706



硬式野球部



ラグビー部



女子柔道部

令和7年度学費・徴収金

■大学院

(単位:円)

研究科	学年	入学金	授業料	学生諸費※	合計
工学研究科 (修士課程)	1年次	150,000	812,000	21,750	983,750
	2年次以降	-	812,000	-	812,000
工学研究科 (博士後期課程)	1年次	150,000	812,000	22,600	984,600
	2年次以降	-	812,000	-	812,000
社会環境学研究科	1年次	150,000	630,000	21,750	801,750
	2年次以降	-	630,000	-	630,000

※学生諸費の内訳:同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料 修士課程1,750円(秋季入学生2,600円)、博士後期課程2,600円(秋季入学生3,300円)

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■大学

(単位:円)

学部	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学部 情報工学部	1年次	200,000	980,000	270,000	90,000	10,000	20,000	81,300	1,651,300
	2年次以降	-	980,000	270,000	90,000	10,000	20,000	-	1,370,000
社会環境学部	1年次	200,000	764,000	170,000	-	10,000	20,000	81,300	1,245,300
	2年次以降	-	764,000	170,000	-	10,000	20,000	-	964,000

※学生諸費の内訳:学生自治会費28,000円、教育後援会費20,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料3,300円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■短期大学部

(単位:円)

学科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
情報メディア学科	1年次	170,000	670,000	160,000	100,000	5,000	15,000	47,750	1,167,750
	2年次以降	-	670,000	160,000	100,000	5,000	15,000	-	950,000

※学生諸費の内訳:学友会費10,000円、教育後援会費6,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料1,750円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■高等学校

(単位:円)

課程	学年	入学申込金	施設設備費	授業料	施設維持費	実習費	教育充実費	諸会費・積立金※	合計
普通科	1年次	40,000	220,000	396,000	69,600	-	78,000	120,000	923,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	-	78,000	120,000	663,600
電気科・電子情報科	1年次	40,000	220,000	396,000	69,600	12,000	78,000	120,000	935,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	12,000	78,000	120,000	675,600

※諸会費・積立金の内訳:生徒会費18,000円、同窓会費1,200円、PTA会費16,800円、積立金84,000円

積立金は、1年次4月～2年次11月は修学旅行積立金として、2年次12月～2年次3月は卒業積立金として徴収。3年次は徴収しない。

その他の費用 PTA入会費:10,000円(入学年度のみ)、学年予納金(実績):普通科48,525円、電気科・電子情報科50,025円等(各年度変動)

部分は12か月分納 教科書代が別途必要

奨学費

■令和6年度奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金種別・設置校別)

(単位:千円)

奨学の趣旨	大学	短期大学部	高校	合計
学業奨励	107,055 (206人)	5,530 (14人)	47,294 (168人)	159,880 (388人)
課外活動奨励	69,931 (119人)		20,805 (109人)	90,736 (228人)
経済的事由対応	7,817 (34人)	1,237 (6人)		9,055 (40人)
経済的事由(留学生)	4,947 (16人)	1,005 (3人)		5,952 (19人)
国際交流支援	7,561 (24人)			7,561 (24人)
その他		6,290 (54人)	4,770 (22人)	11,060 (76人)
合 計	197,312 (399人)	14,062 (77人)	72,870 (299人)	284,245 (775人)

■奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金)経年推移

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
学校										
福岡工業大学	187,834	206,702	213,593	215,747	210,086	229,138	192,347	188,157	195,519	197,312
福岡工業大学短期大学部	14,810	15,540	17,012	14,845	20,405	17,444	11,898	12,555	13,645	14,062
福岡工業大学附属城東高等学校	115,206	115,989	101,329	92,418	86,331	89,033	83,844	81,679	73,920	72,870
合 計	317,850	338,231	331,934	323,010	316,822	335,615	288,089	282,391	283,084	284,245

■修学支援費(国の高等教育修学支援新制度:授業料等減免費交付金)支出経年推移

(単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
学校					
福岡工業大学	267,656	286,715	295,978	320,335	367,446
福岡工業大学短期大学部	27,824	31,236	34,449	33,281	33,556
合 計	295,480	317,951	330,427	353,616	401,002

※令和2年度から交付開始

学校法人の沿革(学校・学部・学科等設置、組織変更等)

■沿革

年月	学校、学部等の開設、名称変更等<当該趣旨>
昭和29年4月	福岡高等無線電信学校創設
昭和33年4月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校開設
昭和35年4月	福岡電子工業短期大学開設
昭和38年4月	福岡電波学園電子工業大学開設、同工学部を設置
昭和41年4月	大学を「福岡工業大学」に、短期大学を「福岡工業短期大学」に改称
昭和48年9月	法人を「学校法人福岡工業大学」に改称
昭和49年8月	高校を「福岡工業大学附属高等学校」に改称
平成 5年4月	大学院工学研究科(修士課程)を設置
平成 9年4月	大学に「情報工学部」を設置
平成11年4月	大学院工学研究科(博士後期課程)を設置
平成13年4月	大学に「社会環境学部」を設置 高校を「福岡工業大学附属城東高等学校」に改称
平成14年4月	短期大学を「福岡工業大学短期大学部」に改称
平成17年4月	短期大学部電子情報システム学科を「情報メディア学科」に、OA情報システム学科を「ビジネス情報学科」に改称
平成19年4月	大学院社会環境学研究科(修士課程)を設置
平成21年4月	大学院工学研究科(修士課程)「機能材料工学専攻」を「生命環境科学専攻」に改組
平成22年4月	FD*1推進機構を設置 *1 Faculty Development
平成25年4月	改革推進室を経営企画室に改称<経営計画策定とその実現性向上> 国際交流支援室を国際戦略室に改称<国のグローバル戦略への適応>
平成26年4月	先端計測技術研究センターを設置<研究成果の地域社会への還元> 大学・地域連携推進室を設置<外部連携による地域発展への貢献>
平成27年4月	大学の入学定員を830名から915名(工学部380名・情報工学部375名・社会環境学部160名)に変更 <学生定員の実質化(志願者ニーズへの適応)> 教養力育成センターを設置<教養教育の見直しとその教育方法等改善>
平成28年4月	物質・エネルギーデバイス研究センターを設置<研究成果の地域社会への還元> 学長室を設置<学長を中心とした教学ガバナンス強化> 大学院工学研究科(修士課程)「管理工学専攻」を「情報システム工学専攻」と「システムマネジメント専攻」に改組
平成29年8月	エレクトロニクス研究所インキュベーションスタジオ2を設置<研究の高度化・活発化への対応> 同研究所食品農医薬品研究センター研究活動開始(研究7テーマの選定)
平成29年11月	情報科学研究所電磁波計測センターおよびインキュベーションスタジオ3を設置<研究の高度化・活発化への対応> 環境科学研究所あまみず社会研究センターを設置<研究の高度化・研究成果の地域社会への還元>
平成30年1月	インキュベーションスタジオ1を設置<研究の高度化・活発化への対応>
平成30年4月	大学工学部「生命環境科学科」を「生命環境化学科」に改称
平成31年4月	大学院工学研究科(修士)「生命環境科学専攻」を「生命環境化学専攻」に改称
令和2年4月	短期大学部に「情報メディア学科」を設置
令和5年4月	教育開発推進機構、社会連携センターを設置
令和6年4月	大学情報工学部に「情報マネジメント学科」を設置 大学の入学定員を915名から940名(工学部380名・情報工学部400名・社会環境学部160名)に変更 <学生定員の実質化(志願者ニーズへの適応)>

■校地・校舎概要 (学園全体の校地面積：234,602㎡、同校舎面積：132,605㎡)

建物名	主な設備、用途	延床面積 (㎡)	建築年
A棟	クリーンルーム、学生ホール、ラーニングコーナー、売店、講義室27、演習室14、実験室16、研究室79、卒研室34	18,360	平成13年
B棟	情報基盤センター、レストラン、コンビニ、保健室、カウンセリング室、講義室19、演習室11、実験室11、研究室44、卒研室22、インキュベーションスタジオ1	18,842	平成16年
C棟	地下ホール(収容人数300人)、学生ホール、レストラン、書店、講義室8、実験室6、研究室27、卒研室23	10,303	平成3年
D棟	工作センター、講義室13、実験室11、研究室25、卒研室23	8,504	平成16年
E棟	学生サポートセンター、学習支援センター、アクティブラーニングエリア、研究所、オープンラボ	6,884	平成28年
F棟	インキュベーションスタジオ2、研究スペース4	780	平成29年
α棟	モノづくりセンター、グローバルスチューデントラウンジ、ラーニングスペース、多目的ホール(収容人数200人)	1,750	平成11年
本部棟	FIT Link(図書館)、社会連携センター、次世代マイクロ/ナノ金型開発センター、インキュベーションスタジオ3、音とモノづくりの歴史資料館、事務局、FIT-DXスタジオ	12,735	昭和61年
FITアリーナ	シンフォニーホール(収容人数2,400人)、運動施設	5,470	平成12年
FITホール	多目的ホール(収容員数1,000人)、会議室	3,612	平成23年
坦心寮	男子寮(部屋数198、収容人数240人)	6,556	平成15年
コスモス寮	女子寮(部屋数66、収容人数90人)	3,833	平成5年
国際交流会館	留学生寮(部屋数28、収容人数56人)	1,102	平成4年
附属城東高校1号館	J-STEP、放送室、職員室、研修室3、ミーティングルーム4	2,544	令和2年
附属城東高校2号館	校長室、事務室、保健室、スクールカウンセリング室、職員研修室、書道室、理科室2、音楽室、LL教室、家庭科室、キャリアサポートセンター、生徒相談室、教室35、特別教室、図書室、視聴覚教室、生徒会室、売店	15,364	昭和61年
附属城東高校3号館	工業科準備室、工業科実習室14、コンピュータ室4、普通教室18、特別教室4		
附属城東高校4号館	吹奏楽練習場、多目的ホール、部室	1,236	平成12年
附属城東高校体育館	メインフロア(収容定員数2,300人)、柔道場、剣道場、空手道場、男女更衣室、トレーニング室、多目的スペース2	7,526	令和2年
連絡歩道橋	連絡通路(1号館・体育館間)	10	令和3年
上善荘	調理室、実習室、茶室、宿泊室、セミナー室、多目的室	906	平成16年
和白グラウンド	高校部活動用地他	32,297	昭和37年
新宮総合グラウンド	野球場、多目的グラウンド、アーチェリー場、他運動施設	40,655	昭和62年
塩浜総合グラウンド	野球場、室内練習場、多目的グラウンド、トレーニング棟	38,188	平成23年
FITアリーナWESTコート	スポーツコート、相撲場	2,308	平成27年
FITセミナーハウス	課外研修・宿泊施設	1,310	平成24年

財務状況

■資金収支計算書

収入の部 (単位:千円)			
科 目	R4年度	R5年度	R6年度
学納金収入	6,657,897	6,861,578	7,049,048
手数料収入	138,218	131,897	123,193
寄付金収入	42,713	57,966	59,749
補助金収入	1,801,979	1,837,106	1,831,769
資産売却収入	0	100,000	300,000
付随事業・収益事業収入	299,303	305,006	273,951
受取利息・配当金収入	144,093	144,067	149,993
雑収入	175,917	300,872	413,427
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,186,548	2,217,857	1,274,550
その他の収入	329,845	232,560	329,886
資金収入調整勘定	△ 2,220,752	△ 2,484,620	△ 2,556,050
前年度繰越支払資金	1,317,427	1,126,338	1,785,946
収入の部合計	10,873,188	10,830,628	11,035,463

支出の部 (単位:千円)			
科 目	R4年度	R5年度	R6年度
人件費支出	4,818,481	4,996,445	5,208,316
教育研究経費支出	2,362,278	2,502,518	2,615,901
管理経費支出	541,712	581,675	578,478
借入金等利息支出	1,240	620	0
借入金等返済支出	200,000	200,000	0
施設関係支出	902,407	177,743	655,668
設備関係支出	686,246	433,607	779,987
資産運用支出	0	98,556	501,985
その他の支出	570,295	423,350	438,377
資金支出調整勘定	△ 335,809	△ 369,834	△ 703,824
翌年度繰越支払資金	1,126,338	1,785,946	960,577
支出の部合計	10,873,188	10,830,628	11,035,463

■活動区分資金収支計算書

(単位:千円)					
教育活動による資金収支	科 目		R4年度	R5年度	R6年度
	収入	学納金収入	6,657,897	6,861,578	7,049,048
		手数料収入	138,218	131,897	123,193
		特別寄付金収入	42,682	57,936	59,749
		一般寄付金収入	31	30	0
		経常費等補助金収入	1,702,949	1,709,170	1,792,308
		付随事業収入	299,303	305,006	273,951
		雑収入	175,917	300,872	413,427
		教育活動資金収入計	9,016,997	9,366,489	9,711,677
	支出	人件費支出	4,818,481	4,996,445	5,208,316
		教育研究経費支出	2,362,278	2,502,518	2,615,901
		管理経費支出	541,712	581,675	578,478
		教育活動資金支出計	7,722,470	8,080,638	8,402,694
		差引	1,294,526	1,285,851	1,308,983
調整勘定等		272,548	△ 20,904	△ 1,094,987	
教育活動資金収支差額		1,567,075	1,264,947	213,996	
科 目		R4年度	R5年度	R6年度	
収入	施設設備寄付金収入	0	0	0	
	施設設備補助金収入	99,030	127,936	39,461	
	施設整備等活動資金収入計	99,030	127,936	39,461	
	支出	施設関係支出	902,407	177,743	655,668
		設備関係支出	686,246	433,607	779,987
		教育設備引当特定資産繰入支出	0	0	0
		施設整備等活動資金支出計	1,588,653	611,350	1,435,655
	差引	△ 1,489,623	△ 483,414	△ 1,396,194	
調整勘定等	△ 173,491	△ 48,622	446,110		
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,663,114	△ 532,036	△ 950,085		
小計	△ 96,040	732,910	△ 736,089		
その他の活動による資金収支	科 目		R4年度	R5年度	R6年度
	収入	有価証券売却収入	0	100,000	300,000
		預り金収入	0	38,717	0
		仮受金収入	0	0	0
		保証金回収・仮払金収入・預託金	0	0	0
		修学旅行預け金受入収入	19,892	20,887	31,814
		小計	19,892	159,604	331,814
		受取利息・配当金収入	144,093	144,067	149,993
		その他の活動資金収入計	163,985	303,671	481,807
	支出	借入金等返済支出	200,000	200,000	0
		有価証券購入支出	0	98,556	501,985
		保証金・預託金・立替金支出	0	187	0
		預り金支出	23,499	0	24,801
		仮受金支出	12,475	14,998	10,829
		仮払金支出	934	30,798	1,380
		修学旅行預け金支払支出	20,887	31,814	24,865
		小計	257,794	376,353	563,860
		借入金等利息支出	1,240	620	0
		その他の活動資金支出計	259,034	376,973	563,860
		差引	△ 95,049	△ 73,302	△ 82,053
調整勘定等		0	0	△ 7,228	
その他の活動資金収支差額	△ 95,049	△ 73,302	△ 89,281		
支払資金の増減額	△ 191,088	659,608	△ 825,370		
前年度繰越支払資金	1,317,427	1,126,338	1,785,946		
翌年度繰越支払資金	1,126,338	1,785,946	960,577		

はじめに

学園の主要な取組成果

ファシリテイの概要

バランデータ集

■事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支	科 目		R4年度	R5年度	R6年度
	収入	学納金	6,657,897	6,861,578	7,049,048
		手数料	138,218	131,897	123,193
		寄付金	42,713	58,220	62,186
		経常費等補助金	1,702,949	1,709,170	1,792,308
		付随事業収入	299,303	305,006	273,951
		雑収入	160,655	277,801	344,212
		教育活動収入計	9,001,735	9,343,673	9,644,898
	支出	人件費	4,808,512	4,976,499	5,133,482
		教育研究経費	3,626,905	3,855,058	3,969,765
管理経費		613,682	660,649	659,521	
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		9,049,098	9,492,206	9,762,768	
教育活動収支差額		△ 47,363	△ 148,533	△ 117,869	
教育活動外収支	科 目		R4年度	R5年度	R6年度
	収入	受取利息・配当金	139,294	139,268	146,142
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	139,294	139,268	146,142
	支出	借入金等利息	1,240	620	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,240	620	0
	教育活動収支差額	138,054	138,648	146,142	
	経常収支差額	90,691	△ 9,885	28,273	
特別収支	科 目		R4年度	R5年度	R6年度
	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	168,238	168,439	85,822
		特別収入計	168,238	168,439	85,822
	支出	資産処分差額	28,566	3,338	260
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	28,566	3,338	260
	特別収支差額	139,671	165,100	85,561	
	基本金組入前当年度収支差額	230,362	155,215	113,834	
	基本金組入額合計	△ 1,482,264	△ 183,676	△ 749,613	
当年度収支差額	△ 1,251,901	△ 28,461	△ 635,779		
前年度繰越収支差額	△ 13,184,967	△ 14,436,869	△ 14,444,509		
基本金取崩額	0	20,821	3,455		
翌年度繰越収支差額	△ 14,436,869	△ 14,444,509	△ 15,076,833		
(参考)					
事業活動収入計			9,309,267	9,651,380	9,876,862
事業活動支出計			9,078,904	9,496,165	9,763,028

■貸借対照表 (各年度3月31日現在)

資産の部

(単位:千円)

科 目	R4年度	R5年度	R6年度
固定資産	35,284,343	34,491,861	34,737,004
有形固定資産	26,681,665	25,870,273	25,699,519
土地	3,557,485	3,557,485	3,614,981
建物	16,174,260	15,719,258	15,645,126
構築物	2,245,518	2,071,352	1,941,581
教育研究用機器備品	3,214,186	3,043,951	3,019,451
管理用機器備品	241,989	224,848	200,331
図書	1,228,832	1,241,007	1,256,196
車両	19,395	12,371	21,853
建設仮勘定	0	0	0
特定資産	6,100,000	6,100,000	6,100,000
第3号基本金引当特定資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000
退職給与引当特定資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000
施設拡充引当特定資産	2,600,000	2,600,000	2,600,000
教育設備引当特定資産	500,000	500,000	500,000
その他の固定資産	2,502,678	2,521,588	2,937,485
借地権	19,805	19,805	19,805
電話加入権	5,157	5,157	5,157
施設利用権	3,696	3,115	2,533
預託金	24,944	24,944	24,944
保証金	0	187	187
ソフトウェア	8,494	37,722	258,342
長期前払金	6,266	2,584	309
有価証券	2,434,317	2,428,074	2,626,209
流動資産	1,358,443	2,183,189	1,393,403
現金預金	1,126,338	1,785,946	960,577
未収入金	172,956	298,072	338,193
修学旅行預け金	20,887	31,814	24,865
前払金	34,872	33,168	34,200
仮払金	3,390	34,188	35,568
資産の部合計	36,642,786	36,675,050	36,130,407

負債の部

(単位:千円)

科 目	R4年度	R5年度	R6年度
固定負債	1,598,869	1,592,242	1,597,507
長期借入金	0	0	0
長期未払金	14,391	4,639	15,523
退職給与引当金	1,584,478	1,587,603	1,581,984
流動負債	3,057,249	2,940,925	2,277,183
短期借入金	200,000	0	0
未払金	316,066	344,714	659,908
前受金	2,186,548	2,217,857	1,274,550
預り金	306,934	345,651	320,850
仮受金	47,700	32,703	21,874
負債の部合計	4,656,118	4,533,166	3,874,690

純資産の部

(単位:千円)

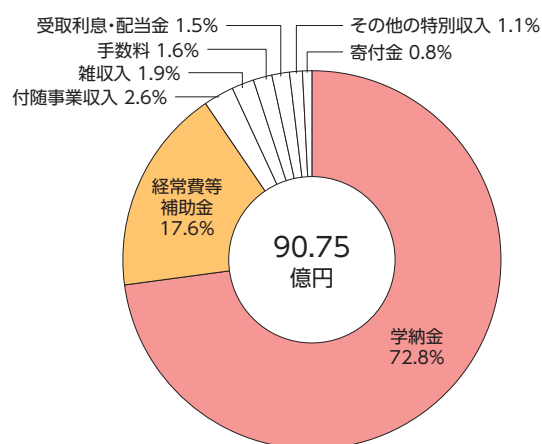
科 目	R4年度	R5年度	R6年度
基本金	46,423,537	46,586,392	47,332,550
第1号基本金	44,319,537	44,482,392	45,228,550
第3号基本金	1,500,000	1,500,000	1,500,000
第4号基本金	604,000	604,000	604,000
繰越収支差額	△ 14,436,869	△ 14,444,509	△ 15,076,833
翌年度繰越収支差額	△ 14,436,869	△ 14,444,509	△ 15,076,833
純資産の部合計	31,986,668	32,141,883	32,255,717

負債及び純資産の部合計	36,674,916	36,675,050	36,130,407
-------------	------------	------------	------------

財務構造(事業活動収入・支出の5年比較)

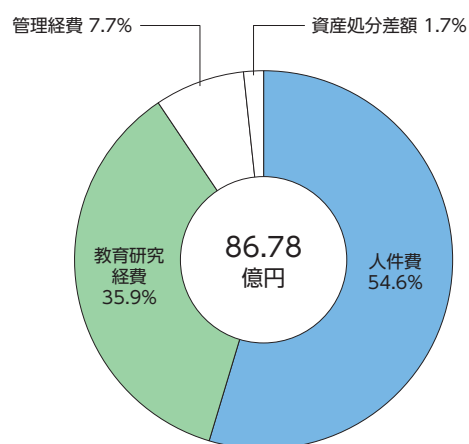
■収入

R2年度事業活動収入

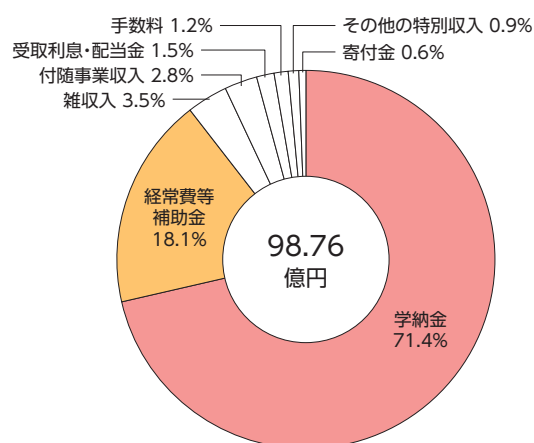


■支出

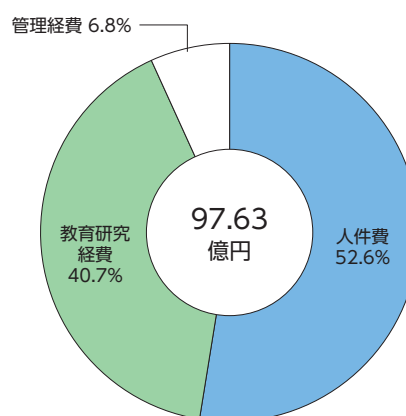
R2年度事業活動支出



R6年度事業活動収入



R6年度事業活動支出



収入

(単位:千円)

科 目	R2年度	R6年度	対比
学納金	6,607,228	7,049,048	441,820
手数料	147,020	123,193	△ 23,827
寄付金	72,100	62,186	△ 9,914
経常費等補助金	1,600,933	1,792,308	191,375
付随事業収入	237,158	273,951	36,792
雑収入	176,964	344,212	167,249
受取利息・配当金	132,959	146,142	13,183
その他の教育活動外収入	0	0	0
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	101,428	85,822	△ 15,606

(参考)

事業活動収入計	9,075,789	9,876,862	801,073
---------	-----------	-----------	---------

支出

(単位:千円)

科 目	R2年度	R6年度	対比
人件費	4,735,642	5,133,482	397,840
教育研究経費	3,116,020	3,969,765	853,745
管理経費	672,186	659,521	△ 12,665
徴収不能額等	0	0	0
借入金等利息	2,480	0	△ 2,480
その他の教育活動外支出	0	0	0
資産処分差額	151,617	260	△ 151,357
その他の特別支出	0	0	0

(参考)

事業活動支出計	8,677,945	9,763,028	1,085,082
---------	-----------	-----------	-----------

学校法人福岡工業大学

「FIT学生サポート寄付金」について

「学生の夢を紡ぎ、卒業生の思いを学生に繋ぎ、結実させる」ことを目指し、「FIT学生サポート寄付金」を設けています。この寄付金は、学生の自主的・自律的な活動を幅広く支援するものです。令和5年2月の創設以来、これまで372件、総額991万7千円（令和6年度末実績）もの温かいご寄付を賜り、教職員一同、心より感謝申し上げます。

皆さまからのご支援は、経済的な理由で修学が困難な学生へのサポートはもとより、日々の教育・研究活動、スポーツや芸術分野での活躍、国際交流の機会創出、そして充実した学生生活全般に至るまで、学生たちの挑戦と成長を力強く後押ししています。この貴重なご寄付は、未来を拓く知力・体力・感受性豊かな人材育成へと着実に繋がっています。

これからも、学生が安心して学び、それぞれの夢を心ゆくまで追いかけられる環境整備に尽力してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 寄付金名称

学校法人福岡工業大学「FIT学生サポート寄付金」

2. 募集期間

随時

3. 寄付金の主な使途

- ①経済的な理由で修学困難な学生への支援
- ②優秀な学生の諸活動の支援
- ③スポーツ・芸術分野の課外活動（強化部）への支援
- ④学生の国際交流に関する支援
- ⑤その他、学生の教育・研究、課外活動、生活全般に関する支援（理工系女子学生支援を含む）

4. 口数・金額

個 人：1口5,000円（1口以上、口数制限なし）

法人・団体：1口の金額の定めなし

5. 税法上の優遇措置

個 人：確定申告での、寄付金控除（「税額控除制度」、「所得控除制度」）による
税の還付等

◇本学は、令和7年7月1日付で、文部科学省から

「税額控除対象法人（特例要件）」として認められました。

法人・団体：「受配者指定寄付金（全額損金算入可能）」または

「特定公益増進法人への寄付金」から選択

寄付者ご芳名一覧（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

令和6年度にご寄付をいただいた方々のご芳名をここに記載いたします。

ご支援を賜りました皆さまに改めて感謝申し上げます。

なお、寄付者情報の公表を辞退された方は匿名といたしました。

👑「FIT学生サポート寄付金」 113件

（五十音順）

個人

ア行

青木照雄様
吾妻雄児様
安部弘彦様
池田佳子様
井手一彦様
井上慶太様
今村勇雄様
今村憲行様
岩本良平様
植木隆信様
上田貴絵様
瓜生英彦様
大谷勝美様
岡本公明様
小野照三様

カ行

片桐章英様
金縄政美様
梶山一紀様
川合保郎様
菊田裕一様
喜多敏光様
北村邦義様
木原伸一様
楠本莞爾様
楠本誠一郎様

桑原勲様
古賀福治様
後藤元生様
小柳辰生様

サ行

相良伸幸様
貞平啓二様
佐藤定利様
実藤雅之様
山藤稔人様
柴田廣樹様
嶋田謙一様
下芝義明様
白石清和様
新谷伸一様
杉元年久様
須藤照夫様
専田裕之様

タ行

高嶋直樹様
高野晃平様
武井功司郎様
田中公様
田中将朗様
田中祐紀様
田中睦教様
土山亨様

堂尾孝一様
土岐尚弘様
外山吉計様

ナ行

中島弘喜様
永溪弘幸様
中村英之様
中村守様
西岡隆史様
西村弘則様

ハ行

萩田寛司様
橋本重雄様
馬場孝治様
福本伸一様

マ行

榎一彦様
牧山典彦様
町川一均様
松尾一壽様
松本俊雄様
湊和博様
南盛久様
宮里乗克様
ミヤツカラヤ様
六車正道様
村尾学様

盛田光範様

ヤ行

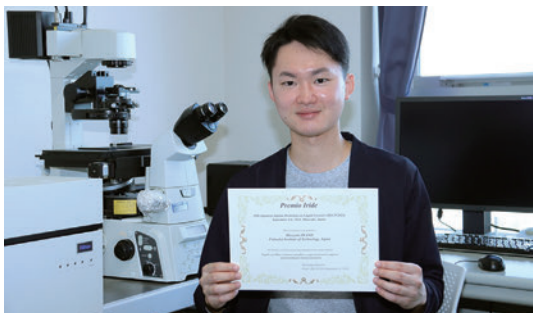
柳川睦様
山崎和男様
山崎俊至様
山下勝巳様
山下剛様
山田真也様
山本俊平様
山本益幹様
由留木達夫様
由川文年様
吉森和幸様
米本和貴様
他 匿名18名

法人・団体

株式会社九州総合管理 様
雄飛会 筑後支部 様

三桜電気工業株式会社 様
和鉄インターテック株式会社 様

学会表彰・学生表彰の皆さん (詳細はP33・34を参照)



岩野 広幸さん



鶴嶋 真紅さん



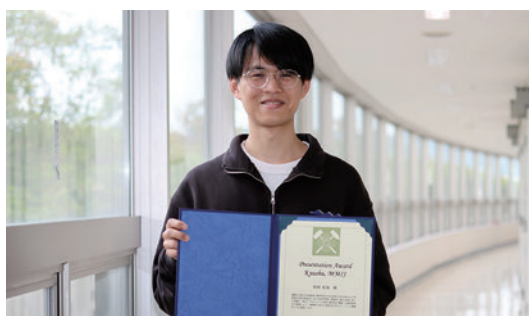
尾方 勇介さん



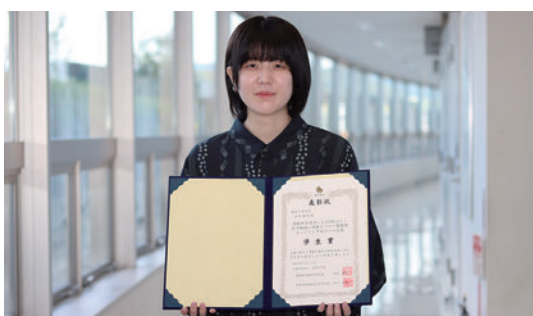
野中 直也さん



古賀 琴乃さん



松岡 拓海さん



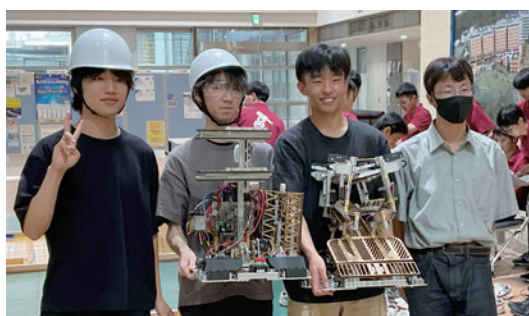
庄司 綾乃さん



団体・個人表彰(下期)の皆さん



大東 真生さん 高須 優人さん 二足歩行ロボットプロジェクト



ロボコンプロジェクト 櫻バクシンオーチーム

教育・研究活動報告書(取組成果のご報告)アンケート

お手数ですが、下記の質問項目にご記入のうえ、FAXもしくは本学IRプロジェクト宛ご郵送ください。
(巻末のQRコードからも回答が可能です)該当する箇所に☑を記入してください。

I. この報告書をご覧になってどう感じになりましたか。

☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足
(理由：)

II. 報告書の構成についてどう感じになりましたか。

- ◆ 情報公表の度合い： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ わかりやすさ： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ 内容の充実度： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ 読みやすさ： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ ページ数： ☐ちょうどよい ☐多すぎる ☐少なすぎる (理由：)

III. この報告書の内容のうち、特に評価できるページや興味を持ったページをチェックしてください。 (3つまで選択してください)

- | | | |
|--|--|--|
| ☐ ごあいさつ(P01) | ☐ マスタープランの取組状況・成果の概要(P03) | ☐ 入学志願者・入学者の状況(P05) |
| ☐ 教育力の発揮(P07) | ☐ 研究の高度化(P09) | ☐ 就職力の強化(P11) |
| ☐ グローバル化の取組(P13) | ☐ 地域貢献の取組(P15) | ☐ 大学院の取組(P17) |
| ☐ 短期大学の取組(P19) | ☐ 附属城東高校の取組(P21) | ☐ 財政基盤の安定(P23) |
| ☐ 学校運営に対する外部評価(P25) | ☐ 諸活動の具体的な取組状況(P27) | ☐ ファシリティの概要(P29) |
| ☐ バックデータ集 (P33~) | | |

IV. この報告書は本学のイメージアップに繋がると思われますか。

☐思う ☐どちらともいえない ☐思わない(理由：)

V. 今後の学園運営に反映させたいと存じますので、この報告書に対するご感想・ご要望や、本学の取組に対する忌憚のないご意見をお聞かせください。

VI. あなたのプロフィールについてお聞かせください。

性別： ☐男性 ☐女性
年代： ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代以上

VII. この報告書をどのような立場でお読みになりましたか。

☐在学生 ☐卒業生 ☐在学生の保護者 ☐卒業生の保護者 ☐中学生・高校生の保護者 ☐中学生・高校生
☐行政機関 ☐企業 ☐報道関係者 ☐教員・塾・予備校講師 ☐他大学関係者 ☐地域住民 ☐その他()

※お預かりした個人情報及びアンケート内容はご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。

送付先 〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30-1 福岡工業大学IRプロジェクト宛
FAX:(092)606-8923・TEL:(092)606-0619

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

福岡工業大学『令和7年度教育・研究活動報告書(令和6年度取組成果のご報告)』をお読みいただきありがとうございます。

本学では、ご支援いただいております皆さまに広く情報公表を行い、コミュニケーションを重ね、学園の諸活動をいっそう磨き高めたいと考えております。

『教育・研究活動報告書』を通じ、取組実績やそれらの外部評価について皆さまにご理解いただけるようこれまでも努めて参りましたが、まだ課題も多く残されていると考えております。

お手数ではございますが、下記のQRコード(または、アンケート用紙)からアンケート(回答時間5~10分)にお進みいただき、ご回答くだされば幸甚に存じます。



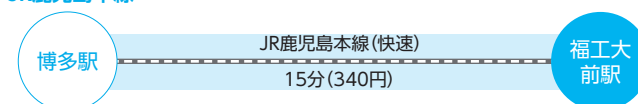
※お預かりした個人情報及びアンケート内容は、ご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。当プロジェクトにて厳重に管理いたします。



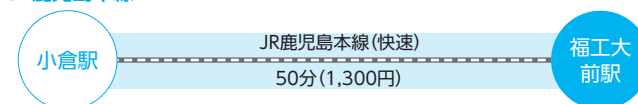
地下鉄+JR鹿児島本線



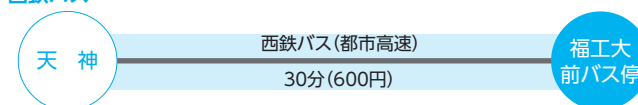
JR鹿児島本線



JR鹿児島本線



西鉄バス



※乗用車の場合…国道3号線から国道495号線へ進み和白方面へ

福岡工業大学

令和7年度

教育・研究活動報告書

令和6年度取組成果のご報告

編集／福岡工業大学 IRプロジェクト

編集協力・印刷／久野印刷(株)..
〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町大字旅石60番地32 TEL：092-410-5711 FAX：092-936-6262

発行／令和7年9月

福岡工業大学

〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 TEL：092-606-0619 FAX：092-606-8923



For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

工学部

電子情報工学科
生命環境化学科
知能機械工学科
電気工学科

情報工学部

情報工学科
情報通信工学科
情報システム工学科
情報マネジメント学科

社会環境学部

社会環境学科(文系)

大学院

工学研究科
社会環境学研究科

福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科

福岡工業大学附属城東高等学校

普通科
電気科
電子情報科

